

令和6年度 第4回 小櫃・上総地区公民館運営審議会 会議次第

日 時 令和7年3月18日(火)
午後3時から午後4時40分(予定)
場 所 小櫃公民館 2階研修室

1 開 会

2 三橋委員長あいさつ

3 石井館長あいさつ

4 報 告

(1) 報告事項その1 各公民館事業の中間報告(12～2月)

(2) 報告事項その2 「20 歳のつどい」について

①令和7年1月実施の「20 歳のつどい」報告

②令和8年1月実施の「20 歳のつどい」について

5 「意見書」の提出

・令和5・6年度審議テーマ

「地域活性の拠点としての公民館運営・事業のあり方について」意見書

6 その他

7 閉 会

令和6年度事業報告

小櫃公民館

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	小櫃・上総地区公民館運営審議会	作成日	令和7年3月4日						
		担当者	藤平裕子						
	(予算分類名) 公民館運営審議会	全回数	4回	総時間数	時間				
実施背景 目的 特記事項等	<p>公民館事業の企画・実施、施設の整備等について、総合的に調査・審議するとともに、公民館運営に対して住民の意見を反映し、社会教育の充実を図る。また、館長の諮問に応じて調査・審議・答申を行う。</p> <p>※審議会開催回数 4回/年(5月、9月、12月、3月) ※令和5年度・6年度の事務局は小櫃公民館 ※委員長：三橋一文氏/副委員長：小泉香生里氏</p>								
対象・定員等	学識経験者等(上総・小櫃地区各4名、計8名)		支出概要	公民館運営審議会関係費 (委員等報酬220千円、費用弁償66千円、通信運搬費14千円、研修・諸会議等出席負担金16千円)					
周知方法等	各委員へ開催通知郵送、掲示場・HPでの公告								
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実数	0	0	0	0	0	0	5	5
延べ	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
成果反省 課題等		<p>令和5年度・6年度で取り組むべき審議テーマを「地域活性の拠点としての公民館運営・事業のあり方について」とし、令和5年度は両館がモデルとなる事業を調査・企画、令和6年度には、設定したモデル事業を実際に委員のみなさんに視察していただき、項目ごとの「評価」をいただいた。</p> <p>さらに、委員のみなさまには、二年間に渡る一連の審議を俯瞰し、次年度以降、地域課題およびその解決に資する要素を公民館事業に反映させること、また、その着眼点の模索に公民館職員として注力することの重要性等を「意見書」に盛り込んでいただいた。今期最後の審議会にて、委員のみなさまから両館の館長へその「意見書」を提出していただく予定である。</p>							

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	5	14	火	15:00 ~ 16:30	第1回審議会 (1) 令和6年度 公民館運営審議会の進め方について (2) 各公民館事業と「経営方針」および修繕・備品購入計画について (3) モデル事業について ①令和6年度に評価していただく各館のモデル事業について ②評価シートについて	小櫃公民館	6
2	9	10	火	15:00 ~ 17:00	第2回審議会 (1) 報告事項その1 各公民館事業の中間報告(～8月) (2) 報告事項その2 文化祭について (3) 協議「審議テーマにおける取組・事業の報告並びに評価」について ①モデル事業への評価について ②審議テーマへの落とし込み	上総公民館	6

3	12	6	水	14:30 ~ 17:15	第3回審議会 (1) 報告事項その1 各公民館事業の中間報告 (9月~11月) (2) 報告事項その2 「20歳のつどい」について ①令和7年1月実施の「20歳のつどい」進捗 状況 ②令和8年1月実施の「20歳のつどい」につ いて (3) 協議 令和5・6年度審議テーマ 「地域活性の拠点としての公民館運営・事 業のあり方について」意見書(案)につ いて	亀山コミュニ ティセン ター	7
4	3	18	火	15:00 ~	第4回審議会 (1) 報告事項その1 各公民館事業の中間報告 (12月~2月) (2) 報告事項その2 「20歳のつどい」について (3) 「意見書」提出について	小櫃公民館	

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	子ども会等関係者会議	作成日	令和6年3月4日						
		担当者	藤平裕子						
	(予算分類名) 青少年教育事業	全回数	1回	総時間数	1時間30分				
実施背景 目的 特記事項等	<p>小櫃地区の青少年教育活動に携わる関係機関や、子ども会等の団体代表者が一堂に会し、相互に連携を深める機会を設ける。 それぞれの活動の情報を交換・共有することで、行事の日程調整や青少年健全育成の効果的な運営手法について学ぶ機会とする。 また、事前にアンケート調査を行い、各団体が抱えている課題や運営上の疑問点等を公民館側が集約し、子どもを取り巻く地域の状況について共有する時間を設ける。</p>								
対象・定員等	小・中学校、青少年相談員、子ども会、スポーツ団体等		支出概要	青少年教育事業 (報酬金25千円、消耗品費16千円、通信運搬費8千円)					
周知方法等	会議通知								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6				7~12	13~15	16~19	20~39
	実男	0	0	0	0	0	0	0	0
	実女	0	0	0	0	0	0	0	0
	延男	0	0	0	0	0	0	0	8
	延女	0	0	0	0	0	0	0	16
	計	0	0	0	0	0	0	0	24
成果反省 課題等	<p>子どもの数が減少しており「子ども会」の運営そのものに苦慮している代表者が少なくないことが昨年度の会議で明らかとなった。地域の大人が、子どもたちに何をしてあげられるのか、それを考えるのも職員の役割であることをお話しし、公民館への相談を呼びかけた。会議の開催を周知したものの、出席者数が微減している。次年度以降動向を注視し、会議の開催時間等再考の必要があれば策を講じたい。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	5	30	木	18:30 ~ 19:45	<p>子ども会等関係者会議 内容</p> <p>(1) 各機関、団体の自己紹介 ※昨年度の活動や今年度の予定なども含めて</p> <p>(2) 令和6年度公民館事業計画 ・青少年が対象となるおもな主催事業について ・「小櫃ちいきミニシアター」について</p> <p>(3) アンケート結果について ※ほかの団体に聞いてみたいこと、公民館へのご意見等を中心に</p> <p>(4) その他 ①生涯学習バスの利用について ・夏休み期間のバスの抽選について ②君津市民活動災害補償制度の案内 ③公民館から貸出できる物品、使用できる設備 ・モルックセット、グラウンドゴルフセット、屋外用アンプ、屋外用チェア&机、組み立て式テント ・駐車場、印刷機(紙持ち込み、製版1回40円、印刷1枚0.5円)、コピー機(1枚10円) ・講堂(バドミントン、卓球可)、ロビー(ボードゲーム類)</p>	小櫃公民館 研修室	17

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	こどもひろば (予算分類名) 青少年支援事業	作成日	令和 7 年 2 月 28 日						
		担当者	島津愛広						
		全回数	10 回	総時間数	16時間				
実施背景 目的 特記事項 等	長期休暇期間中の小櫃小学校の児童にとって、公民館が身近な居場所となるような機会を創出する。今年度は「公民館が居場所になること」を知ってもらうための事業に力を入れて行う。また昨年度のテーマだった「長期休みの宿題」についても継続して取り上げ事業を行う。								
対象・定員等	小櫃地区住民		支出概要	青少年教育事業（報酬金25千円、消耗品費16千円、通信運搬費8千円）					
周知方法等	対象地区内に世帯配布及び公民館内に掲示・配架								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6				7～12	13～15	16～19	20～39
	実数	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ	0	81	1	1	0	0	0	83
	計	0	78	3	2	3	14	0	100
		0	159	4	3	3	14	0	183
成果 反省課題 等	<p>【成果】 夏休みゲーム大会では、中高生のボランティアに運営の手伝いをしてもらったことで多世代が交流する機会を創出することもできた。「剣道体験」は学童からの依頼を受け、職員が学童に出向いて事業を行う新しいスタイルでの「こどもひろば」開催となった。</p> <p>【課題】 公民館の自由開放日を設けたが、利用する小学生は少なかった。また、「書き初め」が冬休みの宿題からなくなり、宿題の負担が減っているのが現状であること、宿題が少なくても自主学習は大切なことであるため、テーマの設定を考え直し居場所づくりとしての取り組みを継続していく。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	7	24	火	9:30 ～ 11:30	公民館でミニシアター！①	小櫃公民館 講堂	55
2	7	31	金	10:00 ～ 13:20	みんなで中央図書館へGO！！ 生涯学習バスを利用して中央図書館へ移動。 司書による読み聞かせ、自由探索の時間を設けた。 講師：和泉恵理子氏（君津市立中央図書館司書）、 小林祥代氏（会計年度任用職員）	君津市立 中央図書館	28
3	8	2	水	9:30 ～ 12:00	夏休みゲーム大会！ 小櫃公民館および小糸プレイルームで所有している ボードゲームを活用しゲーム大会を行った。 運営：小糸公民館の広場サポーター1名 上総小櫃中学校・君津青葉高校より募集した ボランティアの生徒 7名	小櫃公民館 和室	15

4	8	8	月	9:30 ～ 11:35	染め物に挑戦してみよう！【小櫃っ子チャレンジ】 玉ねぎの皮を使った染め物と染料を使った虹染めを行った 講師：山口晴子氏、吉田さやか氏	小櫃公民館 調理室	11
5	8	28	火	9:30 ～ 12:00	公民館でミニシアター！②	小櫃公民館 講堂	47
6	8	29	木	9:45 ～ 11:40	剣道体験 小櫃小学童クラブの依頼により実施 内容：竹刀や新聞紙で作成した素振り棒を使用して 実技体験などを行った。 協力：小櫃剣友会	小櫃小学校 学童クラブ	43
7				9:00 ～ 17:00	公民館はみんなのひろば（公民館自由開放） 公民館の講堂や会議室を小学生のために開放し、 気軽に宿題やスポーツができる場所として提供。 ・7/25（火） 9:00～17:00 研修室 ・7/27（木） 13:00～17:00 講堂・第一会議室 ・7/28（金） 14:30～17:00 研修室 ・8/ 2（水） 12:00～17:00 第一会議室 ・8/ 4（金） 9:00～12:00 講堂・研修室 ・8/10（木） 9:00～17:00 講堂・第一会議室 ・8/18（金） 9:00～17:00 研修室 ・8/21（月） 9:00～17:00 第一会議室	小櫃公民館 講堂／ 研修室	6
8	12	23	月	9:30 ～ 11:30	公民館で書初め教室 小学校の授業でもある「書き初め」の 教室を公民館で開講した。 講師：田丸昴衛氏（東華書道院昴書道塾）	小櫃公民館 講堂	9
9	12	26	火	9:30 ～ 11:30	手作り凧をあげよう！ 公民館で凧を作成後、スポーツ広場に移動し 凧揚げを行った。	小櫃公民館 研修室 小櫃スポー ツ広場	4
10	12	26	木	12:00 ～ 17:00	公民館はみんなのひろば（公民館自由開放） 公民館の講堂と研修室を小学生のために開放し、 気軽に宿題やスポーツができる場所とした。 12/26 午後 ※1日限定	小櫃公民館 研修室 講堂	5

令和6年度事業報告書

令和6年度事業報告書		機関名	小櫃公民館						
事業名称	何でも挑戦！ おびっつ子チャレンジ！ (予算分類名) 青少年支援事業	作成日	令和 7 年 2 月 28 日						
		担当者	島津愛広						
		全回数	1 回	総時間数	3時間				
実施背景 目的 特記事項等	<p>スマホやゲームで遊ぶことが増えている現代の子どもたちに、いろいろな体験をしてもらい、新しい発見やさまざまな感性を身につけてもらうことを目的に実施する。今回は、令和5年に藍染形作家・松原伸生さんが人間国宝に認定されたことを受け、子どもたちにも気軽に染め物に挑戦してほしいと考え企画。</p> <p>※夏休みの自由研究のテーマにもなりうる内容であることから、こどもひろば「夏休み」としても参加者を募集。</p>								
対象・定員等	小櫃小学校1～6年生 16名程度		支出概要	青少年教育事業（報酬金25千円、消耗品費16千円、通信運搬費8千円）					
周知方法等	小櫃小学校にチラシ配布 公民館に配架・掲示								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6				7～12	13～15	16～19	20～39
	実数	0	0	0	0	0	0	0	0
	男女計	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ	0	2	1	0	0	0	0	3
	男女計	0	7	0	0	2	2	0	11
		0	9	1	0	2	2	0	14
成果 反省課題等	<p>【成果】 今回の事業は保護者の参加も可能とし、保護者やきょうだい（中学生）の参加があった。家族と一緒に、学校ではできない体験を楽しんでいる様子がかがえ、実施してよかったと考える。事業終了後のアンケート等から「染め物に関心を持っていた」という声が多数寄せられたため、テーマの設定もよかったと考える。</p> <p>【課題】 小学生とその保護者を対象にした事業が少ないのが現状であるため、今後も積極的に企画・実施したいと考える。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	8	8	日	9:30 ～ 12:00	<p>染め物に挑戦してみよう！ 玉ねぎの皮を使った染め物と染料を使った虹染めを行った</p> <p>講師：山口晴子氏、吉田さやか氏</p>	小櫃公民館 調理室	14

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	青少年相談員連携事業	作成日	令和7年2月28日						
		担当者	島津愛広						
(予算分類名) 青少年支援事業		全回数	3回	総時間数	7時間				
実施背景 目的 特記事項等	青少年相談員とともに運営する事業であり、子どもと子育て世代がともに交流し、青少年の健全育成を図ることを目的とした。 例年1月に実施している「新春ふれあいフェスタ」として今年度は「小櫃廻戦」(オリンピックゲーム)を実施した。								
対象・定員等	小櫃小学校1～6年生 30名程度・保護者		支出概要	青少年教育事業(報酬金25千円、消耗品費16千円、通信運搬費8千円)					
周知方法等	小櫃小学校にチラシ配布 公民館に配架・掲示								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6				7～12	13～15	16～19	20～39
	実男	0	0	0	0	0	9	0	9
	実女	0	0	0	0	0	2	0	2
	計	0	0	0	0	0	11	0	11
	延男	0	10	0	0	0	22	0	32
	延女	0	9	0	0	0	7	0	16
	計	0	19	0	0	0	29	0	48
成果 反省課題等	<p>【成果】 多くの小学生の参加があり、イベントを楽しんでいる様子だった。ドッチビーでは、相談員と小学生が一緒になって楽しんでいる様子が見受けられ、楽しく交流するイベントにすることができてよかったと考える。今回の交流は次年度の「こどもキャンプ」にもつなげられる貴重な機会になったと考えられる。</p> <p>【課題】 イベントを考えるための会議を開催するのは大切であるが、会議の時間が長くなり相談員の負担になってしまう部分もある。相談員の「子どものために」という気持ちは尊重しつつ、負担を軽減できるよう事業や会議の運営方法を見直したい。</p>								

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	11	28	木	19:30 ～ 21:30	第10回青少年相談員会議 毎年1月に実施している青少年相談員事業の内容について協議を行い、「小櫃廻戦」(オリンピックゲーム)を開催することに決定した。	小櫃公民館 第一会議室	7
2	1	16	木	19:30 ～ 21:30	第11回青少年相談員会議 1月25日(土)の実施に向けて、ゲーム内容の詳細や配置について協議を行った。	小櫃公民館 研修室	8
3	1	25	土	13:15 ～ 15:30	小櫃廻戦 ドッチビー、紙飛行機、まと当て、反復横跳び、カーレット、クイズなど様々なゲームに挑戦	小櫃公民館 全館	33

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	子どもキャンプ	作成日	令和7年2月28日						
		担当者	島津愛広						
(予算分類名) 青少年支援事業		全回数	11回	総時間数	42時間				
実施背景 目的 特記事項等	小櫃地区青少年相談員連絡協議会と共催で実施。 学校では学べない「自然の中を生き抜く力」を身につけてもらうことを目的とする。参加した子どもたちには、親もとをはなれて友だちと共同生活を送りつつ、さまざまな事柄に挑戦し、かけがえのない経験を積んでもらう機会を創出することを目指した。								
対象・定員等	小櫃小学校4～6年生 30名程度		支出概要	費用は青少年相談員の予算から支出。					
周知方法等	小櫃小学校集会にてチラシ配布 公民館に配架								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6				7～12	13～15	16～19	20～39
	実数	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ	0	20	0	0	0	74	0	94
	計	0	41	0	0	0	94	0	135
成果 反省課題等	【成果】 昨年度とは違うキャンプ場での開催となり職員・相談員ともに不安があったが、会議や研修、オリエンテーションなどを入念に行ったこともあり、大きな事故もなく終了することができた。参加した小学生にとっても、友だちと一緒に海水浴やキャンプファイヤーなど、日常生活では体験することのない貴重な活動となったと思う。								
	【課題】 地球温暖化が進み、気温の高い夏にキャンプを開催するのは大きなリスクを伴う。水分や塩分などの補給をこまめに呼びかけ運営したが、1名、熱中症のため途中で帰宅する児童が出てしまった。開催時期を含め、実施方法について検討する必要があると考える。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	4	18	木	19:30～21:30	第1回青少年相談員会議 今年度の子どもキャンプの内容、今後の流れについて協議。	小櫃公民館 第一会議室	9
2	5	16	火	19:30～21:30	第2回青少年相談員会議 キャンプの目的、下見の内容や日程の確認、上総地区との共同活動について協議。	小櫃公民館 第一会議室	7
3	6	6	火	13:30～17:30	現地下見 公民館職員と相談員で海水浴場とキャンプ場の下見を行った。	亀山コミュニティーセンター、 稲ヶ崎キャンプ場	8
4	6	5	木	19:30～21:30	第3回青少年相談員会議 キャンプの日程を確認、下見の報告、チラシ、ライフジャケット等について協議。	小櫃公民館 第一会議室	8

5	7	2	火	19:30 ～ 21:30	第4回青少年相談員会議 オリエンテーション及び当日の詳細確認・ 役割分担、その他懸案事項について協議。	小櫃公民館 第一会議室	11
6	7	7	日	9:00 ～ 15:30	子どもキャンプオリエンテーション 安全確認、テント張りの実習、班の旗作り、 ダンスの練習、カレーの具材の決定等	小櫃公民館 駐車場 ・講堂	31
7	7			19:30 ～ 21:30	第5回青少年相談員会議 当日の詳細確認・役割分担等の協議	小櫃公民館 第一会議室	9
8	7	20	土	8:00 ～ 22:00	子どもキャンプ1日目 海水浴、テント設営、カレー作り、焚火&レクなど	亀山コミュニ ティセン ター、 稲ヶ崎キャ ンプ場	32
9	7	21	日	6:00 ～ 13:00	子どもキャンプ2日目 朝食作り、テント片付け、旗コンテストなど	亀山コミュニ ティセン ター、 稲ヶ崎キャ ンプ場	10

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	令和7年小櫃地区20歳のつどい		作成日	令和7年3月5日					
	(予算分類名) 青少年教育事業		担当者	會澤直也					
		全回数	7回	総時間数	8時間20分				
実施背景 目的 特記事項等	<p>人生の節目を迎える20歳の青年の門出をともに祝い励ます行事を通じて、青年が大人になった自覚を持つことのできる機会、並びに地域の人々との交流を深める機会を提供し、もって青年教育の推進と地域の活性化を図る。</p> <p>※令和4年4月の民法改正に伴う成人年齢の引き下げにより、「成人を祝う集い」を改め「20歳（はたち）の集い」の名称として開催。 ※生涯学習文化課予算から、通信費や報償費が配分される。 ※中学校統合に伴い小櫃地区単独開催は今年度が最後となる。</p>								
対象・定員等	小櫃地区新成人・小櫃地区住民		支出概要 青少年教育事業（報酬金25千円、消耗品費16千円、通信運搬費8千円） ※生涯学習文化課予算から報償費、通信運搬費支出						
周知方法等	広報きみつ・公民館だより等で周知。新成人者に個別通知。								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実男	0	0	0	0	0	0	0	0
	実女	0	0	0	0	4	0	0	4
	実計	0	0	0	0	4	0	0	4
延男	0	0	0	0	18	0	0	38	
延女	0	0	0	0	37	0	0	60	
延計	0	0	0	0	55	0	0	98	
成果反省 課題等	<p>【成果】 昨年度の反省から、実行委員会の結成に向けて早めに動き出したことで、今回の組織化はスムーズに行うことができた。 今回、単独開催としては最後となることから、例年以上に実行委員の要望にも添えるよう声掛けを行ってきたが、集いのイメージの共有化とその後の検討の結果、多少の改善をしつつも例年と同様の構成（当日の内容、記念品）で進めることになった。それでも新成人一人ひとりの抱負や実行委員長によるお礼の挨拶は、温かみのあるなかでも決意に満ちた雰囲気となり、来賓からも好評の声をいただいた。</p> <p>【課題】 来年度から上総の3地区と小櫃を含めた4地区が統合した集いとなるが、コロナ禍で制限のあるなか開校した世代であり、共に中学生時代を過ごした時間は1年に満たないなかでの実行委員体制の構築となる。 また、上総と小櫃でそれぞれ取り組まれてきた集いの形態を融合していくにあたり、事務レベルでもすり合わせを行っていくと共に、実行委員の思いの実現と会場となる中学校との調整、さらに同窓会色が強まらないようにするなど、想定される課題は多いため、両公民館の連携が不可欠である。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	9	6	金	19:00 ~ 19:45	第1回実行委員会 ・自己紹介 ・20歳のつどいについて ・つどいのイメージ作り ・実行委員体制について	小櫃公民館 第1会議室	2
2	9	14	土	18:00 ~ 18:45	第2回実行委員会 ・実行委員の追加、実行委員長選出 ・つどいの具体化 ・来賓・恩師招待者 ・記念品、案内状について	小櫃公民館 講義室	2

3	10	6	日	16:00 ~ 17:20	第3回実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・シナリオの検討（役割分担、ピアノ伴奏者、新成人企画、恩師からのメッセージ） ・恩師招待者の確認 ・案内文書について 	小櫃公民館 講義室	4
4	12	15	日	16:00 ~ 17:00	第4回実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・案内文書の発送状況 ・つどいの内容検討 (スライドの確認、会場配置、シナリオ、役割分担) 	小櫃公民館 講義室	4
5	1	11	土	18:30 ~ 19:30	第5回実行委員会（リハーサル） <ul style="list-style-type: none"> ・シナリオをもとにリハーサル ・パンフレットの封入作業・配架作業 ※会場設営は前日より職員で実施済み	小櫃公民館 講堂	4
6	1	12	日	13:30 ~ 16:00	令和7年小櫃地区20歳のつどい 開会、国歌斉唱、市長ビデオメッセージ、来賓代表挨拶、来賓紹介、祝電披露、新成人企画「私たちが新成人です!」、恩師からのメッセージ、お礼の言葉、閉会（終了後、記念撮影） <ul style="list-style-type: none"> ・新成人35名（男性18名、女性17） ・来賓16名、主催者1名 ・家族25名、ボランティア1名 	小櫃公民館 講堂ほか	78
7	2	2	日	16:00 ~ 17:00	第6回実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・記念品発送作業 ・会計報告 ・活動の振り返り（感想、次年度への改善点等） 	小櫃公民館 講堂	4

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	利用者懇談会	作成日	令和7年3月4日						
		担当者	藤平裕子						
(予算分類名) コミュニティ活性化事業		全回数	4回	総時間数	6時間25分				
実施背景 目的 特記事項等	<p>公民館を利用するサークルや団体を対象に、アフターコロナ禍を見据えた活動の活性化や、利用者と職員間の連携を深めることを目的として開催する。</p> <p>昨年度までは「利用者研修会」として開催していたが、今年度から「利用者懇談会」と名称を変更する。公民館の存在意義や、新型コロナが5類に移行したことを踏まえての、現状での公民館利用方法を改めて確認・周知する機会を創出し、さらに公民館が直面している課題（再整備計画等）についても共有できるよう、参加者間交流という側面にも重点を置き、「懇談会」として開催する。</p>								
対象・定員等	長期利用サークル・団体		支出概要 コミュニティ活性化事業 （報償金65千円、印刷製本費657千円、消耗品費12千円、通信運搬費7千円）						
周知方法等	はがきでの郵送								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6					7～12	13～15	16～19
	実数	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	41
成果反省 課題等	<p>【成果】 開催のスタイルを「研修会」から「懇談会」に改め、参加者同士が交流できるような時間の創出を試みるとともに、公民館側と利用者側との双方向性が構築できるような内容で企画。参加者が所属するそれぞれのサークルなり団体なりの課題や、公民館の再整備を「自分事」として考えていただくような雰囲気醸成に努めた。</p> <p>【課題】 参加可能な時間帯を考慮し「昼の部」と「夜の部」を設定し実施しているものの、どちらにも不参加、というサークルが一定数あり、その解消に至らない。次年度はより丁寧な参加呼びかけを行うとともに、負担感の軽減にも留意したい。この懇談会での内容をサークルや団体内全体で共有していただけるように促す。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1・2	7	16	火	14:00 ～ 15:30 / 18:00 ～ 19:30	令和6年度第1回利用者懇談会 昼の部/夜の部 ①小櫃公民館の使い方について ②令和6年度後期(10月～3月)の公民館定期利用について ③懇談会「(仮)公民館『快善』計画について」 ④第50回小櫃地区文化祭について	小櫃公民館 研修室	21
3・4	1	30	火	13:55 ～ 15:55 / 18:00 ～ 19:25	令和6年度第2回利用者懇談会 昼の部/夜の部 ①小櫃公民館からのお知らせ ②まちづくりふれあい講座から「マイナンバー制度について」 講師：平野真澄氏(国保年金課) ③「地域づくり協議会設立準備会」について 講師：小高徹氏・中村亮彦氏(地域づくり課) ④小櫃公民館開館50周年記念事業について 振り返り	小櫃公民館 研修室	20

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	館報「おびつだより」の編集・発行	作成日	令和7年2月28日						
		担当者	島津愛広						
(予算分類名) コミュニティ活性化事業		全回数	4回	総時間数					
実施背景 目的 特記事項等	地域における学習・活動・文化・くらし等を取材・編集し、地域住民と公民館を結ぶパイプ役とする。地域の動き等を積極的に紙面に掲載し、住民の手に取ってもらえる、地域に密着した公民館だよりを目指して作成する。開館50周年を迎える当該年度であるため関連事業やイベントの周知や報告も積極的に行う。 ※編集委員4名								
対象・定員等	小櫃地区住民		支出概要	コミュニティ活性化事業 (報償金65千円、印刷製本費657千円、消耗品費12千円、通信運搬費7千円)					
周知方法等	年4回発行(6月、9月、12月、3月)								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6				7~12	13~15	16~19	20~39
	実数	0	0	0	0	0	0	3	3
	男	0	0	0	0	0	0	2	2
	女	0	0	0	0	0	0	5	5
	延べ	0	0	0	0	0	0	3	3
	男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	0	4	4
成果反省 課題等	【成果】 公民館開館50周年の年として、イベントの周知や当日の様子などの報告などを積極的に掲載することで、公民館に来られない方々にも情報を発信することができた。また、記念連載として、日常的に公民館を使う方の利用方法を紹介・周知につなげることができた。 取材を通して地域住民との交流を図ることもできたため、今後も編集委員とともに地域住民に寄り添った視点で、小櫃の人・こと・ものを取り上げ、地域に根差した広報誌としての位置づけを堅持していきたい。 【課題】 紙面に取り上げられなかった行事や地域の動きもあると考えられる。より多くの地域住民から情報を収集し、地域のひとが登場する紙面づくりを大切にしていきたい。また、手元に残して読んでもらえるような紙面を作成するために、他館の広報誌を参考にするなど新しい視点を取り入れていく。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	6	20	木		おびつだより 232号 【1面】 ・小櫃公民館は開館50周年を迎えます！ ・小櫃公民館 定期利用サークル・団体一覧 ・館長あいさつ ・よこがお ・ふらっと公民館に来ませんか？ 【2面】 ・おびつびと(鈴木美虹子さん) ・小櫃まるごと博物館、 ・小櫃の動き 各種団体役員・委員紹介 ・高齢者の皆さんへ！公民館事業のご紹介！ ・編集後記 編集委員会(4/17、5/27) 取材(2回)	小櫃公民館 ほか	

2	9	19	木	<p>おびつだより 233号</p> <p>【1面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小櫃公民館開館50周年を盛り上げよう！ ・わたし流・公民館の使い方（久保島さん） ・小櫃の動き ・「君津市公共施設等再整備基本計画」をご存じですか？ <p>【2面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おびつびと（鈴木美虹子さん） ・第23回訪日使節団にインタビュー ・小櫃振興会通常総会および講演会が開催されました ・小櫃地区防災講座を実施しました ・編集後記 <p>編集委員会（7/1、8/21） 取材（7回）</p>	小櫃公民館 ほか
3	12	19	木	<p>おびつだより 234号</p> <p>【1面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小櫃公民館開館50周年記念文化祭開催 <p>【2面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館50周年記念事業を大紹介！ ・わたし流・公民館の使い方（塩田さん） ・小櫃の動き ・公民館改善報告 ・編集後記 <p>編集委員会（10/4、11/21） 取材（2回）</p>	小櫃公民館 ほか
4	3	13	木	<p>おびつだより 235号</p> <p>【1面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小櫃地区20歳のつどい開催 ・ちょボラの会 活動報告 ・小櫃公民館開館50周年記念誌を発行しました！ <p>【2面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小櫃とブラジルの交流 ・2025年 年女にインタビュー ・小櫃まるごと博物館 ・小櫃の動き ・開館50周年記念コンサートを開催しました！ ・小櫃の未来についてみんなで考えてみませんか ・わたし流・公民館の使い方（小高・手塚さん） ・編集後記 <p>編集委員会（1/14、2/17） ・取材（3回）</p>	小櫃公民館 ほか

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館							
事業名称	開館50周年記念文化祭 (第50回小櫃地区文化祭)		作成日	令和7年3月4日						
			担当者	藤平裕子						
(予算分類名) コミュニティ活性化事業		全回数	6回	総時間数	18時間					
実施背景 目的 特記事項等	<p>今年度は開館50周年当該年であることから、“開館50周年記念文化祭”の名称を用いた。豊かな地域文化の創造と、活力ある地域社会づくりをめざし、各種団体・サークルおよび個人の文化活動、公民館の事業成果を発表する機会を創出する。公民館利用者だけではなく、小櫃地区全体の“文化の祭典、”とすることを念頭に置き、特に50周年記念として「特別企画」にも注力する。</p> <p>公民館が主催するが、運営にあたっては小櫃公民館利用者連絡協議会を中心に実行委員会を結成し、実行委員会により運営を行う。</p>									
対象・定員等	小櫃地区住民		支出概要 コミュニティ活性化事業 (報償金65千円、印刷製本費657千円、消耗品費12千円、通信運搬費7千円)							
周知方法等	自治会毎戸配布、館内ポスター掲示など									
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	支出概要
	実数	0	0	0	0	0	0	0	0	
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	
延べ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1294
男	0	0	0	0	0	0	0	0		
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

成果反省
課題等

文化祭運営に関して、参加者全員が集まる機会は3回の実行委員会と1回の共同作業日の計4回のみであることから、この少ない機会を有効活用するため、職員と参加者間で実施目的や企画内容、進捗状況等、情報の共有化に留意した。

ただ、今回は、開館50周年を迎える“記念文化祭”として開催することから、事前に多方面との様々な折衝や調整が必要となったこともあり、“小櫃公民館利用者連絡協議会を中心に実行委員会を結成し実行委員会により運営を行う”と謳っていたものの、若干職員主導に傾いてしまったことが反省点である。

次年度以降、参加者のみなさんが文化祭を「自分事」としてとらえるよう、さらなる気運醸成に努め、地域のみなさんにとってこの文化祭が「地域の一大イベント」として根付くよう注力したい。

また、サークルや団体として、発表や展示に関わらなくても、文化祭の裏方的な役割を担う「(仮)支援部門」を増設し、厳しい職員体制ではあるが、文化祭への関わり方の多様化も図りたい。

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	5	24	金	14:00 ~ 15:15	第50回小櫃地区文化祭実施に向けた第1回企画会議 ・開館50周年記念文化祭としての位置づけ ・現段階での懸案事項 ・特別企画等について ・「開館50周年」冠事業について ・今後の実行委員会等の進め方	小櫃公民館 研修室	11
2	7	26	金	18:30 ~ 19:00	第1回実行委員会 ・実行委員会役員体制について ・開催要項案について ・現段階での参加団体数について ・特別企画について ・全体の流れ・今後の日程について	小櫃公民館 講堂	28

3	9	19	木	18:30 ～ 19:15	第2回実行委員会 ・報告：各部門および特別企画の進捗状況について ・文化祭プログラムについて ・記念式典について ・全体の流れ・今後の日程について	小櫃公民館 研修室	47
4	10	21	月	9:15 ～ 10:45	共同作業 ※共同作業終了から10月25日（金）までを 準備期間とする	小櫃公民館 各部屋 ・駐車場	78
—	10	21 ～ 25	月 ～ 金	—	展示作業・模擬店準備・発表リハーサル	小櫃公民館 各部屋 ・駐車場	—
5	10	26 ～ 27	土 ～ 日	9:00 ～ 16:00 / 9:00 ～ 15:00	第49回小櫃地区文化祭 ・展示部門 ・発表部門 ・販売部門 ・体験部門 ・特別企画「日伯交流親善事業50周年記念」 ※アンケート調査票の配布	小櫃公民館 各部屋 ・駐車場	1104
6	11	12	火	18:30 ～ 19:30	第3回実行委員会 (1) アンケート結果の共有 (2) 次年度開催に向けて	小櫃公民館 研修室	26

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	小櫃公民館開館50周年記念コンサート (おびつ里山コンサート)		作成日	令和7年3月5日					
	(予算分類名) コミュニティ活性化事業		担当者	會澤直也					
		全回数	1回	総時間数	1時間15分				
実施背景 目的 特記事項等	<p>地域住民が文化芸術活動を身近な場所で楽しみ、誰もが気軽に参加できるコンサートを実施する。また、君津市在住の若手演奏者を起用することで、君津市の芸術文化活動の活性化を図ることを目的に実施する。</p> <p>今年度は小櫃公民館開館50周年に合わせ、記念コンサートとして位置付ける。 ※演奏者：篠宮幸則、鈴木希実</p>								
対象・定員等	一般成人		支出概要 コミュニティ活性化事業 (報償費65千円、印刷製本費657千円、消耗品費12千円、通信運搬費7千円) から報償費20,000円						
周知方法等	広報きみつ、市HP、自治会配布、館内掲示、オーケラロビーコンサートにてチラシ配布								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6					7~12	13~15	16~19
	実数	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0	0	0	0	0	0	38
	女	0	0	0	0	0	0	0	85
	計	0	0	0	0	0	0	0	123
成果反省 課題等	<p>【成果】 通常の自治会回覧やホームページ、学校へのチラシ配布といった広報手段に加えて、広報きみつや、小櫃公民館公式LINE、松本ピアノ関連のコンサートでの配布物にチラシを同封してもらうなどのほか、出演者の同級生などの関係者による声掛け等により、多方面に周知活動を行うことができた。加えて(当日の対応となったが)、かずさFMによる電話出演を行うことになり、結果として126名の事前申込と当日の飛び入り参加13名という反響ぶりだった。</p> <p>小櫃公民館開館50周年記念コンサートの趣旨を出演者も汲んでくれたことで、曲の演奏と地域や公民館に対する思い出話が結びつき、最後には、参加者全員参加での歌唱として小櫃小学校校歌や「ふるさと」によって、温かい雰囲気の中で実施することができた。</p> <p>【課題】 地元出身の演奏者による集客効果が今回大きかったことから、今後も出演者探しの視点にしていく必要がある。過去、房総楽友協会の協力を得ながら実施してきたが、今後は、松本ピアノ・オルガン保存会の協力も含めて、地元演奏者に出演依頼をしていきたい。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	備考(会場・他)	参加数	
1	1	26	日	13:30 ~ 14:45	小櫃公民館開館50周年記念コンサート ~小櫃出身の演奏者による音楽の調べ~ 第1部 トランペット・ピアノ演奏 トランペット：篠宮氏／ピアノ：鈴木氏 (少年時代、糸、ひまわりの約束) ※小櫃や公民館にまつわるエピソードを 交えながら進行 第2部 ピアノソロ演奏 ピアノ：鈴木氏 (トルコ行進曲、エリーゼのために、 アラバスク第1番、月の光、幻想即興曲) 第3部 みんなで歌いましょう (上を向いて歩こう、小櫃小学校校歌、ふるさと)	小櫃公民館 講堂	123

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館							
事業名称	ちよボラの会	作成日	令和7年3月6日							
		担当者	會澤直也・島津愛広							
	(予算分類名) コミュニティ活性化事業	全回数	10回	総時間数	21時間20分					
実施背景 目的 特記事項等	<p>ちよこっとボランティアの会(ちよボラの会)は「What you can do, when you can」(できることを、できるときに)を合言葉に取り組むボランティア活動。ボランティア本人が、まずは楽しむことを第一にしながら、公民館をもっと親しみやすく、使いやすいものにするために活動することを通して、「用がなくても来られる公民館」づくりに寄与する。</p> <p>※令和3年7月5日～令和5年7月4日 小櫃在住高校生1名が活動 (主に図書室の蔵書整理と特集本の選書、特集コーナーづくりのほか、文化祭芸能発表の司会に従事)</p> <p>※小櫃公民館の再整備計画にかかるアンケート(新たな公民館等に期待することは何ですか?)で、「用事がなくても憩い・くつろげる環境の整備」が最も要望が多かった(32.1%)。ワークショップ(令和5年度)においても、ロビーや図書室を中心に、こどもの居場所、遊び場など気軽に立ち寄れる交流空間、くつろげる雰囲気づくりに対する要望が多く出されたことを受け大人版として実施。 令和6年2月29日準備会 3月12日第1回活動</p>									
対象・定員等	関心のある小櫃地域住民または公民館利用者					支出概要 コミュニティ活性化事業 (報償金65千円、印刷製本費657千円、消耗品費12千円、通信運搬費7千円)				
周知方法等	館内掲示、毎戸配布(ORAGA ICHI)、公民館LINE									
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19		20~39	40~59	60~	合計
	実数	0	0	0	0		0	0	0	0
	男女計	0	0	0	0	0	0	0	4	
	延べ	0	0	3	0	0	0	0	9	
		0	1	0	0	0	0	0	33	
		0	1	3	0	0	0	0	42	
成果反省 課題等	<p>【成果】 小櫃公民館の快善活動として、機動力高くアイデアを実現してきたことで、ロビーを中心に来館者から好評の声が届いている。特に、にぎわい創出のための「ORAGA ICHI」は今後の利用者の拡大を図ると共に、地域活性イベントとして可能性を持っているといえる。</p> <p>【課題】 負担感よりも楽しみながら取り組めることをコンセプトに実施しているが、コアメンバーの事情もあり夜の会議が中心のため参加できる人が限られている。今後の進め方など、より良い方法を対話の中から探っていくと共に、活動をさらに周知していく必要がある。</p>									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	4	26	金	19:00 ~ 22:00	<p>ちよボラの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書コーナーの蔵書検討と選書 ・ふらっとロビー、ボードゲームについて ・会の名称 ・(仮称)マルシェについて 	小櫃公民館 図書室・ ロビー	4

2	5	23	木	19:00 ～ 21:15	ちょボラの会 <ul style="list-style-type: none"> ・ふらっとカフェについて ・中学生のロビー使用について (中学生から聞き取り) ・ふらっとORAGA ICHIについて ・公運審委員との懇談会について 	小櫃公民館 ロビー	2
3	6	25	火	19:00 ～ 21:30	ちょボラの会 <ul style="list-style-type: none"> ・公運審委員との懇談会 ・ふらっとカフェについて ・ORAGA ICHIについて ・そのほか(メンバー募集、中学生ボランティア) 	小櫃公民館 ロビー	8
4	7	30	火	19:00 ～ 21:30	ちょボラの会 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者懇談会で出された意見を共有 ・ふらっとカフェについて ・ORAGA ICHIについて ・その他(中学生ボランティア) 	小櫃公民館 ロビー	5
5	8	30	金	14:00 ～ 14:35 18:55 ～ 19:25	おびつのORAGA ICHI 出品者説明会(昼の部、夜の部) <ul style="list-style-type: none"> ・ORAGA ICHIについて説明 ・今後のスケジュール ・自己紹介・販売物品の確認及び質疑 ・販売場所の抽選、区画の決定 	小櫃公民館 第1会議室 ロビー	6
6	8	30	金	19:25 ～ 20:40	ちょボラの会 <ul style="list-style-type: none"> ・ふらっとカフェについて ・ORAGA ICHIについて ・その他(授乳スペースの設置、 公民館再整備説明会、ガーランド) 	小櫃公民館 ロビー	3
7	9	12	木	19:00 ～ 20:15	ちょボラの会 <ul style="list-style-type: none"> ・ORAGA ICHIについて ・ガーランドによる装飾作業 ・その他 (住民説明会とふらっとロビープレミアム) 	小櫃公民館 ロビー	3
8	10	22	火	19:00 ～ 21:55	ちょボラの会 <ul style="list-style-type: none"> ・ORAGA ICHIの準備(会計方法、役割分担、 値付け作業、準備及び当日の流れ確認) 	小櫃公民館 ロビー	7
9	12	5	木	19:00 ～ 21:35	ちょボラの会 <ul style="list-style-type: none"> ・ふらっとカフェ・ベンチのリメイクについて報告 ・ORAGA ICHIの会計報告とふりかえり、売上金及び 売れ残り品の扱いについて ・講義室の壁面デザインについて 	小櫃公民館 ロビー	2
10	3	6	木	19:00 ～ 21:00	ちょボラの会 <ul style="list-style-type: none"> ・ふらっとカフェ・バザー売上金の使途について報 告 ・次回ORAGA ICHIについて ・講義室の壁面デザインについて ・1年のふりかえり ・子ども食堂 	小櫃公民館 ロビー	2

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館							
事業名称	小櫃ちいきミニシアター		作成日	令和7年2月28日						
			担当者	島津愛広						
(予算分類名)		コミュニティ活性化事業	全回数	3回	総時間数	6時間				
実施背景 目的 特記事項等	公民館から地域の身近な集会場等に出張する機会を作り、生涯学習活動の活性化を目的に実施する。木更津市視聴覚ライブラリー及び君津中央図書館から、生活知識の取得や娯楽に関する題材のビデオ教材を借用し実施する。地域の子ども会のイベントのひとつとして気軽に活用してもらうために、周知を行う。									
対象・定員等	小櫃地区内住民									
周知方法等	公民館に配架・掲示 子ども会等関係者会議で周知									
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	支出概要 コミュニティ活性化事業 (報償金65千円、印刷製本費 657千円、消耗品費12千円、通 信運搬費7千円)
	実男	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実女	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	
	延男	2	48	0	0	2	0	0	52	
延女	2	52	0	0	6	11	0	71		
	計	4	100	0	0	8	11	0	123	
成果反省 課題等	<p>【成果】 小櫃小学童クラブのほか、子ども会担当者からも依頼があり、や子ども会で実施することができた。令和5年度に公民館から開催を提案した山本地区からの依頼があり良かった。</p> <p>【課題】 昨年度と比べると、地域の団体からの依頼がかなり少なくなった。継続的に積極的な周知を行っていきたいと考える。 その一方で学童クラブや地域団体からは、剣道の指導やボードゲームの貸し出しなど映画以外のことについても出張の依頼をいただいているため、地域団体が求めるものに対して柔軟に対応していきたいと考える。</p>									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	7	24	火	9:30 ~ 11:30	こどもひろば 公民館でミニシアター①	小櫃公民館 講堂	55
2	8	4	日	14:00 ~ 15:30	山本子供会 上映作品 「トムとジェリー 上には上がある」 「映画忍たま乱太郎(16ミリフィルム映画)」	山本青年館	21
3	8	28	火	9:30 ~ 12:00	こどもひろば 公民館でミニシアター②	小櫃公民館 講堂	47

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	団体支援事業（公民館利用者連絡協議会・小櫃の元気な子どもを育てる会） （予算分類名） コミュニティ活性化事業	作成日	令和 7 年 3 月 5 日						
		担当者	藤平裕子						
		全回数	9 回	総時間数	21時間53分				
実施背景 目的 特記事項等	【小櫃の元気な子どもを育てる会】 公民館長が副会長、副館長は事務局を担う。 3つの部会（連携・環境整備・広報啓発）のうち、館長は広報啓発部会の部会長を担い、「小櫃の元気な子どもを育てる会」の広報誌『きずな』を編集・発行。 【利用者連絡協議会】 公民館と相互に協力体制を堅持し、相談業務を担う。								
対象・定員等	一般		支出概要	コミュニティ活性化事業 （報償金65千円、印刷製本費657千円、消耗品費12千円、通信運搬費7千円）					
周知方法等	会議通知・案内状郵送等								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6					7～12	13～15	16～19
	実男	0	0	0	0	0	0	0	0
	実女	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0
	延男	0	0	0	0	0	0	0	0
	延女	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	198
成果反省 課題等	【小櫃の元気な子どもを育てる会】 公民館が関わる広報啓発部会では、広報紙『きずな』を編集・発行（第36号:令和6年9月19日発行、第37号は令和7年3月13日発行予定）した。 会全体として、構成団体および構成員の見直しが課題であったが、令和6年度の総会にて、組織の改編について具体的に着手することの承認を得ることができた。これを受け、事務局や三役会で構成団体・構成員のスリム化を協議し、「案」を作成、第2回役員会にて了承を得、長年の懸案事項であった組織の見直しが実現した。 【小櫃公民館利用者連絡協議会】 コロナ禍以前のような活動が可能となったものの、会員の高齢化や会員数の減少が継続的課題であり、定期利用サークルの会員数は減少傾向にある。利用者連絡協議会に入会しない、と明言するサークルもあり、次年度以降も利用者連絡協議会とともにサークル活動のテコ入れに注力したい。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	4	12	金	10:00 ～ 11:00	「小櫃の元気な子どもを育てる会」打合せ会議 ・令和6年度第1回役員会について ・令和6年度総会について ・組織の体制見直しについて	小櫃公民館 第一会議室	5
2	5	9	木	18:00 ～ 20:30	令和6年度「小櫃の元気な子どもを育てる会」第1回役員会 ・教育現場における現状と課題について ・令和5年度活動報告の確認 ・第20回定期総会について	小櫃公民館 和室	27
3	6	2	日	14:00 ～ 15:13	令和6年度「小櫃の元気な子どもを育てる会」第20回総会 ・令和5年度活動報告 ・令和5年度決算報告および監査報告 ・令和6年度活動計画(案) ・令和6年度収支予算書(案) ・令和6年度役員改選(案) ※新年度役員紹介	小櫃公民館 講堂	58

4	12	18	火	18:30 ~ 20:00	令和6年度「小櫃の元気な子どもを育てる会」 第2回役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・教育現場における現状と課題について ・令和6年度活動の中間報告 ・「小櫃の元気な子どもを育てる会」 組織の体制見直しについて 	小櫃公民館 研修室	19
5	2	1	土	10:00 ~ 12:00	令和6年度君津市青少年健全育成団体合同研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・活動発表： 八重原中学校区青少年健全育成協議会 ・講和1「君津市の青少年犯罪の現状と課題」 ・講話2「保護司の職務内容と君津市の現状等について」 	生涯学習交 流センター	4
6	4	19	金	9:00 ~ 11:30	「小櫃公民館利用者連絡協議会」会計監査 および役員会 ※会計監査 <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度総会について 	小櫃公民館 第一会議室	5
7	5	21	火	18:30 ~ 19:40	令和6年度小櫃公民館利用者連絡協議会総会 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告 ・令和5年度会計報告および会計監査報告 ・令和6年度事業計画（案）について ・令和6年度予算（案）について 	小櫃公民館 研修室	23
8	5	30	木	9:00 ~ 11:00	令和6年度小櫃公民館利用者連絡協議会 環境美化活動	小櫃公民館 敷地内	32
9	2	20	木	8:30 ~ 16:30	利用者連絡協議会移動研修 <ul style="list-style-type: none"> ・国立歴史民俗博物館（佐倉市） ・大本山成田山新勝寺（成田市） ※生涯学習バスで移動 	国立歴史民 俗博物館／ 成田山新勝 寺	25

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館																																																															
事業名称	学校支援・連携事業	作成日	令和7年3月5日																																																															
		担当者	會澤直也																																																															
(予算分類名) コミュニティ活性化事業ほか		全回数	5回	総時間数	4時間																																																													
実施背景 目的 特記事項等	<p>地域ぐるみで子どもを育てる環境を醸成するために、小・中学校の学習を支援する機会を設ける。地域にある「人・もの・文化」と学校教育を結びつけることで、小櫃地区ならではの教育を推進していく一助とする。</p> <p>※小櫃小学校3学年総合学習支援「小櫃ホテルの里プロジェクト」(平成29年度～) ※小櫃小学校教育講演会支援 (平成29年度～1000か所ミニ集会 令和6年度～教育講演会)</p>																																																																	
対象・定員等	小櫃小学校児童		支出概要	コミュニティ活性化事業 (報償費65千円、印刷製本費657千円、消耗品費12千円、通信運搬費7千円) 課題解決学習推進事業(報償費107千円、消耗品費9千円、通信運搬費20千円)から報償費10千円 ※人権啓発活動委託事業報償費 ※人権教育推進事業報償費																																																														
周知方法等	市HP、地域内世帯配布																																																																	
参加状況 ※年齢はおおよそ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0～6</th> <th>7～12</th> <th>13～15</th> <th>16～19</th> <th>20～39</th> <th>40～59</th> <th>60～</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>実女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延男</td> <td>0</td> <td>15</td> <td>36</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>延女</td> <td>0</td> <td>17</td> <td>37</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>32</td> <td>73</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>144</td> </tr> </tbody> </table>	年齢				0～6	7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～	合計	実男	0	0	0	0	0	0	0	0	実女	0	0	0	0	0	0	0	0	計	0	0	0	0	0	0	0	0	延男	0	15	36	0	0	0	0	70	延女	0	17	37	0	0	0	0	74	計	0	32	73	0	0	0	0
年齢	0～6	7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～	合計																																																										
実男	0	0	0	0	0	0	0	0																																																										
実女	0	0	0	0	0	0	0	0																																																										
計	0	0	0	0	0	0	0	0																																																										
延男	0	15	36	0	0	0	0	70																																																										
延女	0	17	37	0	0	0	0	74																																																										
計	0	32	73	0	0	0	0	144																																																										
成果 反省課題等	<p>【成果】 8年目を迎えた「ホテルの里プロジェクト」は、公民館が学校教育に関われる点で重要な位置にあるとともに、長谷川ホテル谷フェスタとの結びつきを通じて、地域との接点となっている。同時に、公民館職員と子どもたちとの接点にもなっていることから、引き続き継続的な連携が必要である。</p> <p>教育講演会では、PTAからの要望を受け6年ごしに小澤綾子氏に講師を依頼した。自身の病との向き合い方について、その苦悩や人生を変える出会いなどを通して、講演テーマに迫っていった。併せて、歌の時間も設けていただき、歌の歌詞と講話の内容が結びつく構成となり、よりいっそう話が浸透していった。保護者のなかには、講師の同級生も参加していたほか、講演会終了後には講演を聴いた小学生数名があらためて会場に戻ってきて感謝の言葉を自主的に述べるなどの一幕もあり、参加者それぞれに心に響く内容であったといえる。</p> <p>【課題】 ホテルの里プロジェクトについて、授業時間に収まるよう時間管理について引き続き改善したい。</p> <p>教育講演会の日程について、当初授業参観日である土曜日を予定していたが、講師の都合が合わず、教育講演会の単独開催としたところ、地域住民の参加は一定程度あったものの、保護者の参加が極端に少なかった。講演会の中身が良かっただけに残念であると参加者からの声もいただいている。講師の都合もあるが、今後はできるだけ授業参観日と合わせて実施したい。</p>																																																																	

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	4	17	水	15:00 ～ 15:30	小櫃ホテルの里プロジェクト打ち合わせ ・ホテルの里プロジェクトの経緯と授業での関わりについて ・今年度の実施に関わるスケジュールの確認 ・学習内容について	小櫃小学校	2

2	5	9	木	10:10 ～ 11:00	第1回小櫃ホタルの里プロジェクト ・昆虫って何だろう？ ・ホタルについて学ぼう ・ホタルクイズの出題(6問) ※クイズごとに後日グループで調べ学習 講師：會澤直也 (小櫃公民館副主査)	小櫃小学校	17
3	6	27	木	10:25 ～ 11:15	第2回小櫃ホタルの里プロジェクト ・児童によるホタルクイズの発表 ・発表内容を踏まえて職員による解説 ・渡邊護氏より七夕長谷川ホタル谷 フェスタ2024の紹介 動画「七夕長谷川ホタル谷フェスタ2023」を上映 講師：會澤直也 (小櫃公民館副主査)	小櫃小学校	19
4	9	26	木	13:00 ～ 13:30	教育講演会打ち合わせ ・教育講演会の目的とこれまでの経緯について確認 ・日程及び実施方法について ・講演内容及び講師の選定について	小櫃小学校	1
5	1	29	水	13:00 ～ 14:20	小櫃小学校教育講演会 テーマ「『いま』この時を生きる ～歌とともに伝えたいこと～」 講話①筋ジストロフィーや車いす生活について ②夢の実現に向けて ③小澤綾子とは？ *歌【上を向いて歩こう】 ④幼少期からの歩み *【糸】 ⑤人生どん底、未来をあきらめた ⑥人生を変えた出会い *【アンパンマンマーチ】 ⑦質問タイム *オリジナル曲【希望の虹】 講師：小澤綾子氏(筋ジストロフィーを抱え歌うシンガー)	小櫃小学校 体育館	105

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	第12回おしゃべりウォーク ※中止		作成日	令和7年3月4日					
	(予算分類名) コミュニティ活性化事業		担当者	藤平裕子					
		全回数	回	総時間数					
実施背景 目的 特記事項等	<p>競争でなく、参加者同士が「おしゃべり」をしながら交流を深める機会として実施する。小櫃地区内に様々なコースを設定し実施することで、小櫃の魅力の再発見につなげていく。</p> <p>※共催：君津市体育協会小櫃支部、君津市スポーツ推進委員小櫃地区、君津市スポーツ・レクリエーション推進員小櫃支部</p> <p>※本事業は令和4年度から始まった小櫃まるごと博物館構想事業にも関連する事業であること等を考慮し、上記団体との共催事業として開催している。</p>								
対象・定員等	地区内・地区外住民		支出概要 コミュニティ活性化事業 (報償金65千円、印刷製本費657千円、消耗品費12千円、通信運搬費7千円)						
周知方法等	市HP、地域内世帯配布								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実数	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ	0	0	0	0	0	0	0	0
	男女計	0	0	0	0	0	0	0	0
成果 反省課題等	<p>小櫃公民館主催事業「小櫃まるごと博物館構想事業」と関連付け、第11回から公民館との共催という形に改めた。地元の人にもあまり知られていない道歩くことで、郷土の魅力発見につなげる狙いがある。今年度は前日から天候不良(低温および降雨)が周知されたため、事前申し込み者には中止の旨を連絡。設定していたコースは次年度の「おしゃべりウォーク」で活かすこととなった。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	2	2	日	—	<p>第12回おしゃべりウォーク 小櫃の西側 戸崎の山裾を歩くコース(9キロ)</p> <p>今回のテーマ： 戸崎の背波沢山のふもと、峯から千淵台の山裾の道を歩きながら小櫃の街並みや田園風景を眺めます。</p>	<p>(末吉→) 西賀和橋～ 戸崎三～ 戸崎二～ 戸崎～ 小櫃橋～ 小櫃公民館</p>	—

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館							
事業名称	小櫃公民館開館50周年記念事業 (予算分類名) コミュニティ活性化事業ほか		作成日	令和7年3月4日						
			担当者	藤平裕子						
		全回数	16回	総時間数	14時間20分					
実施背景 目的 特記事項等	<p>小櫃公民館は昭和49（1974）年12月20日に開館し、今年度開館50周年を迎える。 この記念すべき50周年を地域とともに祝い、小櫃地区や公民館の歴史を振り返るなかで、これからの公民館の位置づけを見つめ直すとともに、さらなる地域文化の振興や社会教育の向上を図ることを目的とする。</p>									
対象・定員等	小櫃地区住民等		課題解決学習推進事業 （報償金107千円、消耗品費9千円、通信運搬費20千円） 生涯学習文化課予算から							
周知方法等	※会議の招集ははがき等の郵送									
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6	7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～	合計	支出概要
	実数	0	0	0	0	0	0	0	0	
	延べ	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	523	
成果反省 課題等	<p>令和5年7月6日（木）に「小櫃公民館開館50周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、その後、実行委員会全体会を2か月に1回、理事会は全体会の1週間前に実施するというルールを年度初めに決定し、準備を進めてきた。この間、役員の変更や委員会の改変等を経ながらも、委員のみなさんのお力添えにより、記念式典委員会・記念誌編集委員会とも、ほぼ当初の予定どおりに進めることができた。 また50周年を機に、小櫃公民館のマスコットキャラクター（おとなの部「おびつどん」、こどもの部「こふんくん」）も決定した。 文化祭一日目に開催した記念式典をはじめ、「開館50周年記念」の冠を付した記念事業も、滞りなく実施することができた。</p>									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	4	11	木	14:00 ～ 14:45	小櫃公民館開館50周年記念事業実行委員会 第6回理事会 ※第6回実行委員会全体会に向けて ・各委員会の進捗状況について ・懸案事項等 ・第6回実行委員会全体会の流れについて	小櫃公民館 第一会議室	8
2	4	18	木	14:00 ～ 14:40	小櫃公民館開館50周年記念事業実行委員会 第6回全体会 (1) 各委員会の進捗状況について ・役員名簿の更新について ・記念誌編集委員会 ・記念式典委員会 ・市長・教育長へのあいさつについて (2) 今後のスケジュールについて確認	小櫃公民館 研修室	15
3	6	13	木	14:00 ～ 15:00	小櫃公民館開館50周年記念事業実行委員会 第7回理事会 ※第7回実行委員会全体会に向けて ・各委員会の進捗状況について ・懸案事項等 ・第7回実行委員会全体会の流れについて	小櫃公民館 第一会議室	9

4	6	20	木	14:00 ~ 14:45	小櫃公民館開館50周年記念事業実行委員会 第7回全体会 (1) 各委員会の進捗状況について ・役員名簿の更新について ・記念誌編集委員会 ・記念式典委員会 (2) 今後のスケジュールについて確認	小櫃公民館 研修室	18
5	8	8	木	14:00 ~ 15:00	小櫃公民館開館50周年記念事業実行委員会 第8回理事会 ※第8回実行委員会全体会に向けて ・各委員会の進捗状況について ・懸案事項等 ・第8回実行委員会全大会の流れについて確認	小櫃公民館 第一会議室	8
6	8	22	木	14:00 ~ 14:35	小櫃公民館開館50周年記念事業実行委員会 第8回全体会 (1) 各委員会の進捗状況について ・役員名簿の更新について ・記念誌編集委員会 ・記念式典委員会 (2) 今後のスケジュールについて確認	小櫃公民館 研修室	22
7	9	25	水	10:00 ~ 11:00	小櫃公民館開館50周年記念事業実行委員会 第9回（臨時）理事会 ・記念式典 来賓および招待者への案内について ・マスコットキャラクターについて	小櫃公民館 第一会議室	7
9	10	10	木	14:00 ~ 14:45	小櫃公民館開館50周年記念事業実行委員会 第10回理事会 ※第9回実行委員会全体会に向けて ・各委員会の進捗状況について ・懸案事項等 ・第9回実行委員会全大会の流れについて確認	小櫃公民館 第一会議室	8
10	10	17	木	14:00 ~ 14:50	小櫃公民館開館50周年記念事業実行委員会 第9回全体会 (1) 各委員会の進捗状況について ・記念誌編集委員会 ・記念式典委員会 (2) 今後のスケジュールについて	小櫃公民館 研修室	26
11	10	26	土	10:00 ~ 11:00	小櫃公民館開館50周年記念式典 （文化祭一日目開催） 【特別企画】 ①特別映像「小櫃公民館のあゆみ」上映 ②記念誌作文朗読 ③マスコットキャラクター発表および表彰 ※招待者34名	小櫃公民館 講堂	—

12	11	2	土	13:00 ～ 15:00	小櫃公民館開館50周年特別企画 菅原智大さん講演会 ※俵田出身の世界的パティシエ	小櫃公民館 講堂	150
13	11	23	土	13:30 ～ 15:30	小櫃公民館開館50周年特別企画 篠田義明さん講演会 ※三田出身の教育学博士 ※サテライト会場として君津市立中央図書館、 オンラインでも参加可	小櫃公民館 講堂ほか	100
14	12	19	木	14:00 ～ 14:45	小櫃公民館開館50周年記念事業実行委員会 第10回全体会 (1) 各委員会の進捗状況等について ・記念誌編集委員会 ・記念式典委員会 (2) 今後のスケジュールについて	小櫃公民館 研修室	28
15	1	26	日	13:30 ～ 14:45	小櫃公民館開館50周年特別企画 里山コンサート ※地元出身の音楽家である 篠宮幸則さん（トランペット）と 鈴木希実さん（ピアノ）の演奏	小櫃公民館 講堂ほか	123
15	3	6	木	14:00 ～ 14:25	小櫃公民館開館50周年記念事業実行委員会 第12回理事会 ※第11回実行委員会全体会に向けて ・各委員会から最終報告等について ・第11回実行委員会全大会の流れについて確認 ・全体会後の懇親会について	小櫃公民館 第一会議室	8
16	3	13	木	14:00 ～ 15:00	小櫃公民館開館50周年記念事業実行委員会 第11回全体会 (1) 各委員会からの最終報告 ・記念誌編集委員会 ・記念式典委員会 (2) その他	小櫃公民館 研修室	23

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	「小櫃まるごと博物館」構想事業 (予算分類名) 課題解決学習推進事業	作成日	令和7年3月19日						
		担当者	會澤直也						
		全回数	19回	総時間数	22時間50分				
実施背景 目的 特記事項等	<p>小櫃・上総地区公民館運営審議会意見書「『子ども、若者、高齢者など、誰もが地域で暮らし続けられるふるさとづくりに寄与する公民館事業』の実現に向けて」(平成31年3月)を踏まえ、小櫃地区に点在する史跡や伝説、自然、生活文化等の地域資源をもとに、丸ごと博物館にするいわゆる「エコミュージアム」実現のためのものである。(令和4年度開設)</p> <p>コンセプト：地域住民の営みによる地域資源の記録化とその活用を通じた地域の活性化 事業体制：構想推進員(事業推進のための協力及び助言) 構想運営員(定期的に運営会議を実施)</p>								
対象・定員等	主に小櫃地区住民(元住民も含む)		支出概要 課題解決学習推進事業 (報償費107千円、消耗品費9千円、通信運搬費20千円)						
周知方法等	自治会回覧、市HP、ポスター掲示、ロビーでの映像上映、フェイスブック								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6				7～12	13～15	16～19	20～39
	男	0	0	0	0	0	0	0	9
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	9
	延べ	0	0	0	0	0	0	0	38
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	38
成果 反省課題等	<p>【成果】 これまで地域資源を単発的に撮影・配信をしてきたが、今年度は、定点撮影をしていった「小櫃小学校学習田」や年間テーマに据えながら動画を編集していった「小櫃の水」など、時間をかけて作りあげることができ、その過程で、小学校との関係づくりや、運営員とのフィールドワークなど活動の幅を広げていくことができた。 また、令和7年度に発行される君津市教育委員会の副読本『きみつ学』に小櫃まるごと博物館の動画(白山神社古墳、戸崎古墳群、西原の虫送り等)が掲載されることになり、学校教育での活用が今後期待される。</p> <p>【課題】 おしゃべりウォークと小櫃まるごと博物館の動画を結ぶ散策マップについては、未だ実現していないため、動画の活用と散歩コースの開発等さらなる検討を試みたい。 事業開設から3年が経過したが、運営員による主体的な活動についてはまだ不十分な状態である。会議の場だけで意見を出す現状から脱して、各自ができる範囲で活動していけるような働きかけが引き続き必要である。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	4	16	火	15:30 ～ 17:00	第1回運営会議 ・小櫃まるごと博物館構想事業の進捗状況 ・意見交換(上総掘り、地域資源、水、小櫃学)	小櫃公民館 第1会議室	6
2	4	23	火	9:00 ～ 10:00	【撮影】小櫃小学校学習田 ・田植え準備を撮影	小櫃小学校 学習田	0

3	4	25	木	9:00 ～ 10:30	【撮影】小櫃小学校学習田 ・田植え作業を撮影	小櫃小学校 学習田	0
4	5	9	木	12:30 ～ 13:15	【撮影】小櫃小学校学習田 ・アイガモとのふれあいの様子を撮影	小櫃小学校	0
5	5	29	水	13:05 ～ 13:40	【撮影】小櫃小学校学習田 ・アイガモ小屋へ移動の様子を撮影	小櫃小学校	0
6	6	5	水	8:30 ～ 9:00	【撮影】小櫃小学校学習田 ・アイガモ田んぼデビューの様子を撮影	小櫃小学校 学習田	0
7	6	12	水	13:40 ～ 17:00	フィールドワーク ・上総掘りの説明及び展示資料の解説 第2回運営会議 ・金のすず視察の感想 ・小櫃まるごと博物館構想事業の進捗状況 ・意見交換(地域資源の掘り起こし、小櫃の水)	郷土博物館 金のすず 小櫃公民館 第1会議室	6
8	6	25	火	9:00 ～ 11:00	【撮影】小櫃小学校学習田 ・かかし作りの様子を撮影	小櫃小学校	0
9	7	16	水	10:15 ～ 11:25	【撮影】小櫃小学校学習田 ・かかし設置作業を撮影	小櫃小学校 学習田	0
10	9	3	火	15:30 ～ 17:30	第3回運営会議 ・小櫃まるごと博物館構想事業の進捗状況 ・小櫃地区文化祭の展示 ・小櫃学のテーマについて	小櫃公民館 第1会議室	6
11	9	12	木	8:30 ～ 12:10	【撮影】小櫃小学校学習田 ・稲刈り作業を撮影	小櫃小学校 学習田	0
12	9	26	木	12:00 ～ 13:20	【撮影】小櫃小学校学習田 ・脱穀作業を撮影	小櫃小学校	0

13	10	11	金		【動画配信】小櫃公民館のあゆみ ・君津市公式YouTubeチャンネルおよび 小櫃公民館開館50周年式典及び特別展にて上映	YouTube 公民館ロ ビー	0
14	11	20	水	15:30 ～ 17:00	第4回運営会議 ・文化祭での活動展示について ・小櫃まるごと博物館構想事業の進捗状況 ・意見交換(小櫃の水)	小櫃公民館 第1会議室	5
15	1	14	火		【動画配信】小櫃小学校学習田～アイガモ農法～ ・君津市公式YouTubeチャンネルおよび 公民館ロビーにて上映	YouTube 公民館ロ ビー	0
16	2	4	火	15:30 ～ 17:00	第5回運営会議 ・小櫃まるごと博物館について説明 ・小櫃まるごと博物館構想事業の進捗状況 ※小櫃学参加者より運営員として1名加入のため	小櫃公民館 第1会議室	6
17	3	17	月	15:30 ～ 16:00	第6回運営会議 ・小櫃まるごと博物館について説明 ※3名加入のため ・小櫃まるごと博物館構想事業の進捗状況 ・意見交換(今後の活動について)	小櫃公民館 第1会議室	9
18	3	19	水		【動画配信】小櫃の水 ・君津市公式YouTubeチャンネルおよび 公民館ロビーにて上映	YouTube 公民館ロ ビー	0
19	3	31	月		【動画配信】小櫃学-小櫃の戦跡- ・動画作成の後、写真使用の許可を行う	YouTube 公民館ロ ビー	0

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	<p align="center">小櫃学 ～戦跡の地をめぐる、平和を考える～</p>	作成日	令和 7 年 3 月 5 日						
		担当者	會澤直也						
	(予算分類名) 課題解決学習推進事業	全回数	1 回	総時間数	7時間				
実施背景 目的 特記事項等	<p>過疎と高齢化が進む小櫃地区において、地域の持つ資源や文化を再認識・再発見する機会を設けることで、地域の関係人口増加を図り、地域活性化に寄与するため「小櫃学」を実施する。</p> <p>国際情勢が緊迫化し戦後80年を目前に控えた今、小櫃地区の戦跡をめぐる、あらためて戦争と平和について考える機会を設ける。</p> <p>なお、「小櫃まるごと博物館」構想事業の一環として、講座の内容を映像記録としてまとめ、現地の案内看板とオンライン配信を結びつけることで、小櫃地区住民はもちろんのこと、広く市内外へ発信することで、小櫃の地域活性化を目指すことを目的に実施する。</p>								
対象・定員等	小櫃地区住民、小櫃まるごと博物館運営員、関心のある者 35名(バス定員)		支出概要	課題解決学習推進事業 (報償金107千円、消耗品費9千円、通信運搬費20千円) から報償費10千円支出					
周知方法等	自治会回覧、市ホームページ、房総ファミリア、ポスター掲示								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6				7～12	13～15	16～19	20～39
	実数	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ	0	0	0	0	0	0	0	16
		0	0	0	0	0	0	0	3
		0	0	0	0	0	0	0	19
成果 反省課題等	<p>【成果】 戦後80年を翌年に控える中、意識醸成の意味も込め戦争戦跡を題材として扱った。小櫃小学校裏山にあるB29搭乗員埋葬地までの山道は、俵田自治会でも下草刈りを行ってもらっていたが、令和元年度台風の影響による倒木があり、新たなルートを整備する必要があったが、公運審委員長の三橋氏の協力により事前に整備をすることができた。</p> <p>B29墜落地では当時の写真や参加されていた地元住民の方からの証言をもとに、参加者それぞれに推測しながら思いを馳せる機会となった。</p> <p>講座終了後は参加者のうち2名が小櫃まるごと博物館の構想運営員として協力を得られることとなった。</p> <p>【課題】 現地観察後に、公民館に戻ってグループ討議を行ったが、テーマである「平和を考える」まで迫るには不十分な感があった。そのため、次年度、戦後80年の節目を迎えるにあたり、昔と今を重ねながら「平和を考える」企画についても検討していく必要がある。</p> <p>なお、房総ファミリア新聞(君津4市の範囲)の廃刊の影響もあり、例年に比べて参加者が少なかったことから、新たな周知方法についても検討していく必要がある。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	11	30	土	9:00 ～ 16:00	<p>小櫃学～戦跡の地をめぐる、平和を考える～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座学：戦時下の小櫃～昭和19～20年を中心に～ ・現地観察：B29墜落地(小櫃診療所脇) 忠霊塔・搭乗員埋葬地(小櫃小学校) 日露戦役忠魂碑(白山神社) 機銃跡・集団学童疎開の話(萬福寺) 呑龍搭乗員慰霊石塔(大日堂) <p>※講師：栗原克榮氏(木更津市史編さん委員)</p>	小櫃診療所 附近/小櫃小 学校/白山神 社/萬福寺/ 大日堂	19

令和6年度事業報告書（中間報告）

機関名	小櫃公民館		
作成日	令和7年2月28日		
担当者	島津愛広		
全回数	5回	総時間数	7時間

事業名称	趣味教養講座 ① もっと！コーヒーを楽しむ教室 ② 「ゆるっとニットカフェ」 （開催予定）									
	(予算分類名)	課題解決学習推進事業								
実施背景 目的 特記事項等	① もっと！コーヒーを楽しむ教室 ： 令和5年度に開催した「コーヒーを楽しむ教室 入門編」の続編として開催する今年度の教室では、「コーヒー豆の挽き方」や「アイスコーヒー」をテーマとすることで、より実用的かつ、コーヒーについての探求心を引き立てられる内容とする。有志による文化祭等へのカフェ出店についてもアピールを行う。 ② 「ゆるっとニットカフェ」 ：開催予定 「ちょボラの会」会議の中でメンバーの古賀さんより提案があったことを受け開催を決定。小櫃地区には、気軽に行けるカフェがないが、カフェのようにゆったり過ごし、ゆるやかに人とつながれる場所は公民館で作ることができる。飲み物を飲みながら（ふらっとロビーを活用）かつ、おしゃべりを楽しみながら編み物をするのできる場所と時間を提供することで、同じ趣味を持つ人同士がつながりカフェのように過ごせるのではないかと考え開催。									
対象・定員等	コーヒー、ニットカフェともに：各回15名程度									
周知方法等	自治会回覧、館内掲示									
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6	7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～	合計	支出概要 課題解決学習推進事業 (報償費107千円、消耗品費9千円、通信運搬費20千円)
	実男	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実女	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	
延男	0	0	0	0	0	1	0	1		
延女	0	0	0	0	0	4	16	20		
計	0	0	0	0	0	5	16	21		
成果反省 課題等	【成果】 ① もっと！コーヒーを楽しむ教室 ：教室終了後に、希望者を募り「カフェおびつ」として文化祭とパティシエ・菅原さんの記念講演会でカフェ出店を行った。教室をきっかけに、新たな繋がりができ、学んだことを活かしながらカフェ出店ができたのはとてもよかった。 【課題】 ① もっと！コーヒーを楽しむ教室 ：地区の住民であっても公民館を利用しない人は多く、若い世代や子どものサークルが少ないのが現状である。普段公民館を利用しない人が利用したくなるようなきっかけ作りをして、新たな利用者層の開拓につなげたい。									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	6	12	火	10:00 ～ 12:00	第1回 もっと！コーヒーを楽しむ教室 ・コーヒー豆の挽き方について学習 ・抽出方法の違いによるコーヒーの飲み比べ ・アイスコーヒーを美味しく淹れるコツを学んで実践 ・コーヒーに合うお菓子の試食 講師：臼杵 薫氏	小櫃公民館 調理室	10

2	6	20	木	10:00 ~ 12:00	第2回 もっと！コーヒーを楽しむ教室 ・コーヒー豆の挽き方について学習 ・抽出方法の違いによるコーヒーの飲み比べ ・アイスコーヒーを美味しく淹れるコツを学んで実践 ・コーヒーに合うお菓子の試食 講師：臼杵 薫氏	小櫃公民館 調理室	11
3	3	19	水	14:30 ~ 15:30	ゆるっとニットカフェ① ・自己紹介 (編み物歴、編んでいる物・これから編みたい物を紹介) ・編み物の時間 ・簡単なストレッチで終了 (終了後も希望者はロビーに残って編み物をどうぞ)	小櫃公民館 ロビー	
4	4	3	木	14:30 ~ 15:30	ゆるっとニットカフェ② ・自己紹介 (編み物歴、編んでいる物・これから編みたい物を紹介) ・編み物の時間 ・簡単なストレッチで終了 (終了後も希望者はロビーに残って編み物をどうぞ)	小櫃公民館 ロビー	
5	4	19	土	14:30 ~ 15:30	ゆるっとニットカフェ③ ・自己紹介 (編み物歴、編んでいる物・これから編みたい物を紹介) ・編み物の時間 ・簡単なストレッチで終了 (終了後も希望者はロビーに残って編み物をどうぞ)	小櫃公民館 ロビー	

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	おびつスマイルサロン “いーね”	作成日	令和 7 年 3 月 21 日						
		担当者	會澤直也						
	(予算分類名) 課題解決学習推進事業	全回数	14 回	総時間数	30時間10分				
実施背景 目的 特記事項等	<p>本事業は、住民が気軽に集まる場づくりを通して、生きがいつくり、孤立防止、介護予防につながる活力ある地域づくりを図る。サロン実施における5つのねらい、①地域のつながり・仲間づくり、②孤立・閉じこもりの防止・見守りの効果、③地域の情報交換の場・機会、④災害時に強い地域づくり、⑤身近なボランティア活動</p> <p>※運営については、君津市生活支援コーディネーター、小櫃地区社会福祉協議会、地域団体の賛同者で組織する運営委員会を中心に事業を推進していく。</p>								
対象・定員等	小櫃地区住民30名程度		支出概要	課題解決学習推進事業 (報償費107千円、消耗品費9千円、通信運搬費20千円)より報償費11千円支出					
周知方法等	自治会回覧、自治会館へのポスター掲示、民生委員・社協より該当者へ手渡し、小櫃公民館LINE								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6				7~12	13~15	16~19	20~39
	実数	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ	0	0	0	0	0	0	33	125
		0	0	0	0	0	0	125	199
		0	0	0	0	0	0	158	324
成果反省 課題等	<p>【成果】 ミニ学習（ちょっとためになる時間）は3か月まとめて広報をかける方法を取りながら、企画準備と実施を並行させてきているが、事業開始から3年が経過する中で、季節ごとに定番メニューも出てきているほか、まちづくりふれあい講座以外にも千葉薬品や明治安田生命、君津中央病院講師派遣などメニューも充実化してきている。 申し込み不要の形式をとって参加のしやすさを重視しているが、参加者にとってもスマイルサロンに参加したことで別の公民館イベントを知る機会になり、新たな参加のきっかけになっている。引き続き、運営委員会での議論や参加者からのアンケートを踏まえつつ、運営の改善を図っていきたい。</p> <p>【課題】 高齢の参加者が多いため、自宅から公民館までの移動手段の課題が常にある。現状、デマンドタクシーが公共交通となっているものの、利用者にとっては十分な状況ではないとの意見が出ている。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	備考(会場・他)	参加数	
1	4	19	金	13:30 ~ 15:40	スマイルサロン”いーね”【4月】 ・レク・ストレッチ ・ミニ学習「備えて安心！在宅避難のススメ」 ※講師：高橋瑞恵氏（明治安田生命） ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第1回運営委員会	小櫃公民館 講堂	28
2	5	17	金	13:30 ~ 15:45	スマイルサロン”いーね”【5月】 ・レク・ストレッチ ・ミニ学習「こんなときどうする？認知症の方への見守りと介護」 ※講師：君津市東部地域包括支援センター ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第2回運営委員会	小櫃公民館 講堂	28

3	6	21	金	13:35 ~ 15:30	スマイルサロン” いーね” 【6月】 <ul style="list-style-type: none"> ・レク・ストレッチ ・ミニ学習「かしこい消費者になろう ～君津市の相談から見る特徴～」 ※講師：原田氏・堀口氏 (君津市消費生活センター) <ul style="list-style-type: none"> ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第3回運営委員会	小櫃公民館 講堂	20
4	7	19	金	13:30 ~ 15:55	スマイルサロン” いーね” 【7月】 <ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチ(動画使用) ・ミニ学習「なぜ運動は続かないのか？ 生活習慣を改善する方法」 ※講師：笠原啓介氏(君津中央病院理学療法士) <ul style="list-style-type: none"> ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第4回運営委員会	小櫃公民館 講堂	18
5	8	23	金	13:30 ~ 15:40	スマイルサロン” いーね” 【8月】ほほえみ学級合同 <ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチ(動画使用) ・ミニ学習「笑って健康！落語寄席」 ※講師：一他家さん志氏 <ul style="list-style-type: none"> ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第5回運営委員会	小櫃公民館 講堂	44
6	9	13	金	14:00 ~ 15:35	第6回運営委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・上半期のふりかえり ・江澤さんの折り紙について ・今後のスケジュール ・その他 	小櫃公民館 研修室	7
7	9	20	金	13:30 ~ 15:50	スマイルサロン” いーね” 【9月】 <ul style="list-style-type: none"> ・レク・ストレッチ ・ミニ学習「災害に備える『防災脳』を活性化」 ※講師：高橋瑞恵氏(明治安田生命) <ul style="list-style-type: none"> ・おしゃべりタイム・みんなで歌 *終了後、第7回運営委員会	小櫃公民館 講堂	28
8	10	18	金	13:30 ~ 15:30	スマイルサロン” いーね” 【10月】 <ul style="list-style-type: none"> ・特別企画「秋だ！全国歌めぐり」 ※講師：スマイルスマイル <ul style="list-style-type: none"> ・おしゃべりタイム・みんなで歌 *終了後、第8回運営委員会	小櫃公民館 講堂	27
9	11	15	金	13:30 ~ 15:30	スマイルサロン” いーね” 【11月】 <ul style="list-style-type: none"> ・レク・ストレッチ ・ミニ学習「聞き間違えはなぜ起こる？ 難聴と認知症の関係とは」 ※講師：関太一郎氏(パナソニック補聴器) <ul style="list-style-type: none"> ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第9回運営委員会	小櫃公民館 講堂	19

10	12	20	金	13:30 ~ 15:50	スマイルサロン” いーね” 【12月】 ・体操 ※講師：鵜沢幸治氏（千葉薬品運動指導者） ・ミニ学習「インフルエンザ感染症 と免疫について」 ※講師：黒川真衣氏（千葉薬品管理栄養士） ・おしゃべりタイム（折り紙教室）・みんなで歌 ※終了後、第10回運営委員会	小櫃公民館 講堂	20
11	1	17	金	13:30 ~ 15:50	スマイルサロン” いーね” 【1月】 ・ストレッチ(動画使用) ・ミニ学習「懐かしい歌みんなで聴きませんか」 ※講師：永島由美子氏 ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第11回運営委員会	小櫃公民館 講堂	22
12	2	21	金	13:30 ~ 15:30	スマイルサロン” いーね” 【2月】 ・レク ・ミニ学習「イスを使ってゆるヨガ」 ※講師：佐藤梢氏（ゆるヨガサークルSugar講師） ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第12回運営委員会	小櫃公民館 講堂	25
13	2	25	火	12:00 ~ 14:25	第13回運営委員会 ・1年間のふりかえり ・来年度の活動に向けて ・ちょっとためになる時間について ・その他	小櫃公民館 研修室	11
14	3	21	金	13:30 ~ 15:45	スマイルサロン” いーね” 【3月】 ・レク・ストレッチ ・ミニ学習 「予測ができない地震に備える！ もしものときのアクションプラン」 ※講師：高橋瑞恵氏（明治安田生命） ・おしゃべりタイム・みんなで歌 ※終了後、第14回運営委員会	小櫃公民館 講堂	27

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館									
事業名称	介護家族のひろば	作成日	令和7年3月13日									
		担当者	會澤直也									
(予算分類名) 課題解決学習推進事業ほか		全回数	4回	総時間数	5時間50分							
実施背景 目的 特記事項等	<p>認知症ケアには、認知症の本人支援とあわせて家族支援が必要であり、介護保険制度については本人支援が中心的な制度となっているため、「地域における介護家族へのケア」が必要である。</p> <p>そこで、認知症患者本人が“生活障害をもちながらどう生きていくか”と同時に、家族にとっては“認知症の人とともにどう生きていくか”という課題に対して、本事業では、「おびつスマイルサロン“いーね”」の派生事業として、東部地域包括支援センター及び生活支援コーディネーターと連携し、介護者同士が情報交換し、気持ちをさらけ出せる場づくりによって介護する家族等にとっての心のケアを図っていく（ピア・カウンセリング）。</p>											
対象・定員等	認知症等の家族を介護する者		支出概要 課題解決学習推進事業 （報償金107千円、消耗品費9千円、通信運搬費20千円）から報償費13千円支出									
周知方法等	自治会回覧、ケアマネを通じてチラシ配布、市HP											
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6				7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～	合計
	実数	0				0	0	0	0	0	0	0
	延べ	0	0	0	0	0	0	0	15			
		0	0	0	0	0	0	0	17			
		0	0	0	0	0	0	0	32			
成果反省 課題等	<p>【成果】 参加人数はさほど多くはないものの、一人ひとりがゆっくりと自身の介護話をしていくには十分な規模と言える。 企画運営側において、介護当事者にも入ってもらうことで、リアルな介護者のニーズを踏まえた内容に迫っていきると同時に、東部地域包括支援センターと連携していることで、認知症患者ご本人と連れだって参加された場合にも、ミニデイケアの受け入れ体制をとることができている。</p> <p>【課題】 現状、運営側で介護トークのファシリテートが不慣れのため、介護者ネットきみつの代表世話人である芝山氏に依頼しているところであるが、少しずつそのノウハウを学びながら進行できるよう準備していく必要がある。</p>											

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	6	6	木	13:25 ～ 15:00	介護家族のひろば（前期実施） ・話題提供「ケアマネジャーって何？」 （相川惇氏／君津市東部地域包括支援センター） ・茶話会「介護トーク」 （進行：芝山鉄之助氏）	小櫃公民館 和室	10
2	9	22	金	10:00 ～ 11:30	第1回企画会議 ・前期実施のふりかえり ・後期開催に向けて検討 （日程、内容、広報、役割分担、会場等）	小櫃公民館 第1会議室	7
3	11	28	木	13:30 ～ 15:10	介護家族のひろば（後期実施） ・話題提供「気になる住宅改修」 （宮野貴幸氏／ふきのとう木更津） ・茶話会「介護トーク」 （進行：芝山鉄之助氏）	小櫃公民館 和室	9

4	3	13	木	10:00 ~ 11:05	第2回企画会議 ・後期実施のふりかえり ・令和7年度前期実施に向けて検討 (日程、内容、広報、役割分担、会場等)	小櫃公民館 第1会議室	6
---	---	----	---	---------------------	--	----------------	---

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館						
事業名称	小櫃地区防災講座	作成日	令和7年3月5日						
		担当者	會澤直也						
(予算分類名) 課題解決学習推進事業		全回数	3回	総時間数	3時間50分				
実施背景 目的 特記事項等	<p>令和元年度より小櫃地区自治会連絡協議会と共催して「小櫃地区防災講座」として事業を展開してたなかで、“人と人とのつながり”が何より防災・減災に繋がることを学び、共助の力を高めていく必要性を確認してきた。</p> <p>能登半島地震や連発する千葉県内での地震、さらに今後発生が予想される首都直下地震など、改めて地震やそれに起因する災害に対する危機感が高まっている。地震はいつ起こるか分からないことから、改めて災害発生時に被害を出さないこと(防災)、被害を極力小さくするための日頃からの取組(減災)について考え、行動できる住民を増やしていくために講座を実施し、地域防災力の向上を目指す。</p> <p>※主催：小櫃地区自治会連絡協議会、小櫃公民館</p>								
対象・定員等	自治会(各2名)、消防団、民生委員、生活支援コーディネーター、社会福祉協議会、赤十字奉仕団		支出概要	課題解決学習推進事業 (報償金107千円、消耗品費9千円、通信運搬費20千円)					
周知方法等	自治会長へ案内文書の送付								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6				7~12	13~15	16~19	20~39
	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ男	0	0	0	0	0	0	5	67
	延べ女	0	0	0	0	0	0	0	18
	延べ計	0	0	0	0	0	0	5	85
成果 反省課題等	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で弱まった地域の顔の見える関係性の補修のため、2本の座学のあと、グループ内で感想タイムを設けた。これにより参加者によって多少の温度差はありつつも、一人ずつ発言する機会があったことで、参加者同士の対話による交流を図ることができた。 ・能登半島地震直後に派遣したトイレトレーラーの話題などを講話に盛り込んだことや、一次救命処置の体験機会によって、参加者アンケートによる講座満足度は満足・やや満足合わせて100% (前年79.83%)という結果であった。引き続き自治会連絡協議会と共催しながら、地域における共助や自助への意識向上に努めていく必要がある。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座において、地域のどこにAEDがあるのか知っておきたいという要望が出されたことを踏まえ、今後の講座資料の一つとしてAEDの設置状況について調べたものを配布することも必要である。 ・本講座の実施はこれだけで完結するものではなく、これを契機に、各自治会で防災訓練等を行う際に防災出前講座につなげていく意図を持っていたが、残念ながらその後手を挙げる自治会はなかった。 								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	4	19	金	16:00 ~ 16:45	<p>小櫃地区自治会連絡協議会役員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小櫃地区防災講座の企画案をもとに意見交換を行った。 <p>※このほか講師打ち合わせについては個別に実施</p>	小櫃公民館 第1会議室	6

2	5	11	土	15:00 ～ 15:30	小櫃地区自治会連絡協議会総会 ・小櫃地区防災講座の事業説明及び参加者のとりまとめについて依頼した。	小櫃公民館 講堂	17
3	6	16	日	9:30 ～ 12:05	小櫃地区防災講座 ・講話：災害に備えるために（危機管理課） ・講話：君津市避難行動要支援者 避難支援計画について（厚生課） ・感想交流 ・体験学習：一次救命処置「BLS」 （君津市赤十字奉仕団）	小櫃公民館 講堂	58

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館																																																													
事業名称	小櫃子育てサロン「おびつな」	作成日	令和7年3月14日																																																													
		担当者	會澤直也																																																													
(予算分類名) 課題解決学習推進事業		全回数	12回	総時間数	24時間05分																																																											
実施背景 目的 特記事項等	<p>小櫃公民館では開館以来、家庭教育学級や親子教室、ママ&キッズ ハッピーパークと形を変えながら家庭教育学習・子育て支援事業を開催してきた。</p> <p>令和3年度に上総公民館と合同開催を試行し、令和4年度から、再び地域単位での子育て世代の交流の場づくり(子育てサロン)に取り組んでいくこととした。乳幼児期の子を持つ保護者らが、地域と接点を持って同年代の仲間と悩みや学びを共有していく場づくりとして、子育て支援室「コアラルーム」と連携しながら子育て支援事業を学習的側面から展開している。子育てサロンとして、活動を通じた人間関係作りに主眼をおいて実施し、少子化における孤立した子育てにおける育児不安の解消・母子密着育児に起因する虐待防止を図っていく。</p> <p>※事業名称は、「おびつ×つながる」の意味を込めて「おびつな」とする。</p>																																																															
対象・定員等	乳幼児の子を持つ保護者や子育てに関心のある者 15名程度	支出概要	課題解決学習推進事業 (報償費107千円、消耗品費9千円、通信運搬費20千円)のうち報償費42千円支出																																																													
周知方法等	自治会回覧、関連機関へチラシの配布HP掲載など																																																															
参加状況 ※年齢はおおよそ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0~6</th> <th>7~12</th> <th>13~15</th> <th>16~19</th> <th>20~39</th> <th>40~59</th> <th>60~</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実男</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>実女</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>延男</td> <td>17</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>延女</td> <td>14</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>31</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>106</td> </tr> </tbody> </table>					年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	実男	7	0	0	0	0	0	0	7	実女	2	0	0	0	0	0	0	17	計	9	0	0	0	0	0	0	24	延男	17	6	0	0	0	0	0	23	延女	14	2	0	0	0	0	0	83	計	31	8	0	0
年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計																																																								
実男	7	0	0	0	0	0	0	7																																																								
実女	2	0	0	0	0	0	0	17																																																								
計	9	0	0	0	0	0	0	24																																																								
延男	17	6	0	0	0	0	0	23																																																								
延女	14	2	0	0	0	0	0	83																																																								
計	31	8	0	0	0	0	0	106																																																								
成果反省 課題等	<p>【成果】 単発参加を可能としていることから参加者の意見を踏まえて、毎回講義や活動に入る前にアイスブレイク的に自己紹介の時間を設けた。 親子参加の企画については、職員側で全て準備するのではなく、参加者と打ち合わせの時間を設け、主体的な活動へシフトしていけるよう配慮した。</p> <p>【課題】 開設から3年が経過し、実人数の若干の増加はあるものの、継続的な参加や主体的な活動への参画といった段階にはまだ至らず、親子参加企画に比べて、保育付きの保護者向け企画については参加が極端に少ない状況にある。 子育て環境や親自身の意識の変化もあることから、今後は、ニーズの高い親子企画をベースに、男性の育児参画も視野に入れた展開にシフトしていく必要がある。</p>																																																															

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	4	12	金	10:00 ~ 11:50	準備会 ※3月準備会の振り返り、令和6年度「おびつな」について(内容検討、年間計画づくり)	小櫃公民館 和室	3
2	6	14	金	10:00 ~ 12:15	第1回 子育てお悩み相談 ~子が自ら育つ力「子育て」ってなあに?~ 自己紹介、子育てのことについて各自トーク 子育て実践「リビングに子の空間をつくろう」 ※講師:鈴木臣恵氏(子育て実践者)	小櫃公民館 研修室	8
3	6	26	水	10:00 ~ 11:15	打合せ会 ・公民館設備について ・第3回ミニ縁日&水遊びについて	小櫃公民館 和室	3

4	7	5	金	10:00 ～ 11:45	第2回 自分のカラダを整える時間①～ヨガ～ ストレッチ、呼吸法、ヨガポーズ等 ※講師：佐藤梢氏（ゆるヨガサークルsugar講師）	小櫃公民館 和室	4
5	8	23	金	10:00 ～ 12:00	第3回 夏休み企画☆おやこdeミニ縁日&水遊び プール、スーパーボールすくい、射的、 的当て、かき氷の提供 ※こどもひろばと合同開催	小櫃公民館 講堂・中庭	20
6	9	13	金	10:00 ～ 12:10	第4回 クラフトテープでつくるハロウィンかご クラフトテープでハロウィンをモチーフにした デザインのかごを2個制作 ※講師：わくわく倶楽部	小櫃公民館 研修室	13
7	10	16	水	9:30 ～ 13:05	第5回 おやこde散歩 ～久留里線に乗って、消防署を見学しに行こう～ 久留里線に乗車（小櫃駅～久留里駅）後、 君津消防上総分署まで散策、見学	久留里線 上総分署 上総公民館 児童室ほか	16
8	11	8	金	10:00 ～ 12:00	第6回 年末大掃除に向けて！ ～お片付けもうまくいくモノとの向き合い方～ 初めて学ぶ片付けの基本、お片付けミニ実習 ※講師：松本佳代氏（収納アドバイザー、住宅収納 スペシャリスト、カラーコーディネーター）	小櫃公民館 研修室	6
9	12	6	金	10:00 ～ 12:00	第7回 クリスマス会 ～おやこdeケーキ作り&子ども用品 おさがり交換会～ マグカップホットケーキ作り、 ケーキの試食・おさがり交換会、 クリスマス曲演奏、サンタからプレゼント	小櫃公民館 講堂・調理 室	18
10	1	24	金	10:00 ～ 12:00	第8回 イライラ、モヤモヤのココロと 上手に向き合う イライラ(怒り)の正体とは？、更年期とイライラ、 イライラへの対処の仕方・予防などについて解説 ※講師：小林晶子氏 (心理カウンセラー)	小櫃公民館 研修室	5
11	2	14	金	10:00 ～ 11:45	第9回 自分のカラダを整える時間②～ピラティス～ 体の歪みを確認、骨格の歪みを矯正、インナーマッ スルを意識した姿勢、リリースバンドを用いて筋トレ ※講師：KEIKO氏 (美姿勢美脚ピラティスインストラクター)	小櫃公民館 和室	7
12	3	14	金	10:00 ～ 11:30	茶話会 ※次年度に向けた準備会	小櫃公民館 和室	3

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館																																																					
事業名称	デジタル活用講座	作成日	令和7年3月5日																																																					
		担当者	會澤直也																																																					
(予算分類名) 課題解決学習推進事業		全回数	4回	総時間数	8時間45分																																																			
実施背景 目的 特記事項等	<p>学びなおし支援の一環として、個人の要望と社会の要請に応えるために実学的な内容を取り上げ、新たに必要とされる知識や能力、技術等を学習する機会とする。 携帯電話各社の3Gサービスの終了に伴い、ガラケーからスマートフォンへ移行する高齢者向けにスマートフォンに関する操作講習と、スマートフォン用アプリの利用を通して、デジタル技術を上手に生かして生活を豊かに便利にしていくため実施する。</p>																																																							
対象・定員等	成人15名		支出概要 課題解決学習推進事業 (報償金107千円、消耗品費9千円、通信運搬費20千円)																																																					
周知方法等	自治会回覧配布、市HP、館内掲示、広報きみつ(番外編のみ)																																																							
参加状況 ※年齢はおおよそ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0~6</th> <th>7~12</th> <th>13~15</th> <th>16~19</th> <th>20~39</th> <th>40~59</th> <th>60~</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>男女計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>延べ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>14</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>男女計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>24</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>38</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>					年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	実数	0	0	0	0	0	0	0	6	男女計	0	0	0	0	0	0	0	12	延べ	0	0	0	0	0	0	14	18	男女計	0	0	0	0	0	0	24	24		0	0	0	0	0
年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計																																																
実数	0	0	0	0	0	0	0	6																																																
男女計	0	0	0	0	0	0	0	12																																																
延べ	0	0	0	0	0	0	14	18																																																
男女計	0	0	0	0	0	0	24	24																																																
	0	0	0	0	0	0	38	40																																																
成果 反省課題等	<p>【成果】 これまでもLINEや施設予約システムの操作を通してスマホの操作そのものにも慣れてもらう取り組みを進めてきたが、今回は、より生活に活かせるアプリの紹介と活用を通じて、スマホを身近に感じてもらえるような企画とした。LINEにおいては、小櫃公民館公式LINEの紹介を行い、友達獲得に結びつけることができた。 併せて、DX推進課を通じて広報きみつに掲載することで、昨年度の番外編と同様に講座が周知されることになり、関心の高まりによって参加者が例年よりも多かった。</p> <p>【課題】 今回扱ったアプリについて、LINEを除きユーザーの少なさや連携先の企業や機関等の少なさからまだまだ実用には至らない内容であったように感じる。そのため、アプリ単体をお勧めするというよりも実際の使用感で不要と感じればアンインストールなどの説明も加え、自分で取捨選択する習慣を身につけてもらうように促した。 講座実施の根幹となる通信環境については、公民館設置のWi-Fiの脆弱性から、一度にインストールやネット利用をした際に、遅延が起きる状況がみられ、君津市フリーWi-Fiと併用しながら進めていく必要がある。</p>																																																							

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	9	3	火	10:00 ~ 12:15	【A】知ったク!スマホの便利な使い方 ~メッセージアプリLINEを使おう~ ・初心者編「SNSの使い方」 ・基本編「スマートフォンで安全に使うためのポイントを知りましょう」 ※講師:ドコモショップ君津店(3名)	小櫃公民館 研修室	7
2	9	27	金	10:00 ~ 12:15	【B】知ったク!スマホの便利な使い方 ~歩いて貯まるポイントアプリ!~ ・マップの使い方(Googleマップ) ・FUN+WALKアプリを使って楽しく歩こう ※講師:ドコモショップ君津店(3名)	小櫃公民館 研修室	12

3	10	15	火	10:00 ～ 12:00	【C】 スマホでできる！ ヘルスケアパスポートであなたの健康管理 <ul style="list-style-type: none"> ・「ヘルスケアパスポート」アプリの紹介 ・アプリのインストール・アカウント登録 ・家庭での利用方法 ・マイナポータルへの連携 ※講師：TIS株式会社（2名）	小櫃公民館 研修室	10
4	11	11	月	10:00 ～ 12:15	【D】 スマホでできる！ インターネットの活用とオンライン診療 <ul style="list-style-type: none"> ・基本編「インターネットの使い方」 (Googlechrome) ・応用編「オンライン診療を使ってみましょう」 (CLINICS) ※講師：ドコモショップ君津店（3名）	小櫃公民館 研修室	11

令和6年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館																																																														
事業名称	高齡者学級「ほほえみ学級」 (予算分類名) 課題解決学習推進事業	作成日	令和7年3月5日																																																														
		担当者	藤平裕子																																																														
		全回数	10回	総時間数	28時間10分																																																												
実施背景 目的 特記事項等	小櫃地区は少子高齢化が進捗しており、65歳以上の高齢人口は増加傾向を示している。多くの高齢者のみなさんが、いきがいを見出し健康的に暮らせるよう、学習や交流の機会を創出してゆく。あえて“めんどくさい”ことに挑戦してもらえよう、プログラムの内容も工夫する。																																																																
対象・定員等	小櫃地区にお住いの60歳以上の方、40名程度		支出概要 課題解決学習推進事業 (報償金107千円、消耗品費9千円、通信運搬費20千円)																																																														
周知方法等	自治回覧、直接の声がけ等																																																																
参加状況 ※年齢はおおよそ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0~6</th> <th>7~12</th> <th>13~15</th> <th>16~19</th> <th>20~39</th> <th>40~59</th> <th>60~</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>実女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>22</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>29</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>延男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>163</td> </tr> </tbody> </table>					年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	実男	0	0	0	0	0	0	7	7	実女	0	0	0	0	0	0	22	22	計	0	0	0	0	0	0	29	29	延男	0	0	0	0	0	0	0	0	延女	0	0	0	0	0	0	0	0	計	0	0	0	0	0
年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計																																																									
実男	0	0	0	0	0	0	7	7																																																									
実女	0	0	0	0	0	0	22	22																																																									
計	0	0	0	0	0	0	29	29																																																									
延男	0	0	0	0	0	0	0	0																																																									
延女	0	0	0	0	0	0	0	0																																																									
計	0	0	0	0	0	0	0	163																																																									
成果反省 課題等	1か月に1回程度の割合で開催した。マンネリ化やいわゆる前年踏襲型からの脱却を目指し、当地域ならではの内容をプログラムに反映させたつもりであったが、参加者が極端に少ない回(映画)もあり、次年度以降はアンケート結果ももとに、プログラムを見直したい。 今年度も新規の参加者は何名かあったが、学級生全体の数はやや右肩下がり傾向にあり、次年度はさらに積極的な呼びかけ・勧誘を行う。																																																																

sa

回	月	日	曜	時間	概要(内容・講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	6	24	月	10:00 ~ 12:00	第1回：開級式&レクリエーション ①自己紹介 ②年間スケジュールと進め方について ③レクリエーション 「段ボールを使って組みひもづくりに挑戦」	小櫃公民館 研修室	17
2	7	19	金	10:00 ~ 12:00	第2回：まちづくりふれあい講座から 「長板中形 一松原伸生の伝統と展開」 ※講師：布施慶子氏(久留里城址資料館)	小櫃公民館 研修室	12
3	8	23	金	13:30 ~ 15:30	第3回：高齡者学級「ほほえみ学級」& スマイルサロン「いーね！」合同開催 ①笑って健康! 落語寄席 ②楽しくおしゃべり ③みんなで歌いましょう ※令和6年度小櫃・上総地区公民館運営審議会 ・小櫃公民館モデル事業として開催。	小櫃公民館 講堂	16
4	9	12	木	10:00 ~ 12:10	第4回：ものづくり講座 自然素材で染めてみよう! 自然素材(玉ねぎの薄皮)と人工染料で 手ぬぐいの染め比べをしてみよう ※講師：藤平裕子・島津愛広(小櫃公民館)	小櫃公民館 調理室	20

5	10	8	火	10:00 ～ 16:00	第5回：地域を知る「おとなの小旅行」 ①清和地域拠点複合施設“おらがわ”の視察 ②生涯学習交流センター・ロビー (昼食会場) ③君津市立中央図書館で「おとなの読み聞かせ」 体験と見学 ④「はちみつ工房」の見学 ※講師：白井恵子・和泉恵理子（中央図書館）	清和地域拠点複合施設“おらがわ”、生涯学習交流センター、君津市立中央図書館、はちみつ工房	17
6	11	5	火	10:00 ～ 12:00	第6回：公開講座 ヒミツの映画会 ～タイトルは直前までヒ・ミ・ツ～ ※学級生以外の方も参加可能な公開講座として実施	小櫃公民館講堂	13
7	12	17	火	10:00 ～ 12:00	第7回：小櫃公民館「ほほえみ学級」&上総公民館「さわやか学級」交流会 ～頭とからだを使って！ 脳トレ体操でスッキリ～ ※講師：健康寿命を延ばす会「輝き」のみなさん	小櫃公民館講堂	24
8	1	22	水	9:00 ～ 16:00	第8回：「ほほえみ学級」移動学習 今またブーム！ 「里見八犬伝」の世界にふれよう！！ ①八犬伝博物館（館山城）と城山公園 ②道の駅千倉“潮風王国（旬膳はな房）”で昼食 ③道の駅ローズマリー公園“はなまる市場”	館山城、道の駅千倉、道の駅ローズマリー公園	22
9	2	19	水	10:00 ～ 13:00	第9回：うどんづくり&閉級式 ①みんなで「ふみふみ」うどんづくり！ ②閉級式（表彰式） 最優秀“出勤”賞は果たしてだれの手に…！ ※講師：藤平裕子・島津愛広（小櫃公民館）	小櫃公民館調理室・講堂	22

令和6年度事業報告

上総公民館

令和6年度事業報告書

		機関名	上総公民館						
事業名称	小櫃・上総地区公民館運営審議会	作成日	令和 7 年 2 月 28 日						
		担当者	森本 弘之						
(予算分類名) 公民館運営審議会関係費		全回数	4 回	総時間数	9時間30分				
実施背景 目的 特記事項等	公民館の運営や事業計画等について、民意を反映し、協議・決定する。館長の諮問に応じて調査・審議・答申を行う。小櫃・上総各地区が抱えている課題の改善方法や、公民館の新たな在り方や可能性、教育施設としての役割を確立するための協議を実施し、さらに委員相互の交流を深めることで地域活性化を目指す。 委員長:三橋 一文氏、副委員長:小泉香生里氏 令和5～6年度事務局:小櫃公民館								
対象・定員等	学識経験者等 (上総・小櫃地区各4名、計8名)		支 出 概 要	公民館運営審議会関係費 予算総額 0千円 (R5～R6は小櫃公民館が事務局のため)					
周知方法等	各委員へ開催通知郵送、掲示場・HPでの公告			その他非常勤職員報酬0千円【執行額0円】 費用弁償 0千円【執行額0円】 通信運搬費 0千円【執行額0円】 研修・諸会議等出席負担金0千円【執行額0円】					
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6		7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～
	実 男	0	0	0	0	0	0	0	5
	女	0	0	0	0	0	0	0	3
	計	0	0	0	0	0	0	0	8
	延 男	0	0	0	0	0	0	0	17
	女	0	0	0	0	0	0	0	6
	計	0	0	0	0	0	0	0	23
成果反省 課題等	審議テーマ「地域活性の拠点としての公民館運営・事業のあり方について」に対し、前年度行ったアンケート調査結果や委員の意見等を踏まえ、令和6年度は成人（高齢者）向けに「健康・食の学習」や「子どもや孫と一緒に調理実習」を2回連続の講座を行い健康意識の向上を図るとともに地域住民の交流、世代間交流、親子交流などにより地域活性の促進を図った。参加者が想定より少なかったため、次年度は内容などの見直しを行い事業を実施する。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要 (内容、講師・協力者等)	備考 (会場・他)	参加数
1	5	14	火	14:55 ～ 16:30	第1回審議会 ・令和6年度小櫃・上総地区公民館運営審議会の進め方について ・令和6年度公民館事業計画及び修繕・備品計画 ・令和5～6年度審議テーマ「地域活性の拠点としての公民館運営・事業」の各公民館のモデル事業について	小櫃公民館	6
2	9	10	火	14:30 ～ 16:50	第2回審議会 ・令和6年度公民館事業中間報告 (4月～8月) について ・文化祭について ・令和5～6年度審議テーマ「地域活性の拠点としての公民館運営・事業」の各公民館のモデル事業の報告・評価について	上総地域交流センター	6
3	12	10	火	14:30 ～ 16:15	第3回審議会 ・令和5年度公民館事業中間報告 (9月～11月) について ・「20歳のつどい」について ・審議テーマ「地域活性の拠点としての公民館運営・事業」意見書 (案) について	上総地域交流センター	6
4	3	18	火	15:00 ～ 16:30	第4回審議会 (予定) ・令和5年度公民館事業中間報告 (12月～2月) について ・「20才のつどい」について ・審議テーマ「地域活性の拠点としての公民館運営・事業」意見書について	松丘コミュニティセンター	8

		機関名	上総公民館										
事業名称	第52回上総地区文化祭	作成日	令和7年2月28日										
		担当者	全職員										
	(予算分類名) コミュニティ活性化事業	全回数	6回	総時間数	18時10分								
実施背景 目的 特記事項等	半世紀にわたる地域と上総公民館の歴史の積み重ねを大切にしながら、文化祭を通して地域住民の学習・文化・スポーツ活動等の交流を深めると共に、文化振興と活力ある地域社会の建設をめざす契機とし、「第52回上総地区文化祭」を実施する。 期日：10月19・20日(土・日)												
対象・定員等	地域住民		支出概要	コミュニティ活性化事業 予算総額288千円 うち報償費8千円【執行額0円】 うち消耗品費【執行額35,000円】									
周知方法等	上総公民館だより特別号を発行し自治会回覧												
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6					7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実男	0					0	0	0	0	0	0	14
	実女	0	0	0	0	0	0	0	13				
	計	0	0	0	0	0	0	0	27				
延男	0	0	0	0	0	1	4	698					
延女	0	0	0	0	0	0	1	710					
べ計	0	0	0	0	0	1	5	1408					
成果 反省課題等	昨年まで積み重ねてきた実績を踏まえて、参加団体同士、また来場者と参加団体の交流を深め、安定感のある運営ができた。また、中学生ボランティアを新たに募集し、運営の補助をしてもらったこともあり活気のある文化祭とすることができた。 一方で、文化祭の核となる公民館定期利用サークルが減少していることや、会場の大きさの都合上、現在の開催形態を踏襲すると新たな団体の参加受け入れが難しくなっている状況もある。 実施形態や会場の使用方法を徐々に見直ししながら、今後も文化祭を継続的かつ安定的に運営できるように努めたい。												

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	5	9	木	18:00 ~ 18:40	第52回上総地区文化祭企画委員会議 ・第52回上総地区文化祭の実施検討	上総公民館	6
2	6	27	火	14:00 ~ 15:00	第1回実行委員会 ・文化祭実施計画の説明 ・今後の日程について ・実行委員長および部門長の選出 ・部門別会議	上総公民館	27
3	8	20	火	15:00 ~ 17:00	第2回実行委員会 ・主な行事・計画について ・共同作業(準備・後片付け)について ・当日の運営、後片付け、反省会について ・「実施報告書」の提出について	上総公民館	18
4	10	17	木	9:00 ~ 10:30	共同作業 ・備品の移動、片づけ ・展示パネル設置	上総公民館	40

5	10	19 ~ 20	土 ~ 日	9:30 ~ 16:00 <small>22日は15時 まで</small>	第52回上総地区文化祭 ・芸能の集い（詩吟・大正琴・カラオケ等） ・音楽発表会 ・展示、体験、販売 ・特別展「上総地区で頑張る消防団紹介」	上総公民館	1300
6	11	19	火	15:00 ~ 16:00	第3回実行委員会 ・第52回上総地区文化祭の成果と課題について	上総公民館	17

令和6 年度事業報告書		機関名	上総公民館						
事業名称	上総の“山”と“歩く”を楽しむ教室	作成日	令和 7 年 2 月 28 日						
		担当者	池田 開星						
(予算分類名) コミュニティ活性化事業		全回数	1 回	総時間数	5時間				
実施背景 目的 特記事項等	自分たちの住んでいる地域を足で歩いて確認し、地域の良さや魅力について考える機会とする。あわせて、地域外との交流も大切にしながら、関係団体や機関と連携を深めながら、地域の隠れた魅力を発見できる事業として進める。								
対象・定員等	市内在住の方 30名程度		支出概要	コミュニティ活性化事業 予算総額288千円 消耗品費 報償費8千円【執行額0円】					
周知方法等	自治会回覧、市ホームページ								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6		7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~
	実	男	0	0	0	0	0	0	9
		女	0	0	0	0	0	0	6
	計		0	0	0	0	0	0	15
	延	男	0	0	0	0	0	0	9
		女	0	0	0	0	0	0	6
	べ	計	0	0	0	0	0	0	15
成果 反省課題等	久留里地区・松丘地区・亀山地区を3年で一巡しており、今回は松丘地区で実施。2つの山城が健在であった当時の情勢や逸話のほか、松丘の地名のルーツ等にも触れており好評であった。課題として年々新たなルートの探索が難しくなっていることがある。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	12	14	土	9:30 ~ 14:30	松丘古城めぐり～里見義堯没後450年を迎えて～ 講師:矢野淳一（生涯学習文化課職員） （アンケート結果 満足：11名 やや満足4名）	松丘コミュニ ティセンター 外	15

機関名	上総公民館		
作成日	令和	7	年 2 月 28 日
担当者	今井 雄生		
全回数	4	回	総時間数

事業名称	館報「上総公民館だより」発行事業									
	(予算分類名)	コミュニティ活性化事業								
実施背景 目的 特記事項等	公民館及び分館事業や活動の紹介等を通して、豊かな地域文化の創造を目指す情報紙として発行する。 *年4回 各回2,600部発行 B4両面フルカラー（文化祭特集号のみ手刷り）									
対象・定員等	上総地区全域	コミュニティ活性化事業 予算総288千円 うち需用費 印刷製本費 198千円 【執行額74,360円】								
周知方法等	上総地区自治会各戸配布									
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢		0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実男		0	0	0	0	0	0	0	0
	実女	0	0	0	0	0	0	0	0	
	延男	0	0	0	0	0	0	0	0	
延女	0	0	0	0	0	0	0	0		
延計	0	0	0	0	0	0	0	0		
成果 反省課題等	地域の交流や動きについて、紙面を通じて関わられるよう、記事のいくつかをシリーズ化し、継続的な視点で地域の情報を追いかけることに取り組んでいる。また、高齢化等の影響でサークル数が減少していることを踏まえ、サークル活動を紹介し、活性化の一助とした。 紙面構成や記事の内容が例年固定化してきている状況があるため、今後は地域の情報を市民から寄せてもらうことのできる編集体制を検討していきたい。									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	6	20	木		第182号 1面:令和6年度事業計画、主催事業紹介、令和に続く地域の力①民生・児童委員協議会 2面:作ってみよう！元気レシピ、サークルショット「四季の味」、きみたまスイーツコンテスト、上総で元気に暮らす①骨粗しょう症、オオキンケイギクを駆除しましょう、職員の動き等		0
2	9	19	木		文化祭特集号 ・第52回上総地区文化祭案内 ※リソグラフ印刷 A3両面2つ折り		0
3	12	19	木		第183号 1面:文化祭報告、令和に続く地域の力②民児協 2面:作ってみよう元気レシピ（タコライス）、上総で元気に暮らす②フレイル予防、主催事業実施報告他		0
4	3	13	木		【予定】第184号 1面:令和6年度事業報告、久留里線フォトコンテスト入賞者決定、令和に続く地域の力③スポレク 2面:君津地方社会教育功労表彰・明るい社会啓発標語コンクール入賞作品決定・上総で元気に暮らす③高齢者の権利擁護、サークルショット「卓星クラブ」ほか		0

		機関名	上総公民館						
事業名称	「久留里だより」発行		作成日	令和7年2月28日					
			担当者	森本 弘之					
(予算分類名)		コミュニティ活性化事業	全回数	1回					
実施背景 目的 特記事項等		歴史ある城下町として、歴史と文化を今に色濃く残す久留里地区の良さを再発見することをめざす取り組みなどを『久留里だより』で取り上げると共に、住民相互の交流と親睦の輪を拡げ地域活性化をはかる契機とする。*B4判2面 1,200部発行							
対象・定員等	久留里地区内の全世帯		支出概要	コミュニティ活性化事業 総額292千円 うち需用費 印刷製本費198千円【執行額29,040円】					
周知方法等	久留里地区の自治会に依頼し全世帯に配布								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6			7~12	13~15	16~19	20~39	40~59
	実男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0
	延男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
	べ計	0	0	0	0	0	0	0	0
成果 反省課題等	久留里地区であった「20歳のつどい」などのイベントを中心に、地域の様々な動きに対して紙面を通じて伝えると共に、地域再発見や地域活性につながるような誌面構成づくりを行った。年1回の発行であり継続的なテーマを持ったコーナー作りが難しい面もあるため、地域の話題について興味をもってもらえるような紙面づくりを心掛ける。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	2	20	木		第18号(通巻第75号) 1面: 令和6年久留里地区「20歳のつどい」 2面: 第13回「くるり落語フェスティバル」、「花いっぱい運動」、第17回「鄙の雛展」、「久留里城まつり」		0

令和6年度事業報告書

		機関名	上総公民館							
事業名称	スマホ塾!! (趣味教養講座)	作成日	令和 7 年 2 月 28 日							
		担当者	今井 雄生							
	(予算分類名)	コミュニティ活性化事業	全回数	4 回	総時間数	9時間				
実施背景 目的 特記事項等	<p>インターネットを介した情報発信が増加する昨今、災害時においても防災無線等と併せて、メールやインターネットが使用されることが多くなった。 そこで、情報の取得方法や発信方法を学び、日々の生活に役立ててもらうほか、災害時などに市からの情報を得る・家族に対して自分の情報を発信できる手段として、スマートフォンを有効活用するための学習機会を提供する。</p>									
対象・定員等	成人一般 各回15人		支出概要	コミュニティ活性化事業 予算総額288千円【執行額0円】						
周知方法等	自治会回覧、市ホームページ									
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6					7~12	13~15	16~19	20~39
	実数	男	0	0	0	0	0	0	12	12
		女	0	0	0	0	0	0	22	22
		計	0	0	0	0	0	0	34	34
	延べ	男	0	0	0	0	0	0	12	12
		女	0	0	0	0	0	0	43	43
		計	0	0	0	0	0	0	55	55
成果 反省課題等	<p>講師のドコモショップ君津店社員による分かりやすい説明と実習により、スマートフォンの基礎を易しく学ぶことができた。参加者の満足度も高かった。 一方で、DX推進課による委託事業という性質上、内容もパッケージになっており、どうしても講師に任せきりになってしまう部分が多いのは課題である。何らかの形で地域のニーズを捉えてテーマ選定に反映させるなど工夫をしていきたい。</p>									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要 (内容、講師・協力者等)	備考 (会場・他)	参加数
1	11	27	水	10:00 ~ 12:15	「インターネットを使ってみよう」「電話・カメラを使おう」 講師：宮本氏、阿達氏、鈴木氏 (ドコモショップ君津店) (アンケート結果 満足10名 やや満足3名)	上総公民館	13
2	11	27	水	13:30 ~ 15:45	「LINEを使ってみよう (登録・初期設定)」「LINEを使ってみよう (スタンプ登録方法・写真の共有)」 講師：宮本氏、阿達氏、鈴木氏 (ドコモショップ君津店) (アンケート結果 満足10名 やや満足2名)	上総公民館	13
3	12	11	水	10:00 ~ 12:15	「地図アプリを使おう」「ハザードマップポータルサイトで様々な災害のリスクを確認しよう」 講師：宮本氏、阿達氏、鈴木氏 (ドコモショップ君津店) (アンケート結果 満足6名 やや満足5名 どちらでもない2名)	上総公民館	13
4	12	11	水	13:30 ~ 15:45	「LINEを使ってみよう (LINEの電話・クーポンの利用方法)」「スマートフォンを安全に使うための基本的なポイントを知ろう」 講師：宮本氏、阿達氏、鈴木氏 (ドコモショップ君津店) (アンケート結果 満足12名 やや満足3名)	上総公民館	16

令和6年度事業報告書		機関名	上総公民館						
事業名称	手作りサラダを楽しむ教室 (趣味教養講座)		作成日	令和 7 年 2 月 28 日					
	(予算分類名) コミュニティ活性化事業		担当者	今井 雄生					
			全回数	2 回	総時間数	5時間			
実施背景 目的 特記事項等	<p>コロナ禍を契機に調理サークルが減少したことから、調理室を活用した事業を実施する。また地域の高齢化が進み、働き盛りの世代の公民館利用が少ないため、仕事の後に参加しやすい平日夜間の講座を実施して、参加者層の拡大を図る。</p> <p>地域の飲食店店主を講師に、地域で取れた野菜を活用して、野菜の選び方や下処理の仕方、ドレッシングの作り方等を学び、サラダを手作りすることで、地産地消の促進や健康的な食生活を意識する機会とする。</p>								
対象・定員等	成人一般 10人		支出概要	コミュニティ活性化事業 予算総額288千円 うち報償費32千円【執行予定額14千円】 うち消耗品費35千円【執行額35千円】					
周知方法等	自治会回覧、市ホームページ								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6		7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~
	実男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	0	9	9
	計	0	0	0	0	0	0	10	10
	延男	0	0	0	0	0	0	2	2
	女	0	0	0	0	0	0	17	17
	べ計	0	0	0	0	0	0	19	19
成果 反省課題等	<p>調理室を活用して、地域の人材の協力を得て、新たなテーマの講座を実施できたことは成果である。受付開始から2時間で定員に達したことから、地域のニーズの高い講座であったと言える。</p> <p>一方で、自主サークル化に至らなかったこと及び当初期待していた現役世代の参加がなかったことは課題である。今後もテーマや時間帯を工夫しながら、地域の活力につながるような趣味教養講座を企画及び実施したい。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	1	15	水	18:30 ~ 21:00	レタスの下処理、ドレッシングの基本、野菜のマリネ、盛り付け方 講師 大山 優 氏 (カフェ「東ノハテノ国」オーナー)	上総公民館	10
2	2	26	水	18:30 ~ 21:00	野菜のゆで方、ゆで野菜のマリネ、旬の野菜の切り方、ドレッシングの応用(アレンジ2種)、盛り付け方(おもてなし用) 講師 大山 優 氏 (カフェ「東ノハテノ国」オーナー)	上総公民館	9

令和6年度事業報告書

		機関名	上総公民館						
事業名称	団体活動育成支援	作成日	令和 7 年 2 月 28 日						
		担当者	全職員						
(予算分類名) コミュニティ活性化事業		全回数	2 回	総時間数	1時間45分				
実施背景 目的 特記事項等	公民館事業や活動を通じて、学習と地域づくりの活動を支援する。公民館利用者が公民館の役割を認識し、利用しやすい公民館づくりと団体活動の発展を考えていく機会とする。								
対象・定員等	上総公民館利用者連絡協議会、上総地区住民等		支出概要	コミュニティ活性化事業 予算総額288千円【執行額0円】					
周知方法等	利用者連絡協議会総会時配布、自治会回覧								
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6				7~12	13~15	16~19	20~39
実数	男	0	0	0	0	0	0	0	16
	女	0	0	0	0	0	0	0	20
	計	0	0	0	0	0	0	0	36
延べ	男	0	0	0	0	0	0	0	16
	女	0	0	0	0	0	0	0	20
	計	0	0	0	0	0	0	0	36
成果 反省課題等	現在は、公民館からの説明や避難訓練を行っているが、今後はそれに加えて、サークル・団体同士の交流や、講師を招いて活動に役立つ内容の研修を行うなど、実施方法を工夫していきたい。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	5	28	火	14:00 ~ 14:45	令和6年度第1回 定期利用説明会 ・公民館定期利用について ・上総公民館(上総地域交流センター)の使用上の留意点について ・その他の施設や備品の使用について ・避難経路の確認	上総公民館	18
2	1	17	金	15:00 ~ 16:00	令和6年度第2回 定期利用説明会 ・長期申請について ・施設の利用について ・避難訓練等について	上総公民館	18

		機関名	上総公民館						
事業名称	上総地区青少年相談員共催事業		作成日	令和 7 年 2 月 28 日					
			担当者	今井 雄生					
	(予算分類名)	青少年教育事業	全回数	16 回	総時間数 64時間				
実施背景 目的 特記事項等	青少年相談員の会議等の諸活動を支援するとともに、公民館と共催で各種の交流や体験に関する事業を企画・実施し、地区内の青少年の健全育成を目指す。 第21期上総地区青少年相談員 定数：20名、任期：令和4年4月1日～令和7年3月31日まで（3年間）								
対象・定員等	上総小学校の児童		支出概要	青少年教育事業 予算総額73千円 うち報償費 35千円【執行額0円】 うち消耗品費32千円【執行額31,972円】					
周知方法等	上総小学校にチラシ配布								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6				7～12	13～15	16～19	20～39
	実男	0	20	0	0	0	8	0	28
	実女	0	21	0	0	0	4	7	32
	数計	0	41	0	0	0	12	7	60
	延男	0	31	0	0	0	94	0	125
	延女	0	67	0	0	0	56	7	130
	べ計	0	98	0	0	0	150	7	255
成果 反省課題等	各事業をおおむね予定通りに事故なく実施できている。今後も充実した事業を実施できるように、青少年相談員と公民館の信頼関係を築きながら進めていきたい。 内容については若干マンネリ化している部分もあり見直しを検討しているが、具体的な改善には至っていない。次年度の委嘱替えに向けて活動のまとめをする中で、具体策を検討し、次期青少年相談員に引き継ぐことで、改善していきたい。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	5	25	土	19:30 ～ 20:00	令和6年度第1回上総地区青少年相談員会議 ・今年度の活動について ・相談員研修について ・チャレンジファイヤーについて ・キャンプについて	上総公民館	8
2	6	15	土	19:30 ～ 21:00	令和6年度第2回上総地区青少年相談員会議 ・キャンプについて	上総公民館	9
3	7	3	水	19:30 ～ 21:30	令和6年度第3回上総地区青少年相談員会議 ・キャンプについて ・文化祭について ・市連協各部会の報告	上総公民館	11
4	7	6	土	13:30 ～ 15:30	子どもキャンプ事前研修 ・班分け ・名札作り ・危険予知トレーニング ・テントの張り方 ほか	上総公民館	22
5	7	20	土	08:30 ～ 22:00	子どもキャンプ（1日目） （小学生20名、青少年相談員7名参加） ・プール、テント張り、カレー作り、キャンプファイヤー	上総公民館、 富津公園ジャンボプール、 稲ヶ崎キャンプ場	27
6	7	21	日	06:00 ～ 13:30	子どもキャンプ（2日目） （小学生19名、青少年相談員9名参加） ・ラジオ体操、片付け、グミ作り、昼食 （アンケート結果 大変良かった：13名、良かった：6名）	稲ヶ崎キャンプ場、上総公民館	29

7	9	5	木	19:30 ～ 21:00	令和6年度第4回上総地区青少年相談員会議 ・文化祭について ・かるた大会について ・バスハイクについて ・市連協各部会の報告	上総公民館	13
8	10	5	土	9:30 ～ 14:00	第21回亀山ふるさとまつり ・模擬店	亀山コミュニ ティセンター	10
9	10	19 ～ 20	土 ～ 日	9:30 ～ 16:00 22日は15 時まで	第52回上総地区文化祭 ・君津ふるさとかるた大会上総地区予選（1日目） ・模擬店（2日目）	上総公民館	26
10	11	9	土	11:00 ～ 14:00	第19回松丘ふれあいまつり ・模擬店	松丘コミュニ ティセンター	9
11	11	20	水	19:30 ～ 20:30	令和6年度第5回上総地区青少年相談員会議 ・書道大会について ・バスハイクについて ・その他諸連絡	上総公民館	8
12	12	15	金	19:30 ～ 20:30	令和6年度第6回上総地区青少年相談員会議 ・書道大会について ・バスハイクについて ・その他諸連絡	上総公民館	13
13	12	22	日	9:00 ～ 13:00	書道大会&お楽しみビンゴ大会 (青少年相談員10名参加 講師として上総書道サークル7名参加) (アンケート結果 大変良かった:18 良かった:3)	上総公民館	40
14	2	4	火	19:30 ～ 20:30	令和6年度第7回上総地区青少年相談員会議 ・バスハイクについて ・総会について ・その他諸連絡	上総公民館	9
15	2	21	金	19:30 ～ 21:00	令和6年度第8回上総地区青少年相談員会議 ・バスハイクについて ・総会について ・顔合わせについて ・その他諸連絡	上総公民館	13
16	3	2	日	8:30 ～ 16:30	【予定】子どもバスハイク（青少年相談員10名参加）	上野動物園	48

機関名	上総公民館		
作成日	令和	7	年 2 月 28 日
担当者	早田ゆう子		
全回数	29	回	総時間数 232時間

事業名称	夏休み自習室開放								
	(予算分類名) 青少年教育事業								
実施背景 目的 特記事項等	夏休み期間中に公民館会議室を自習室として開放し、主に青少年の学習を支援する。								
対象・定員等	概ね管内の小学1年生～高校3年生							支出概要 青少年教育事業 予算総額73千円	
周知方法等	管内の小学校、中学校、高等学校にチラシ配布及びポスター掲示								
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0～6	7～12	13～15	16～19	20～39	40～59		60～
実	男	0	8	6	2	0	0	0	16
女	0	1	6	2	0	1	0	0	10
計	0	9	12	4	0	1	0	0	26
延	男	0	13	19	8	0	0	0	40
女	0	1	13	0	0	1	0	0	15
べ	計	0	14	32	8	0	1	0	55
成果 反省課題等	7月22日(月)～8月30日(金)の土日祝日以外で開放した。 時間については、9:00～17:00とした。 前年度に比べ利用者が2.75倍増加した。次年度も今年度と同様、地域の小中学校や高等学校に周知を図り、快適な自習環境を提供したい。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	7	22	月	9:00 ～ 17:00	公民館事務室で受付をし、会議室を自習室として利用する。 実開放日数:26日(土日祝日を除く)	上総公民館 小会議室1	55
	5	5	金				
	8	30	金				

		機関名	上総公民館						
事業名称	公民館Deチャレンジ		作成日	令和 7 年 2 月 28 日					
			担当者	早田 ゆう子					
	(予算分類名)	青少年教育事業	全回数	2 回	総時間数	3時間10分			
実施背景 目的 特記事項等	子どもの健やかな成長と発達を目指すとともに、学習、科学への探究心を育てる。 また、地域の方々に協力していただくことで、子どもと地域の大人が相互に考えを深めあい、ふれあう機会を提供することを目的とする。								
対象・定員等	概ね管内の小学校1～6年生		支出概要	青少年教育事業 予算総額73千円 うち報償費35千円 【執行額12,000円】					
周知方法等	上総小学校にチラシ配布、ポスター掲示								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6					7～12	13～15	16～19
	実男	0	4	0	0	0	0	0	4
	実女	0	3	0	0	0	0	0	3
	数計	0	7	0	0	0	0	0	7
	延男	0	4	0	0	0	0	0	4
	延女	0	5	0	0	0	0	0	5
	べ計	0	9	0	0	0	0	0	9
成果 反省課題等	「自分だけの虫の王様を作ろう！」では、昆虫図鑑で昆虫の体のつくりについて調べた後、子どもたちの自由な発想でオリジナリティあふれる作品を作ることができた。 「パンづくりに挑戦！」では講師の指導により、食べ物への感謝の気持ち、調理する楽しさを味わうことができた。参加者をもっと集めていきたい。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要 (内容、講師・協力者等)	備考 (会場・他)	参加数
1	8	9	金	10:00 ～ 11:40	「自分だけの虫の王様を作ろう！」 講師：小松崎 博子 (臨床美術士) 内容：新聞紙と針金、アルミテープを使った工作。 (アンケート結果 大変良かった4名)	上総公民館 工芸室	4
2	8	22	木	10:00 ～ 11:30	「パンづくりに挑戦！」 講師：岩崎 純子 内容：パンの原材料などについての講義やパンづくりの実演、試食。 (アンケート結果 大変良かった5名)	上総公民館 調理室	5

機関名	上総公民館			
作成日	令和7年2月28日			
担当者	今井雄生・早田ゆう子・池田開星			
全回数	14	回	総時間数	21時間

事業名称	令和7年20歳のつどい								
	(予算分類名)	青少年教育事業							
実施背景 目的 特記事項等	20歳の節目に成人としての自覚を持ち、地域との交流・親睦を図るため、久留里・松丘・亀山の3地区で開催する。そのため、各地区で実行委員会を組織し、新成人が主体的に運営に当たる。 久留里地区 (実行委員会5名、担当 今井) 松丘地区 (実行委員会2名、担当 池田) 亀山地区 (実行委員会5名、担当 早田)								
	対象・定員等	久留里・松丘・亀山各中学校区の平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの方							
周知方法等	対象者に個別で郵送								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実男	0	0	0	0	17	0	0	17
	実女	0	0	0	0	21	0	0	21
	延男	0	0	0	0	21	0	0	26
	延女	0	0	0	0	34	0	0	39
べ	計	0	0	0	0	55	0	0	65
支出概要	青少年教育事業 予算総額73千円 需用費 16,500円 役務費 6,000円 (上記のほか生涯学習文化課予算から報償費および役務費を支出)								
成果反省課題等	3地区共に小規模ながらも心温まるつどいとなった。20歳を迎えた方一人ひとりが抱負や夢を語る姿に、会場全体が盛り上がった。 本年度で3地区でのつどいは終了し、次年度からは上総小櫃中学校区で一つのつどいとなるため、これまでのつどいの良い点を生かしつつ、新たな形態で実施できるように、準備を進めたい。								

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	10	26	土	10:00 ~ 11:00	松丘地区20歳のつどい第1回実行委員会 ・君津市における「20歳のつどい」のあり方について ・20歳のつどいの進め方について ・実行委員会や当日の役割分担について ・恩師及び来賓者等の確認・案内について	松丘コミュニティーセンター	2
2	10	26	土	15:00 ~ 16:30	久留里地区20歳のつどい第1回実行委員会 ・君津市における「20歳のつどい」のあり方について ・20歳のつどいの進め方について ・実行委員会や当日の役割分担について ・恩師及び来賓者等の確認・案内について	上総公民館	5
3	10	27	日	10:00 ~ 11:30	亀山地区20歳のつどい第1回実行委員会 ・君津市における「20歳のつどい」のあり方について ・20歳のつどいの進め方について ・実行委員会や当日の役割分担について ・恩師及び来賓者等の確認・案内について	亀山コミュニティーセンター	5
4	11	24	土	13:30 ~ 14:30	松丘地区20歳のつどい第2回実行委員会 ・「20歳のつどい」の企画内容について	松丘コミュニティーセンター	2
5	11	29	金	19:00 ~ 21:00	久留里地区20歳のつどい第2回実行委員会 ・「20歳のつどい」の企画内容について	上総公民館	4
6	12	6	土	14:00 ~ 15:00	亀山地区20歳のつどい第3回実行委員会 ・「20歳のつどい」の企画内容について	上総公民館	1
7	12	15	日	9:30 ~ 10:30	松丘地区20歳のつどい第3回実行委員会 ・「20歳のつどい」の企画内容、進捗について	松丘コミュニティーセンター	2

8	12	20	金	19:00 ~ 20:00	久留里地区20歳のつどい第3回実行委員会 ・「20歳のつどい」の企画内容、進捗について	上総公民館	4
9	1	11	土	15:00 ~ 17:00	久留里地区20歳のつどい前日準備 ・会場設営 ・当日リハーサル	上総公民館	9
10	1	11	土	14:00 ~ 15:30	亀山地区20歳のつどい前日準備 ・会場設営 ・当日リハーサル	亀山コミュニティセンター	6
11	1	11	土	13:00 ~ 15:30	松丘地区20歳のつどい前日準備 ・会場設営 ・当日リハーサル	松丘コミュニティセンター	4
12	1	12	日	14:00 ~ 16:00	久留里地区20歳のつどい ・20歳のメッセージ ・恩師挨拶 ほか	上総公民館	11
13	1	12	日	14:00 ~ 16:00	松丘地区20歳のつどい ・20歳のメッセージ ・お世話になった方へのプレゼントサプライズ等	松丘コミュニティセンター	4
14	1	12	日	14:00 ~ 16:00	亀山地区20歳のつどい ・20歳のメッセージ ・お世話になった方へ花束のプレゼント等	亀山コミュニティセンター	6

令和6 年度事業報告書		機関名	上総公民館																																																														
事業名称	上総地区青少年健全育成 「明るい社会啓発標語コンクール」		作成日	令和 7 年 2 月 28 日																																																													
			担当者	今井 雄生																																																													
	(予算分類名)	青少年教育事業	全回数	2 回	総時間数	30分																																																											
実施背景 目的 特記事項等	<p>令和3年度から上総地区の小学校統合を契機に、上総地区全体として青少年健全育成に資する社会啓発標語コンクールを行うこととした。</p> <p>本事業を行う目的として、私たちの生活を豊かで楽しいものとするために、住みやすい明るい地域社会作りが必要である。そこで、児童・生徒から啓発標語を募集し、明るい社会作りの一層の推進を図るものである。</p>																																																																
対象・定員等	上総小学校の1年生～6年生 112名		支出概要	青少年教育事業 予算総額73千円 うち消耗品費32千円【執行額 31,972円】																																																													
周知方法等	上総小学校へ募集依頼																																																																
参加状況 ※年齢は おおよそ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0～6</th> <th>7～12</th> <th>13～15</th> <th>16～19</th> <th>20～39</th> <th>40～59</th> <th>60～</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>実女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>延男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>延女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table>							年齢	0～6	7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～	合計	実男	0	0	0	0	0	0	0	56	実女	0	0	0	0	0	0	0	56	計	0	0	0	0	0	0	0	112	延男	0	0	0	0	0	0	0	63	延女	0	0	0	0	0	0	0	57	計	0	0	0
年齢	0～6	7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～	合計																																																									
実男	0	0	0	0	0	0	0	56																																																									
実女	0	0	0	0	0	0	0	56																																																									
計	0	0	0	0	0	0	0	112																																																									
延男	0	0	0	0	0	0	0	63																																																									
延女	0	0	0	0	0	0	0	57																																																									
計	0	0	0	0	0	0	0	120																																																									
成果 反省課題等	<p>総応募数112点から各賞8点を選出し、受賞者には、小学校経由で賞状を授与した。</p> <p>結果については、ポスターを作成し、久留里観光交流センターや久留里線の各駅など上総地区計18か所に掲示した。また、上総公民館だよりにて結果を紹介する予定である。</p>																																																																

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	12	18	水		<p>上総小学校児童（1～6年生）へ作品募集</p> <p>①あいさつや助け合い等、心と心のふれあいを表すもの。</p> <p>②薬物や非行、暴力等、青少年に危害を加えるものの根絶を呼びかけるもの。</p> <p>③健全な食生活や交通安全等、心身ともに健康で安全な生活をおくれるように呼びかけるもの。</p>		112
	1	24	金				
2	2	3	月	18:00 ～ 18:30	<p>上総地区青少年健全育成「明るい社会啓発標語作品」審査会</p> <p>総応募数112点から各賞8点を選出</p> <p>上総公民館長賞、青少年相談員連絡協議会長賞、自治会連絡協議会長賞、上総幹部交番所長賞、民生委員児童委員協議会長賞、上総ライオンズクラブ会長賞、上総ロータリークラブ会長賞、上総小学校長賞</p> <p>（審査員8名出席）</p>	上総公民館 会議室2	8

令和6年度事業報告書		機関名	上総公民館						
事業名称	みんなイキイキ！食の健康教室	作成日	令和 7 年 2 月 28 日						
		担当者	今井 雄生						
	(予算分類名)	課題解決事業	全回数	2 回	総時間数	5時間30分			
実施背景 目的 特記事項等	<p>令和5年度に実施した上総公民館のあり方に関するアンケート調査結果では、期待する講座として、「健康学習」がトップとなったことを踏まえ、モデル事業の実施について検討した。食は住み慣れた地域で元気でいきいきと暮らしていくために、老若男女問わず全ての人の健康と密接に関わっている。</p> <p>市高齢者支援課によると、上総地区は成人（高齢者）の高血圧の割合が高い。一方で、減塩に慣れるなどの食育は、成人（高齢者）だけではなく、子どもの頃からの取り組みが大切だと言われている。</p> <p>このことから、小学生・中高生・成人（高齢者）の3つの世代に、食を通じて健康を考え、実践する機会を提供する。</p>								
対象・定員等	上総地区住民 ※定員は回により異なる		支出概要	課題解決学習推進事業					
周知方法等	自治会回覧、市ホームページ			予算総額176千円 うち報償費150千円【執行額0円】					
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6		7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~
実数	男	0	3	0	0	0	0	0	3
	女	0	2	0	0	0	1	3	6
	計	0	5	0	0	0	1	3	9
延べ	男	0	3	0	0	0	0	0	3
	女	0	2	0	0	0	3	5	10
	計	0	5	0	0	0	3	5	13
成果 反省課題等	<p>講師と打ち合わせを重ねて、テーマに沿った学習を展開することができた。世代を越えて減塩に取り組み、高血圧の改善を目指すという趣旨も、参加者に理解していただくことができた。一方で、第1・2回については2回セットかつ2回目に子や孫を連れて参加することを条件にしたために間口が狭くなってしまい、参加人数が少なくなってしまう。実施形態については今後より工夫することが必要だと考える。</p> <p>また、小学生向け事業は講師都合により、中高生向け事業は参加者が集まらなかったことやインフルエンザの流行により実施直前で中止となった。関係者とのつながりを作ることはできたので、次年度以降の実施に向けて検討を進めたい。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	7	2	火	10:00 ~ 12:00	【講話】高血圧の基礎知識 講師：秋元 一浩氏、安西 尚美氏（君津市高齢者支援課 保健師・管理栄養士） 高血圧が起きる仕組みや日常生活でできる予防や改善の方法について学んだ。	上総公民館	4
2	7	30	火	9:30 ~ 13:00	【実習】孫や子といっしょに調理実習 講師：君津市食生活改善推進員（ヘルスメイト）6名 タコライス他1品を調理し、減塩について考え、実習する機会や、祖母と孫が交流する機会となった。 （アンケート結果 大人 満足3名、やや満足1名 / 子ども 大変良かった4名、ふつう1名）	上総公民館	9

		機関名	上総公民館																																																																
事業名称	ICT講習会		作成日	令和7年2月28日																																																															
			担当者	今井 雄生																																																															
(予算分類名)		課題解決学習推進事業	全回数	1回	総時間数 2.5時間																																																														
実施背景 目的 特記事項等	<p>高齢化が進む上総地区において、スマートフォンの活用に自信のない方を対象に、生活に役立つICT（情報通信技術）を学習する機会を提供することで、デジタルデバイド解消の一助とする。</p> <p>「マスターしておきたいスマホ操作の基本」をテーマに、LINEの使い方、ちば施設予約サービスの使い方など、日々の暮らしに役立つスマホ活用術について、参加者の質問に答えながら講座を進める。</p>																																																																		
対象・定員等	サークル・団体の役員やテーマに関心のある方 定員30名		支出概要	課題解決学習推進事業																																																															
周知方法等	自治会回覧、ホームページ、LINE、メール			予算総額176千円																																																															
参加状況 ※年齢はおおよそ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0~6</th> <th>7~12</th> <th>13~15</th> <th>16~19</th> <th>20~39</th> <th>40~59</th> <th>60~</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>延べ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>			年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	実数	0	0	0	0	0	0	4	4	男	0	0	0	0	0	0	16	16	女	0	0	0	0	0	0	20	20	延べ	0	0	0	0	0	0	4	4	男	0	0	0	0	0	0	16	16	女	0	0	0	0	0	0	20	20	うち報償費150千円【執行額0千円】
年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計																																																											
実数	0	0	0	0	0	0	4	4																																																											
男	0	0	0	0	0	0	16	16																																																											
女	0	0	0	0	0	0	20	20																																																											
延べ	0	0	0	0	0	0	4	4																																																											
男	0	0	0	0	0	0	16	16																																																											
女	0	0	0	0	0	0	20	20																																																											
成果 反省課題等	<p>昨年度までは各サークル団体のリーダーに限定して実施していたが、本年度は一般に呼びかけたところ、参加者数が約4倍に増加した。</p> <p>講師のきみばそくらぶが解散することから、今後の事業の実施について検討が必要である。</p>																																																																		

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	3	9	日	9:30 ~ 12:00	【予定】入門編「マスターしておきたいスマホ操作の基本」 講師：きみばそくらぶ（生涯学習交流センターIT講習会協力団体）	上総公民館 会議室1	20

		機関名	上総公民館						
事業名称	地域リーダー防災学習会	作成日	令和 7 年 2 月 28 日						
		担当者	今井 雄生						
	(予算分類名) 課題解決学習推進事業	全回数	1 回	総時間数	9時間				
実施背景 目的 特記事項等	<p>共助の意識の向上に繋がる学習や交流の場を設け、安全に暮らし続けられる地域づくりについて学び、実践につなげる機会を目指す。</p> <p>*実施背景 令和元年度に台風15号・19号・大雨によって、上総地区は道路、家屋被害のみならず、停電・断水が長期にわたり、地域全体に大きな影響を受けた。人的な被害は最小限となったが、高齢化が進みかつ広域で災害による危険個所が多い上総地域において、自助・公助だけでは災害時に身を守ることは難しい面も今後予想され、住民と住民をつなぐ、助け合う関係作りの強化が必要とされている。</p> <p>*共催 上総地区自治会連絡協議会、上総地区民生委員・主任児童委員連絡協議会、上総地域市民センター</p>								
対象・定員等	上総地区自治会連絡協議会および上総地区民生委員・主任児童委員連絡協議会の役員40名程度		支出概要	課題解決学習推進事業事業 予算総額176千円【執行額0円】					
周知方法等	自治会長・民生委員・主任児童委員に通知文を送付								
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実男	0	0	0	0	0	0	0	16
	実女	0	0	0	0	0	0	0	4
	計	0	0	0	0	0	0	0	20
	延男	0	0	0	0	0	0	0	16
延女	0	0	0	0	0	0	0	4	
計	0	0	0	0	0	0	0	20	
成果 反省課題等	<p>昨年度に引き続き移動学習として実施した。自治会連絡協議会と企画段階から協議をし、協力して進めることができたのが成果といえる。</p> <p>行政機関と地域団体が連携して学習・交流の機会をもつことや防災についての学習は必要不可欠であるため、継続して取り組みたい。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	12	13	金	8:30 ~ 17:30	<p>テーマ「首都圏外郭放水路見学」</p> <p>洪水被害を防止及び軽減するための巨大な地下水槽を見学した。</p> <p>(アンケート結果 満足17人 やや満足2人)</p>	首都圏外郭放水路(埼玉県春日部市)ほか	20

		機関名	上総公民館						
事業名称	上総子ども人権教室 (上総子どもふれあい教室)		作成日	令和 7 年 2 月 28 日					
			担当者	早田ゆう子					
(予算分類名)		課題解決学習推進事業	全回数	3 回	総時間数	11時間00分			
実施背景 目的 特記事項等	人権に関する正しい知識、実践力等を身につける場とすると共に、子ども同士のふれあい活動を通して、仲間意識や思いやりの心を育てる。年間テーマは「いろいろな人を知り 仲間になろう！」								
対象・定員等	上総小学校3～6年生対象。30人		支出概要	課題解決学習推進事業 予算総額176千円 うち報償費30千円【執行額10,000円】					
周知方法等	上総小学校を通じてチラシを配布								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0～6					7～12	13～15	16～19
実数	男	0	9	0	0	0	0	0	14
	女	0	10	0	0	0	0	0	13
延べ	計	0	19	0	0	0	0	0	27
	男	0	17	0	0	0	0	0	26
	女	0	15	0	0	0	0	0	19
	計	0	32	0	0	0	0	0	45
成果 反省課題	移動学習では日本赤十字社千葉県支部の義肢製作所を訪れ、事故や病気のために腕や足を失った人たちの生活を支える義肢や装具について知ること、参加者が障がいに対する理解を深めることができた。パラスポーツのボッチャ体験でも障がいを持つ人への理解を学んだ。また、地域の方との昔遊びをとおし、思いやりの心、やさしさについて学ぶことが出来た。次年度も人権擁護委員、主任児童委員、小学校の協力を出来る範囲で得ながら、子どもたちが大人との交流や様々なことを学べる環境づくりを提供していく。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	7	25	木	8:15 ～ 16:15	「移動学習」 義肢製作所を訪問し、義肢装具士から義肢についての話を聞いたり、高齢者体験をすることで、障がいのある方への理解を深める。 協力：主任児童委員、上総小学校教諭	日本赤十字社 千葉県支部・ 千葉市科学館	16
2	8	30	金	9:30 ～ 11:30	「みんなであそぼう！」 ※悪天候のため中止 遊びをとおして友達とより仲良くなれるヒケツを教えてください。 講師：君津青少年自然の家 協力：人権擁護委員、主任児童委員、上総小学校教諭	上総公民館	0
3	11	30	土	9:30 ～ 11:00	「パラスポーツのボッチャを体験しよう！」 講師：前田佳也氏[小糸レインボークラブ] 協力：人権擁護委員、主任児童委員、上総小学校教諭	上総公民館	14
4	2	1	土	9:30 ～ 11:00	「地域の人と昔あそびをしよう！」 下町自治会町内会のみなさんに竹馬、ベーゴマ、将棋といった昔あそびを教えてください交流する。 講師：下町自治会町内会 協力：主任児童委員、上総小学校教諭 (アンケート結果 大変良い8名 良い2名)	上総公民館	15

		機関名	上総公民館																																																														
事業名称	地域住民交流教室	作成日	令和 7 年 2 月 28 日																																																														
		担当者	今井 雄生																																																														
(予算分類名) 課題解決学習推進事業		全回数	3 回	総時間数	5時間30分																																																												
実施背景 目的 特記事項等	地域の身近な人権課題について学習し、一人ひとりの人権が尊重され、誰もが生き生きと安心して生活できるまちづくりを目指す。地域性を考慮しながら人権に関するテーマを設定し、様々な手法で学び、考える機会を設ける。 現代的な人権課題について現状の理解とその背景について理解する。また、集会所を活用し、地域住民の交流の拠点づくりを進める。																																																																
対象・定員等	地域住民(下町地区を中心に。地区外でも参加可能。)		課題解決学習推進事業 事業 予算総額176千円 うち報償費10千円【執行額0円】 (このほか市民活動支援課人権啓発 事業予算10千円)																																																														
周知方法等	自治会回覧、チラシ掲示、ホームページ、LINE、メール																																																																
参加状況 ※年齢は おおよそ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0~6</th> <th>7~12</th> <th>13~15</th> <th>16~19</th> <th>20~39</th> <th>40~59</th> <th>60~</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>男女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>延べ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>男女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table>					年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	実数	0	0	0	0	0	3	3	6	男女	0	0	0	0	2	2	3	7	計	0	0	0	0	2	5	6	13	延べ	0	0	0	0	0	3	5	12	男女	0	0	0	0	2	5	5	17	計	0	0	0	0	2
年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計																																																									
実数	0	0	0	0	0	3	3	6																																																									
男女	0	0	0	0	2	2	3	7																																																									
計	0	0	0	0	2	5	6	13																																																									
延べ	0	0	0	0	0	3	5	12																																																									
男女	0	0	0	0	2	5	5	17																																																									
計	0	0	0	0	2	8	10	29																																																									
成果 反省課題	現代的な視点から人権問題について講話をいただき、実際の生活に即して考える機会となり、人権問題を考え行動するための端緒となった。また周知方法を工夫した(君津市公式LINE等)ことにより参加者が増加した。 人権問題は身近な問題のため、継続的に学習していくことが必要であり、今後も視点や切り口を変えながら講座を実施していく。																																																																

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	8	2	金	14:00 ~ 16:00	「発達障害と特性に応じた配慮」 講師：芳賀 茂氏(アビリティーズジャスコ木更津センター 管理者) (アンケート結果 満足7名 やや満足5名)	上総公民館	12
2	10	30	水	14:00 ~ 15:30	「あなたの街の相談パートナー 人権擁護委員をご存じですか？」 講師：安藤 良克氏、鳥井みゆき氏(人権擁護委員) 秋葉 修氏(千葉地方法務局木更津支局総務課長) (アンケート結果 満足3名 やや満足3名)	上総公民館	8
3	3	6	木	14:00 ~ 16:00	【予定】「子どもの権利を考える～子どもの権利条約批准30年に寄せて～」 講師：立柳 聡氏(福島県立医科大学准教授)	上総公民館	9

令和6 年度事業報告書		機関名	上総公民館						
事業名称	保育協力者関係事業	作成日	令和 7 年 2 月 28 日						
		担当者	早田ゆう子						
		(予算分類名)	課題解決学習推進事業	全回数	1 回	総時間数	2時間00分		
実施背景 目的 特記事項等	<p>小さな子どもを持つ親(養育者)でも安心して学習できる機会を設けるため、保育協力者を養成する。また相互に安全な保育を行うために、適宜必要な研修を行っていく。</p> <p>また、保育事業を実施することで、地域の方に子どもを「預け、預かる」関係性を構築し、地域での共同の子育てを考える契機とする。</p>								
対象・定員等	上総公民館の保育を行う事業に協力できる方及び保育に関心のある方 若干名	支出概要	課題解決学習推進事業 予算総額 176千円						
周知方法等	自治会回覧によるチラシ配布(全世帯)		うち報償費 36千円(家庭教育関連事業における保育協力者謝礼)【執行予定額12,000円】						
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢		0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~
実数	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	3
	計	0	0	0	0	0	0	0	3
延べ	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	3
	計	0	0	0	0	0	0	0	3
成果 反省課題等	<p>現在登録している保育協力者は4名であり、乳幼児親子の交流企画である「わいわい広場」の企画づくりにも関わってもらった。今後も様々な関わりを通して子育て世代と他世代相互のより良い関係作りに務めたい。</p> <p>なお、保育協力者も多忙により決まった曜日にしか人数が集まらないことから、事業実施日が限られるところがある。</p>								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	9	17	火	10:00 ~ 12:00	保育協力者研修会 ・今年度の保育について確認 ・今年度の保育実施事業及び予定について ・今年度のわいわい広場(内容等)について ・情報交換	上総公民館 小会議室2	3

		機関名	上総公民館																																																																
事業名称	家庭教育関連事業 「わいわい広場」	作成日	令和 7 年 2 月 28 日																																																																
		担当者	早田ゆう子																																																																
	(予算分類名) 課題解決学習推進事業	全回数	2 回	総時間数	3時間00分																																																														
実施背景 目的 特記事項等	<p>「地域に子どもが少ない」という環境で子育てをしている方々が集い、仲間を作る場所を提供し、子育てがしやすい地域の土台作りと活性化を図る。また、親や地域住民が相互にふれあうことで、子育てに関する理解と交流を図ることを目指す。</p> <p>協力：保育協力者、上総地区主任児童委員</p>																																																																		
対象・定員等	0～3歳程度の子どもまたは孫とその保護者。15組程度		支出概要	課題解決学習推進事業 予算総額 176千円																																																															
周知方法等	上総地区対象者へ案内を郵送			うち報償費15千円（保育協力者謝礼含む。）																																																															
参加状況 ※年齢は おおよそ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>0～6</th> <th>7～12</th> <th>13～15</th> <th>16～19</th> <th>20～39</th> <th>40～59</th> <th>60～</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実男</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>実女</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>延男</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>延女</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table>			年齢	0～6	7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～	合計	実男	3	0	0	0	0	0	0	3	実女	4	0	0	0	5	4	0	19	計	7	0	0	0	5	4	0	22	延男	3	0	0	0	0	0	0	3	延女	6	0	0	0	6	5	0	24	計	9	0	0	0	6	5	0	27	【執行額6,000円】
年齢	0～6	7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～	合計																																																											
実男	3	0	0	0	0	0	0	3																																																											
実女	4	0	0	0	5	4	0	19																																																											
計	7	0	0	0	5	4	0	22																																																											
延男	3	0	0	0	0	0	0	3																																																											
延女	6	0	0	0	6	5	0	24																																																											
計	9	0	0	0	6	5	0	27																																																											
成果 反省課題等	保護者が、子どもと離れて心と体を整えリフレッシュする場を提供できた。また子育て仲間や先輩ママとおしゃべり会をとおり、子育ての疑問などを話せる情報交換の場となった。																																																																		

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	11	26	火	10:00 ～ 11:30	ヨガで心と体を整えよう&みんなで話そう♪ 講師：森 久美氏 協力：保育協力者2名 (アンケート結果 満足6名)	亀山コミュニ ティセンター	12
2	1	21	火	10:00 ～ 11:30	幼児期に必要な栄養を学ぶ&絵本とおしゃべり会 講師：君津市健康づくり課 管理栄養士 渡邊千恵氏 協力：保育協力者3名、主任児童委員2名 (アンケート結果 満足5名)	松丘コミュニ ティセンター	15

機関名	上総公民館
-----	-------

事業名称	さわやか学級（高齢者学級）		作成日	令和 7 年 2 月 28 日					
	（予算分類名） 課題解決学習推進事業		担当者	森本 弘之					
全回数			10 回	総時間数	24時間15分				
実施背景 目的 特記事項等	地域や家庭での役割を果たし、健康で生きがいのある生活のために共に学びふれあう場とする。高齢化率が50%を超えている上総地区において、60歳代以上の方が地域の自治会活動等の担い手になったり、家庭でも家事や介護等を担っている方も多い。今後も健康でいきいきと暮らし続けられる地域づくりにつながるよう、学びの場と交流の場を定期的に設ける。あわせて人と人のつながりを生み出し、高齢世代がより住みやすい地域になることを目指していく。								
対象・定員等	上総地区在住の60歳以上の男女 26名		支出概要	課題解決学習推進事業 予算総額176千円 うち報償費33千円【執行額21,000円】					
周知方法等	自治会文書配布、前年度の班長を通じて募集								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6		7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~
	実男	0	0	0	0	0	0	2	2
	実女	0	0	0	0	0	0	24	24
	計	0	0	0	0	0	0	26	26
	延男	0	0	0	0	0	0	15	15
	延女	0	0	0	0	0	0	156	156
	べ計	0	0	0	0	0	0	171	171
成果 反省課題等	健康をテーマに様々な講座を行い、予定どおり全10回全て実施することが出来た。課題として、高齢化等に伴う参加者の減少があげられる。新規の方にもより参加してもらいやすいプログラムの検討等を今後も行っていく。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	6	6	木	9:30 ~ 11:30	開級式・オリエンテーション 学習計画・運営確認、学級生紹介 健康な体づくり ～ストレッチ・体操で健康増進～ 講師：鈴木まゆみ氏[君津市スポーツ推進員] (アンケート結果 満足13名、やや満足3名)	上総公民館	19
2	7	10	水	8:30 ~ 15:30	移動学習 ～千葉県立中央博物館など～ 講師：千葉県立中央博物館の職員 (アンケート結果 満足6名、やや満足10名)	千葉方面	19
3	8	9	金	10:00 ~ 11:30	健康づくりと健康の維持 ～国民健康保険と後期高齢者医療保険制度～ 講師：三木由香子係長、田野喜世彰主任主事[君津市 市民生活部 国保年金課 職員] (アンケート結果 満足4名、やや満足6名、どちらともいえない1名)	上総公民館	12
4	9	13	金	9:30 ~ 11:30	健康な体づくり ～卓球に挑戦～ 講師：卓久留[会長 鴫田 弘行 他7名] (アンケート結果 満足10名、やや満足2名)	上総公民館	15
5	10	8	火	10:00 ~ 11:30	人との心豊かなふれあい ～パン作り教室～ 講師：岩崎純子氏[日々のパン 笑顔あふれるパン教室 『cocoroN』(ココロン)] (アンケート結果 満足15名)	上総公民館	17
6	11	6	水	9:30 ~ 11:30	健康な体づくり ～グラウンドゴルフに挑戦～ 講師：上総グラウンドゴルフ愛好会[代表 宗政亀吉 他2名] (アンケート結果 満足9名、やや満足4名)	久留里スポーツ広場	20

7	12	17	火	10:00 ～ 11:30	小櫃公民館「ほほえみ学級」、上総公民館「さわやか学級」 交流会 ～頭とカラダを使って！脳トレ体操でスッキリ～ 講師：健康寿命を延ばす会「輝き」 (アンケート結果 満足9名、やや満足1名)	小櫃公民館	14
8	1	8	水	9:30 ～ 11:30	健康な体づくり ～ポッチャに挑戦～ 講師：前田佳也氏[小糸レインボークラブ] (アンケート結果 満足10名、やや満足4名)	上総公民館	15
9	2	6	木	9:30 ～ 11:30	健康づくりと健康の維持 ～健康チェック、お薬の内容・薬局の活用、免疫（インフルエンザ）～ 講師：木多恭介氏、黒川真衣氏[千葉薬品ヤックスドラッグ] (アンケート結果 満足14名、やや満足4名)	上総公民館	21
10	3	5	水	9:30 ～ 11:30	健康な体づくり（予定） ～お口の健康&健口体操～ 講師：榎本晃子氏[君津市健康子ども部健康づくり課職員] 閉級式 1年間のまとめ、次年度に向けた話し合い (アンケート結果 満足14名、やや満足2名)	上総公民館	19

機関名	上総公民館松丘分館
作成日	令和 7 年 2 月 28 日
担当者	池田 開星
全回数	3 回 総時間数

事業名称	松丘分館事業 松丘分館だより発行			
	(予算分類名)	分館事業		
実施背景 目的 特記事項等	地域における学習・文化・体育活動及び暮らしに関する情報をまとめ編集し地域住民と公民館を結ぶパイプ役として発行する。 *年3回 各回1,000部発行 B4両面 業者印刷2回、自館印刷1回			
対象・定員等	松丘地区の毎戸		支 出 概 要	分館事業 予算総額174千円 うち印刷製本費 96千円 【執行額50,600円】
周知方法等	松丘地区の自治会配布			
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6 7~12 13~15 16~19 20~39 40~59 60~ 合計		
	実 男	0 0 0 0 0 0 0 0		
	女	0 0 0 0 0 0 0 0		
	計	0 0 0 0 0 0 0 0		
	延 男	0 0 0 0 0 0 0 0		
	女	0 0 0 0 0 0 0 0		
	計	0 0 0 0 0 0 0 0		
成果 反省課題等	分館で行う各事業や健康料理のレシピを主に掲載した。松丘ふれあいまつりの特集号では、発表交流のつどいに参加するサークルにインタビューし、ふれあいまつりの意気込みや注目ポイントを掲載するなど、分館で実施する事業に興味関心をもってもらうための紙面作りを進めた。			

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	6	20	木		第60号(通巻127号)発行 1面:令和6年度松丘分館事業計画、分館長あいさつ、令和5年度の松丘分館事業報告、ほか 2面:サークル紹介、松丘探検隊参加者募集、松丘健康講座料理レシピ紹介等		
2	10	3	木		第61号(通巻128号)発行 1面:第19回松丘ふれあいまつりお知らせ 2面:サークル紹介(上総大正琴クラブ)、夏休み子ども茶道教室を実施してみ、松丘地区防災講演会を実施しました、発表交流の集いプログラム		
3	2	20	木		第62号(通巻129号)発行 1面:20歳のつどい 2面:サークル紹介(上総将棋愛好会)、第19回松丘ふれあいまつり開催、松丘健康講座、お飾りづくり講習会、上総の”山”と”歩く”を楽しむ教室		

令和6 年度事業報告書		機関名	上総公民館松丘分館							
事業名称	松丘分館事業 松丘健康講座	作成日	令和 7 年 2 月 28 日							
		担当者	池田 開星							
(予算分類名) 分館事業		全回数	4 回	総時間数	7時間					
実施背景 目的 特記事項等	高齢化率が50パーセントを超える松丘地区では、老々介護の問題や一人暮らしのお年寄りの増加等の課題がある。このような状況の中で、認知症予防に関する講座を実施し、正しい知識と予防策を学ぶことで、地域で元気に暮らし続けられる高齢者層を増やし、地域の活力となることを目指す。									
対象・定員等	主に松丘地区住民		支出概要	分館事業 予算総額174千円 うち報償費 17千円 【執行額8,000円】						
周知方法等	自治会回覧									
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6		7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実男	0		0	0	0	0	0	0	9
	実女	0	0	0	0	0	0	0	44	
	計	0	0	0	0	0	0	0	53	
	延男	5	0	0	0	0	0	0	23	
延女	15	0	0	0	0	0	0	61		
計	20	0	0	0	0	0	0	84		
成果 反省課題等	地域の高齢化率が高まっている中で、認知症予防をテーマとした本講座は参加者からの関心も高く好評であった。 来年度も引き続き健康に関するテーマで事業を取り組んでいくとともに、今回の認知症予防講座に参加して生活に変化があったかをインタビューするなど学習内容の定着を図りたい。									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	9	18	水	10:00 ~ 12:00	フレイル予防について 講師：君津市高齢者支援課秋元総括保健師、安西管理栄養士 「健康」と「要介護状態」の狭間であるフレイルや認知症の症状・予防法を学ぶ。	松丘コミュニ ティセンター	20
2	10	23	水	10:00 ~ 12:00	口腔ケアについて 君津市健康づくり課主任歯科衛生士 口腔機能と認知症の関係や口腔ケアの仕方等を学ぶ。	松丘コミュニ ティセンター	19
3	10	30	水	9:30 ~ 10:30	子どもと一緒にスローエアロビック！ 岡部佐和子 氏 かずさあけぼの保育園の園児と一緒にスローエアロビックを行う。	松丘コミュニ ティセンター	31
4	11	22	金	10:00 ~ 12:00	認知症との向き合い方 上総園 職員 自分が認知症の症状を自覚した時の対応や家族が認知症になった時の接し方を学ぶ。 (アンケート結果 満足11名 やや満足3名)	松丘コミュニ ティセンター	14

		機関名	上総公民館松丘分館																																																																
事業名称	松丘探検隊	作成日	令和 7 年 2 月 28 日																																																																
		担当者	池田 開星																																																																
	(予算分類名) 分館事業	全回数	8 回	総時間数	23時間30分																																																														
実施背景 目的 特記事項等	地域住民と公民館職員等で構成された隊員で松丘地区の魅力を再発見し、地域内外に発信するため、時に秘境の地を探索しながら現地調査や学習会を行っていく。																																																																		
対象・定員等	主に松丘地区住民	支出概要	分館事業 予算総額174千円																																																																
周知方法等	松丘分館だより																																																																		
参加状況 ※年齢はおおよそ	<table border="1"> <tr> <td>年齢</td> <td>0~6</td> <td>7~12</td> <td>13~15</td> <td>16~19</td> <td>20~39</td> <td>40~59</td> <td>60~</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>実男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>実女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>延男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>延女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>97</td> </tr> </table>		年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	実男	0	0	0	0	0	0	0	16	実女	0	0	0	0	0	0	0	19	計	0	0	0	0	0	0	0	35	延男	0	0	0	0	0	0	0	39	延女	0	0	0	0	0	0	0	22	計	0	0	0	0	0	0	0	97		
年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計																																																											
実男	0	0	0	0	0	0	0	16																																																											
実女	0	0	0	0	0	0	0	19																																																											
計	0	0	0	0	0	0	0	35																																																											
延男	0	0	0	0	0	0	0	39																																																											
延女	0	0	0	0	0	0	0	22																																																											
計	0	0	0	0	0	0	0	97																																																											
成果 反省課題等	<p>参加者が口コミや声掛けで増えつつあり、地域や歴史に関心を持つ層をつかむ機会にもなっている。</p> <p>なお、行く場所によって体力に自信がある人しか参加しない場合があり、各回の参加人数がバラバラである。健脚な方やそうでない方も両方楽しみながら学習できる回を増やしていきたい。</p>																																																																		

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	6	3	月	9:00 ~ 12:00	「愛宕神社・後藤忠明の彫刻、般若寺跡、岩室城跡」 ・彫刻師 後藤忠明が手がけた愛宕神社の彫刻の見学。 ・般若寺、岩室城跡の見学。	上総地区	12
2	7	24	水	10:00 ~ 12:00	「簡単!天文学」 講師:御簾納照雄 ・星の基礎知識、星座の見方に関する講義	松丘コミュニティセンター	17
3	8	29	木	10:00 ~ 12:00	「私たちの水」 講師:御簾納照雄 上総地域の水環境に関する講義	松丘コミュニティセンター	17
4	9	19	木	8:30 ~ 15:00	「JERA富津火力発電所、日本陸軍富津射場跡地」 ・富津火力発電所LNGタンク見学 ・日本陸軍富津射場跡地見学	富津火力発電所	15
5	10	25	金	10:00 ~ 12:00	「大林組一筋・佐藤秀夫氏の挑戦」 講師:佐藤秀夫 ・富津火力発電所7、8号地下式LNG貯蔵設置工事についての講話	松丘コミュニティセンター	17
6	12	4	木	9:30 ~ 12:30	「加勢集落跡から居柄城跡(「いがら」・荏柄「えがら」)へ」 講師:鴫田源一、加藤洋和 ・加瀬神社・居柄城跡見学	上総地区	19
7	1	31	金	9:30 ~ 12:00	「鉄塔の麓を歩く(宇坪背後の山にある28号鉄塔~25号鉄塔)」 講師:吉本充弘 ・28号~25号鉄塔見学	上総地区	13

8	3	26	水	9:30 ~ 12:00	「船塚山見学」(予定)	小櫃地区	0
---	---	----	---	--------------------	-------------	------	---

令和6 年度事業報告書		機関名	上総公民館松丘分館							
事業名称	松丘分館事業 松丘ふれあいまつり		作成日	令和 7 年 2 月 28 日						
	(予算分類名) 分館事業		担当者	池田 開星						
実施背景 目的 特記事項等			全回数	7 回	総時間数	21時間10分				
対象・定員等	主に松丘地区住民		分館事業 予算総額174千円							
周知方法等	松丘分館だより掲載、小中学校保育園へのちらし配布									
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	支出 概要
	実数	男	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	259	
	計	0	0	0	0	0	0	0	526	
	延べ	男	0	0	0	0	0	0	296	
	女	0	0	0	0	0	0	0	277	
	計	0	0	0	0	0	0	0	573	
成果 反省課題等	<p>参加団体同士が協力し円滑に運営することができた。フリーマーケットでは、昨年度の反省を踏まえ実施時間を延長したことや、トイドローン体験が新たに出店したことで、より活気が出て参加者からも好評であった。ハロウィンパーティでは仮装した子どもと大人のふれあう光景が見られ、モルック大会では総勢40名の参加があり老若男女の交流の機会となった。</p> <p>なお、高齢化により活動が困難となり解散するサークル団体もある状況ではあるが、工夫を凝らしながら引き続きまつりが活性化するように目指していきたい。</p>									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	7	17	木	14:00 ~ 15:30	第19回松丘ふれあいまつり第1回実行委員会 ・まつり実施計画の説明 ・今後の日程について ・役員の選出	松丘コミュニ ティセンター	17
2	8	28	水	18:00 ~ 19:30	第19回松丘ふれあいまつり第1回役員会 ・第2回実行委員会に向けた資料確認や打合せ ・賛助金の使用方法検討	松丘コミュニ ティセンター	2
3	9	11	水	14:00 ~ 15:00	第19回松丘ふれあいまつり第2回実行委員会 (1) 第19回松丘ふれあいまつりの企画について (2) 準備について及び運営上の注意事項 (3) 開閉会式・分担について (4) その他	松丘コミュニ ティセンター	11
4	11	1	金	17:00 ~ 18:00	第19回松丘ふれあいまつり第2回役員会 (1) 共同作業について (2) 賛助金について (3) その他	松丘コミュニ ティセンター	2
5	11	8	金	9:00 ~ 17:00	共同作業 ・備品の移動、展示パネル等備品設置	松丘コミュニ ティセンター	30

6	11	9	土	9:00 ~ 16:30	第19回松丘ふれあいまつり ・発表・交流のつどい（大戸見の神楽・カラオケ・詩吟等） ・展示・模擬店・フリーマーケット ・モルック大会 ・ドローン体験 ・特別展「松丘分館事業紹介」	松丘コミュニティセンター	500
7	12	6	金	14:00 ~ 14:40	第19回松丘ふれあいまつり第3回実行委員会 ・成果と課題確認 ・賛助金収支報告	松丘コミュニティセンター	11

		機関名	上総公民館松丘分館						
事業名称	松丘分館事業（その他）		作成日	令和 7 年 2 月 28 日					
			担当者	池田 開星					
	(予算分類名)	分館事業	全回数	8 回	総時間数 21時間00分				
実施背景 目的 特記事項等	地域住民相互の学習活動を通して地域の文化の継承、地域住民相互のふれあい、健康増進をはかる。 分館事業等については、松丘分館事業推進委員会で検討をしながら実施をする。特に、松丘分館だよりは、松丘分館事業推進委員会で編集としている。								
対象・定員等	松丘地区住民		支出概要	分館事業 予算総額174千円 うち報償費 17千円 【執行額5,000円】					
周知方法等	松丘地区自治会回覧								
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6				7~12	13~15	16~19	20~39
	実男	0	0	0	0	0	0	0	62
	実女	0	0	0	0	0	0	0	30
	計	0	0	0	0	0	0	0	92
	延男	0	0	0	0	0	0	0	73
	延女	1	3	0	0	0	0	0	34
	計	1	3	0	0	0	0	0	107
成果 反省課題等	令和6年度松丘分館事業推進委員： 自治会代表1名、松丘地域コミュニティ活動推進委員会代表1名、公民館運営審議委員・青少年相談員1名、スポーツ推進委員1名、利用者代表2名 今後も分館事業推進委員会で事業内容を検討しながら、多くの方が参加し、地域活性に繋がるような事業を実施していく。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	4	24	水	15:00 ~ 16:30	令和6年度第1回松丘分館事業推進委員会 (1) 松丘分館事業推進委員会について (2) 令和5年度の振り返り (3) 令和6年度松丘分館事業について (4) 分館だより第60号の編集・発行について (5) その他	松丘コミュニティセンター	5
2	6	23	日	10:00 ~ 12:00	松丘地区防災講演会 講師：危機管理課職員、消防署松丘分署職員 (1) 防災講座 ～災害に備えるために～ (2) 救急講習 (アンケート結果 満足22名、やや満足9名、どちらでもない1名、未提出7名)	松丘コミュニティセンター	39
3	7	10	水	15:00 ~ 18:00	令和6年度第2回松丘分館事業推進委員会 (1) 第19回松丘ふれあいまつりについて (2) 分館だより第61号について (3) その他	松丘コミュニティセンター	4
4	8	3	土	9:30 ~ 11:30	夏休み子ども茶道体験教室 講師：鎌田しげこ (アンケート結果 大変良かった4名)	松丘コミュニティセンター	4
5	12	11	土	15:00 ~ 16:00	令和6年度第3回松丘分館事業推進委員会 (1) 今後の分館事業について (2) 令和6年度移動研修について (3) その他	松丘コミュニティセンター	3
6	12	21	土	9:30 ~ 12:00	お飾りづくり講習会 講師：村岡宏樹 (アンケート結果 満足7名、やや満足2名、未回答2名)	松丘コミュニティセンター	11

7	3	4	火	8:30 ~ 16:30	分館事業移動研修～巣鴨・本駒込編～ (東京巣鴨地藏通り商店街・六義園周辺) (アンケート結果 満足34名、やや満足7名)	東京都(巣鴨・本駒込)	41
8	3	21	木	16:00 ~ 17:00	令和6年度第4回松丘分館事業推進委員会(予定) (1) 令和6年度松丘分館事業の反省と課題について (2) 令和7年度松丘分館事業について (3) その他	松丘コミュニティセンター	0

令和6 年度事業報告書		機関名	上総公民館亀山分館						
事業名称	亀山分館事業趣味教養講座 チェーンソー・刈払機メンテナンス講習会 (予算分類名) 亀山分館事業		作成日	令和 7 年 2 月 28 日					
			担当者	早田ゆう子					
		全回数	1 回	総時間数	2時間00分				
実施背景 目的 特記事項等	分館事業推進委員会で地域課題となっている内容を検討しながら、多くの方が参加できる、地域活性に繋がるような事業を実施していく。								
対象・定員等	亀山地区在住在勤者 20名程度		支出概要	分館事業 予算総額174千円 うち報償費 19千円 【執行額5,000円】					
周知方法等	自治会回覧によるチラシ配布								
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6		7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~
	実	男	0	0	0	0	1	8	9
		女	0	0	0	0	2	0	2
		計	0	0	0	0	3	8	11
	延	男	0	0	0	0	1	8	9
		女	0	0	0	0	2	0	2
		計	0	0	0	0	3	8	11
成果 反省課題等	地域のニーズに即した事業を行うことが出来た。今後も地域の方の要望を聞きながら事業を企画していく。								

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	6	16	日	10:00 ~ 12:00	チェーンソー・刈払機のメンテナンス講習会 講師：光城篤史氏(葉光舎) (アンケート結果 満足11名)	亀山コミュニ ティセンター	11

令和6 年度事業報告書		機関名	上総公民館亀山分館						
事業名称	亀山分館事業趣味教養講座 健康教室		作成日	令和 7 年 2 月 28 日					
			担当者	早田ゆう子					
	(予算分類名)	分館事業	全回数	2 回	総時間数	4時間00分			
実施背景 目的 特記事項等	高齢化が進むなか、関心度の高い「認知症」について学んだり、体を動かす機会をつくることで、地域で健康に暮らし続けられる人を増やす。								
対象・定員等	亀山地区在住在勤者 20名程度		支出概要	分館事業 予算総額174千円 うち報償費 19千円 【執行額6,000円】					
周知方法等	自治会回覧によるチラシ配布								
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6		7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~
	実男	0	0	0	0	0	0	3	3
	実女	0	0	0	0	0	0	14	14
	計	0	0	0	0	0	0	17	17
	延男	0	0	0	0	0	0	6	6
	延女	0	0	0	0	0	0	23	23
	計	0	0	0	0	0	0	29	29
成果 反省課題等	「認知症」の講座では正しい知識を学ぶ機会を作ることが出来た。 「ヨガ」の講座では無理なく体を動かし呼吸を整えることで「心も体も軽くなった」という感想も多く満足度も高かった。「1人で続けられるか不安」「また続きをやりたい」との声もあり、希望者を増やしサークルへの後押しをしたい。								

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	11	14	木	10:00 ~ 12:00	第1回「認知症を知ろう&食事のワンポイント」 講師：高齢者支援課 総括保健師、管理栄養士	亀山コミュニティセンター	12
2	11	19	火	10:00 ~ 12:00	第2回「呼吸を整え心と体をリフレッシュ！」 講師：森久美氏(ヨガインストラクター) (アンケート結果 満足15名 どちらとも1名 やや不満1名)	亀山コミュニティセンター	17

機関名	上総公民館亀山分館
作成日	令和 7 年 2 月 28 日
担当者	早田ゆう子
全回数	7 回
総時間数	21時間00分

事業名称	亀山分館事業 「第21回亀山ふるさとまつり」																																																															
	(予算分類名)	分館事業																																																														
実施背景 目的 特記事項等	亀山コミュニティセンター及び亀山分館の利用サークル・団体及び機関等が活動の成果を発表・普及すると同時に、地域の方々が「ふれあい・励ましあい・交流を深める場」をめざす。また展示や発表等様々な活動を通して、豊かな地域づくりをめざす出発点とする。運営については実行委員会を組織して進める。																																																															
対象・定員等	亀山地区在住在勤、関係者等	支出概要 分館事業 予算総額174千円																																																														
周知方法等	自治会回覧によるチラシ配布(全世帯)																																																															
参加状況 ※年齢はおおよそ	<table border="1"> <tr> <td>年齢</td> <td>0~6</td> <td>7~12</td> <td>13~15</td> <td>16~19</td> <td>20~39</td> <td>40~59</td> <td>60~</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>実男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>実女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>延男</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>271</td> </tr> <tr> <td>延女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>238</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>509</td> </tr> </table>		年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	実男	0	0	0	0	0	0	0	30	実女	0	0	0	0	0	0	0	7	計	0	0	0	0	0	0	0	37	延男	0	0	0	0	0	0	0	271	延女	0	0	0	0	0	0	0	238	計	0	0	0	0	0	0	0
年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計																																																								
実男	0	0	0	0	0	0	0	30																																																								
実女	0	0	0	0	0	0	0	7																																																								
計	0	0	0	0	0	0	0	37																																																								
延男	0	0	0	0	0	0	0	271																																																								
延女	0	0	0	0	0	0	0	238																																																								
計	0	0	0	0	0	0	0	509																																																								
成果 反省課題等	今年度は会場レイアウトや企画内容を前年度の反省を元に改善したことにより、出演者からは好評の声をいただいた。企画では長板中形出前講座、笹の神楽舞と地域色を出し、真空管アンプサークルによる音の演出で会場に活気が生まれた。天候が悪く館内での開催となったが子ども向け企画のスリッパ飛ばし大会では子ども達に喜んでいただいた。 次年度は参加をしていないサークル団体等にも呼びかけをし、参加者数を増やすことで、よりまつりが活性化するよう目指していきたい。																																																															

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	5	31	金	15:30 ~ 17:15	第21回亀山ふるさとまつり事前打ち合わせ ・まつり実施計画の説明 ・第1回全体会議に向けた資料確認や打合せ	亀山コミュニティセンター	6
2	6	14	金	15:30 ~ 17:15	第21回亀山ふるさとまつり 第1回全体会議 ・まつり実施計画の説明 ・役員の選出 ・今後の日程について	亀山コミュニティセンター	25
3	7	12	金	15:30 ~ 17:15	第21回亀山ふるさとまつり実行委員会第1回役員会 ・企画内容の検討	亀山コミュニティセンター	6
4	8	9	金	15:30 ~ 17:15	第21回亀山ふるさとまつり 第2回全体会議 ・企画内容の確認	亀山コミュニティセンター	15
5	10	4	金	9:00 ~ 17:00	第21回亀山ふるさとまつり共同作業 ・備品の移動、展示パネル等備品設置	亀山コミュニティセンター	50
6	10	5	土	9:00 ~ 17:00	第21回亀山ふるさとまつり ・発表・交流のつどい(合唱・大正琴・神楽舞) ・みんなで歌おう♪ ・展示、模擬店、長板中形出前講座、竹かご作り体験 他 同日14時から共同作業(片付け)実施	亀山コミュニティセンター	400
7	12	6	金	14:00 ~ 15:00	第21回亀山ふるさとまつり実行委員会第3回役員会 ・成果と課題の確認、意見交換	亀山コミュニティセンター	7

		機関名	上総公民館亀山分館							
事業名称	亀山分館事業 「広報かめやま発行事業」	作成日	令和 7 年 2 月 28 日							
		担当者	早田ゆう子							
(予算分類名)		分館事業	全回数	9	回	総時間数	7時間40分			
実施背景 目的 特記事項等	分館事業・活動及び地域の文化・スポーツ並びに地域活性化等の紹介等を通して豊かな地域文化の創造をはかる情報紙として発行する。 ＊年3回 各回900部発行 B4両面 業者印刷2回、自館印刷1回 ＊広報かめやま編集委員(8名)と共に誌面構成、記事内容を検討。 ＊令和元年6月から亀山分館だより編集委員と亀山地域コミュニティ活動推進委員会で合同発行									
対象・定員等	亀山地区の毎戸		分館事業 予算総額174千円 うち印刷製本費 96千円 【執行額24,750円】							
周知方法等	亀山地区の毎戸に配布									
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0～6	7～12	13～15	16～19	20～39	40～59	60～	合計	支出概要
	実男	0	0	0	0	0	0	0	6	
	実女	0	0	0	0	0	0	0	3	
	計	0	0	0	0	0	0	0	9	
	延男	0	0	0	0	0	0	0	29	
	延女	0	0	0	0	0	0	0	5	
計	0	0	0	0	0	0	0	34		
成果 反省課題等	地域の話題や人に焦点をあてた紙面作りを心掛けた。上総公民館亀山分館と亀山コミュニティ活動推進委員会の2つの組織で合同に発行していく強みを生かし、地域に密着した、読みたくなる情報紙を今後も目指していく。									

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	4	17	水	14:00 ～ 15:20	第1回広報かめやま編集会議 第16号(通巻164号)発行の内容について検討	亀山コミュニティセンター	5
2	5	22	火	14:00 ～ 15:20	第16号(通巻164号)について校正会議	亀山コミュニティセンター	4
3	6	19	水	14:00 ～ 15:30	第2回広報かめやま編集会議 第17号(通巻165号)発行の内容について検討	亀山コミュニティセンター	6
4	6	20	金	～	第16号(通巻164号)発行 1面:亀山地域コミュニティ活動推進委員会定期総会について、新年度役員紹介、分館長就任のあいさつ、我が自治会としておきの話(清水) 2面:星野富弘「花の詩画展」を終えて、ほっとかめやま(榎本さん)、サークル紹介、令和5年度分館事業計画、真空管アンプでレコード鑑賞会 他		0
5	7	30	火	14:00 ～ 15:30	第17号(通巻165号)まつり特集号について校正会議	亀山コミュニティセンター	7
6	9	5	木		第17号(通巻165号)発行 1面:第21回亀山ふるさとまつり特集号 2面:里山ウォーク亀山活動報告、ほっとかめやま(朝生さん)敬老の日に寄せて(本吉さん)		0
7	11	13	水	14:00 ～ 15:00	第3回広報かめやま編集会議 第18号(通巻166号)発行の内容について検討	亀山コミュニティセンター	5
8	1	22	水	14:00 ～ 15:00	第18号(通巻166号)について校正会議	亀山コミュニティセンター	7
9	2	20	木		第18号(通巻166号)発行 1面:20歳のつどい 2面:笹神楽保存会結成、地域で頑張っている人(やま栂 座間秀二さん)、ほっとかめやま(リシャルルさん)、上総小櫃竹細工復活プロジェクト活動紹介・報告 他		

		機関名	上総公民館亀山分館						
事業名称	亀山分館事業（その他）	作成日	令和 7 年 2 月 28 日						
		担当者	早田 ゆう子						
	(予算分類名) 分館事業	全回数	4	回	総時間数	10時間45分			
実施背景 目的 特記事項等	分館事業について、利用者の立場や地域のみなさんから広く意見を伺う場をつくり、地域住民相互の学習活動を通して地域の文化の継承、地域住民相互のふれあいをはかる。								
対象・定員等	亀山地区在住者		支出概要 分館事業 予算総額174千円 うち報償費 19千円 【執行額0円】						
周知方法等	事業によっては毎戸チラシ配布								
参加状況 ※年齢は おおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計
	実男	0	0	0	0	0	0	0	6
	実女	0	0	0	0	0	0	0	2
	計	0	0	0	0	0	0	0	8
	延男	0	0	0	0	0	0	4	17
延女	0	0	0	0	0	0	16	20	
計	0	0	0	0	0	0	20	37	
成果 反省課題等	令和6年度亀山分館事業推進委員： 自治会代表1名、亀山コミュニティ活動推進委員会代表1名、公民館運営審議委員1名、青少年相談員1名、利用者代表4名 今後も分館事業推進委員会で事業内容を検討しながら、多くの方が参加し、地域活性に繋がるような事業を実施していく。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	4	26	金	15:00 ~ 16:00	第1回亀山分館事業推進委員会 1) 令和6年度亀山分館運営及び事業等の具体的な推進方策について	亀山コミュニティセンター 工芸室	5
2	12	6	金	15:00 ~ 16:00	第2回亀山分館事業推進委員会 1) 令和6年度亀山分館運営及び事業等の進捗状況について 2) 後期分館事業について	亀山コミュニティセンター 小会議室	4
3	3	6	木	8:45 ~ 16:30	亀山分館移動研修 上野自由散策とそなエリア東京で防災体験（予定）	上野自由散策 と「そなエ リア東京」	20
4	3	14	金	15:30 ~ 16:30	第3回亀山分館事業推進委員会（予定） 1) 令和6年度亀山分館事業報告 2) 令和7年度亀山分館事業について	亀山コミュニティセンター 小会議室	8

		機関名	上総地域交流センター						
事業名称	まちなみ塾通信		作成日	令和 7 年 2 月 28 日					
			担当者	森本 弘之					
(予算分類名) 市民相互交流促進・生涯学習促進事業		全回数	4 回	総時間数					
実施背景 目的 特記事項等	上総地域交流センター事業（団体支援）の参加者募集と合わせ、管内で開催される年中行事や諸活動の紹介などを通して、地域活性化の一環として発行する。								
対象・定員等	小櫃・上総地区の住民		支出概要	市民相互交流促進事業 予算総額29千円 うち需用費 消耗品費 印刷用マスター、インク、用紙等【執行額29,000円】					
周知方法等	自治会配布、久留里商店街協力店舗ポスター、チラシ								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6					7~12	13~15	16~19
実数	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0
成果 反省課題等	地域の任意団体である「まちなみ塾」との関連事業を中心に、小櫃上総地域に向けた情報発信に取り組んだ。令和6年度は4回の配布、回覧を行った。地域の情報誌として、地域活性の一役を担うような地域の活動紹介などを周知・アピールした。								

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	7	4	木		第24号 <掲載記事> 打ち水（久留里の打ち水 めぐる水・水のめぐみ）の案内 第1回花いっぱい運動報告等		0
2	9	19	木		第25号 <掲載記事> くるり落語フェスティバル、久留里まちなみコンサートの案内 打ち水（久留里の打ち水 めぐる水・水のめぐみ）の報告		0
3	11	21	木		第26号 <掲載記事> 久留里まちなみコンサートの案内 くるり落語フェスティバル、第2回花いっぱい運動報告の報告		0
4	2	6	木		第27号 <掲載記事> 鄙の雛展の案内 久留里まちなみコンサートの報告		0

		機関名	上総地域交流センター						
事業名称	まちなみ塾（地域の任意団体による事業）	作成日	令和 7 年 2 月 28 日						
		担当者	森本 弘之						
	(予算分類名) 市民相互交流促進・生涯学習促進事業	全回数	13 回	総時間数	10時間				
実施背景 目的 特記事項等	久留里商店街振興組合に加盟している商店や地区内の団体・個人等の協力を得て、久留里の歴史と文化に根差した事業の企画をすすめ、それを具体化する取り組みを通して地域の活性化をめざす。								
対象・定員等	小櫃・上総地区の住民		支出概要	市民相互交流促進・生涯学習促進事業 予算総額29千円 【執行額0円】					
周知方法等	久留里だより、自治会回覧、公民館・商店街店舗等掲示								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6					7~12	13~15	16~19
	実男	0	0	0	0	0	0	0	4
	実女	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0
	延男	0	0	0	0	0	0	0	105
	延女	0	0	0	0	0	0	0	69
	べ計	0	0	0	0	0	0	0	174
成果 反省課題等	地域の任意団体の「まちなみ塾」と連携して、久留里の歴史と文化に触れると共に、交流の場と久留里の良さを発見できる各事業を行い地域の活性化を図っている。令和6年度は「久留里の打ち水」「くるり落語フェスティバル」「久留里まちなみコンサート」「鄙の雛展」の実施を行った。今後はさらに見る者を引き付けるような新規の企画や既存の企画のブラッシュアップなどを検討していく必要がある。								

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	4	19	金	18:15 ~ 18:45	まちなみ塾定例会 今年度事業計画	上総地域交流センター	2
2	5	22	水	14:00 ~ 14:30	まちなみ塾定例会 まちなみ塾通信の内容検討	上総地域交流センター	3
3	6	20	木	10:00 ~ 10:30	まちなみ塾定例会 まちなみ塾通信の内容検討、くるり落語フェスティバル、久留里まちなみコンサートの検討	上総地域交流センター	4
4	7	27	土	13:30 ~ 14:30	打ち水、まちなみ塾定例会 打ち水 めぐる水・水のめぐみと題し、久留里商店街の方と一緒に商店街の道路などに水撒きを行った。	上総地域交流センター	3
5	8	28	水	10:00 ~ 10:30	まちなみ塾定例会 くるり落語フェスティバル、久留里まちなみコンサート、まちなみ塾通信等の検討	上総地域交流センター	3
6	9	18	水	10:00 ~ 10:30	まちなみ塾定例会 くるり落語フェスティバルに向けての打合せ、まちなみ塾通信等の検討	上総地域交流センター	3
7	10	14	土	13:30 ~ 15:30	第13回笑いと癒しの里づくり 真打ちの登竜門 くるり落語フェスティバル 真打ちの立川吉幸をはじめ、立川幸弥、立川幸路、三遊亭ば馬の咄家4名に落語を披露していただいた。	上総地域交流センター	67

8	11	1	金	10:00 ～ 10:30	まちなみ塾定例会 久留里まちなみコンサートに向けての打合せ、まちなみ塾通信等の検討	上総地域交流センター	3
9	12	22	金	14:00 ～ 15:30	第18回久留里まちなみコンサート 久留里カトリック幼稚園を会場に、ピアノ、ヴァイオリン、オーボエ、コントラバスの演奏者を招き、コンサートを行った。	上総地域交流センター	74
10	1	28	火	14:00 ～ 14:30	まちなみ塾定例会 鄙の雛展に向けての打合せ、まちなみ塾通信等の検討	上総地域交流センター	3
11	2	22	土	9:00 ～ 11:30	まちなみ塾定例会 鄙の雛展に向けての打ち合わせ、鄙の雛展の準備作業		3
12	2 ～ 3	25 ～ 3	火 ～ 月		第16回鄙の雛展 久留里城下の各家等で代々大切に保存され飾る機会が無くなった江戸時代後期から使用されているお雛様など歴史ある雛人形を上総地域交流センターや久留里商店街の協力店舗等に飾り、観光客や来館者の方に見ていただいた。		0
13	3	4	火	11:00 ～ 11:30	まちなみ塾定例会（予定） 今年度の振り返りと来年度に向けての事業の意見交換		3

		機関名	上総地域交流センター						
事業名称	花いっぱい運動の推進		作成日	令和 7 年 2 月 28 日					
			担当者	森本 弘之					
(予算分類名) 市民相互交流促進・生涯学習促進事業		全回数	4 回	総時間数	3時間40分				
実施背景 目的 特記事項等	通勤や観光等にJR久留里駅を利用する方や上総地域交流センターを利用する方々をあたたくく迎えようと夏・冬の2回、県立君津青葉高等学校生と上総ロータリークラブ・ガーデニングを楽しむ会、まちなみ塾が協同し、上総地域交流センター花壇に花の植栽を行う。								
対象・定員等	君津青葉高等学校生徒・上総ロータリークラブほか		支出概要	市民相互交流促進・生涯学習促進事業 予算総額29千円 うち需用費 消耗品費 堆肥肥料 2,500円【執行額0円】					
周知方法等	植栽日に合わせ、青葉高校やロータリークラブ等と連絡を取り合う								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6		7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~
実数	男	0	0	0	0	0	0	0	15
	女	0	0	0	0	0	0	0	9
	計	0	0	0	0	0	0	0	24
延べ	男	0	0	0	9	2	1	8	25
	女	0	0	0	8	2	0	1	14
	計	0	0	0	17	4	1	9	39
成果 反省課題等	平成17年から上総公民館と青葉高校が始めた花いっぱい運動は、現在地域に定着したイベントとなっている。令和6年度は青葉高校の生徒、上総ロータリークラブ、ガーデニングを楽しむ会、まちなみ塾と一緒に第1回目を5月23日に、第2回目を11月12日に実施した。君津青葉高等学校の生徒が当日の作業手順の説明・進行を行い、地域の方と一緒に植栽しその中で生徒と地域の方との交流も図られた。地域の恒例行事として引き続き地域団体等と連携し地域のより良い環境づくりに貢献したい。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	5	13	月	10:30 ~ 11:30	植栽準備 *花壇の片付け、整地作業	上総地域交流センター	5
2	5	23	水	10:30 ~ 11:10	植栽作業 *サルビア(赤、ピンク)、マリーゴールド(黄)、ペチュニア(紫)、ジニア(各色) 合計約600株を花壇、ポットに植栽 *協力:君津青葉高校、上総ロータリークラブ、ガーデニングを楽しむ会、まちなみ塾	上総地域交流センター	15
3	11	11	月	14:00 ~ 15:00	植栽準備 *花壇の片付け、整地作業	上総地域交流センター	3
4	11	12	火	11:30 ~ 12:30	植栽作業 *アリッサム、ノースポール、ダイヤモンド、ビオラ、パンジー 合計約600株を花壇に植栽 *協力:君津青葉高校、上総ロータリークラブ、ガーデニングを楽しむ会、まちなみ塾	上総地域交流センター	16

地域活性の拠点としての
公民館運営・事業のあり方について
(意見書)

令和7年3月18日

小櫃・上総地区公民館運営審議会

目次

1	はじめに	・・・P 1
2	小櫃・上総地区の現状と先進事例	・・・P 1
3	モデル事業の展開	・・・P 2
4	地域活性の拠点としての公民館運営・事業について （1）公民館運営のあり方 （2）公民館事業のあり方	・・・P 3
5	おわりに	・・・P 8
	■令和5・6年度小櫃・上総地区公民館運営審議会委員名簿	・・・P 11

1 はじめに

近年の人口減少と高齢化の影響から、今後、自治体や地域の再編が進んでいくなか、政府からは「小さな拠点」※¹と「地域運営組織」※²のキーワードが出されています。これを受け、君津市においても、令和4年度から実施している君津市総合計画に、「拠点づくり」が掲げられ、小櫃・上総地区の方向性として「小櫃駅周辺の拠点機能の充実」「JR久留里線と国道410号バイパスの整備を生かした拠点機能の充実」などが列記されています。市制施行50年が経過するなかでも色濃く残る地域性と、災害時に備えた危機管理体制の強化等からも、地域の拠点形成への期待がこれまで以上に高まっています。

少子高齢化、グローバル化、ポストコロナ等社会変化のなかで、今後、公民館等再整備やまちづくり協議会の設立が進められていくにあたり、公民館が「小さな拠点」形成のための中核的役割として、特に地域住民による課題解決と地域活性化に向けて、どのような運営や事業を展開していくかが問われています。

今期（令和5年度～6年度）の小櫃・上総地区公民館運営審議会では、小櫃・久留里・松丘・亀山それぞれの地域が抱える課題を捉えていき、住民による課題解決を目指すためどのような取り組みが必要か、また、地域が活性化していく拠点としての公民館とはどうあるべきかについて議論してきました。

以上を踏まえ、地域活性の拠点としての公民館運営・事業のあり方について、次のとおり意見具申いたします。

2 小櫃・上総地区の現状と先進事例

令和5年度から6年度にかけて、計7回にわたる会議と地区別協議等を行い、地域の現状把握と課題を共有しました。

小櫃公民館からは、小櫃公民館等再整備ワークショップでの資料をもとに、誰もが使いやすい、立ち寄りやすい「用がなくても立ち寄れる公民館」づくりの視点が挙げられました。また、既存の事業の学びのなかから要望に応じて新規事業が派生し、事業間の関連づけが生まれてきているとの現状報告もありました。

上総公民館からは、独自のアンケート調査（上総公民館のあり方アンケート調査）を実施した結果の報告を受けました。主催事業についてはニーズを踏まえながら、今後より一層の充実に取り組む必要があるとの考察のもと、高齢者のニーズが高い健康学習、趣味、高齢者福祉に関する内容の精査に加えて、地域活性・まちづくりへの期待も高く、今後の調査研究課題であると報告があり

ました。

全国の先進事例では、宮城県白石市斎川公民館の取り組み「住民主体の地域づくり」※³と白石市の地域づくり施策について、佐々木さつき氏（白石市まちづくり推進課、前生涯学習課）に報告いただきました。地域存続の危機感を共有した住民たちによる様々な地域づくりの取り組みは、本審議テーマに照らして、機知に富む内容でした（※詳細は右側QRより参照）。



白石市斎川公民館
の取り組み

3 モデル事業の展開

令和5年度第4回公民館運営審議会において、両公民館からモデル事業について提案を受けました。その後、地区別協議を行い、ここでの意見を踏まえた上で令和6年度にモデル事業の実施に至りました。

（1）小櫃公民館事業①「ふらっとホーム事業」

小櫃公民館の再整備計画にかかるアンケートやワークショップで多くの要望があった「用事がなくても憩い・くつろげる環境の整備」を受けて、「ちょボラの会」による小櫃公民館の「快善」計画とその展開。

- * ちょボラの会（ロビーに図書コーナーを設置、ふらっとカフェ設置、ORAGA ICHIの企画及びチャリティーバザーの実施 等）



ちょボラの会と審議委員の懇談会

（2）小櫃公民館事業②「いきいきシニアプロジェクト」

高齢化の進展や認知症介護の問題に対し、ほほえみ学級とおびつスマイルサロンいーね、介護家族のひろばの3つの事業の一体的な展開により、高齢期にあっても当事者やそのご家族が、いきいきと地域で過ごすための学びとつながりづくりを進める。

- * ほほえみ学級：アクティブシニア向けの通年学習

- * スマイルサロン “いーね”：小櫃地区社会福祉協議会との共催による高齢者向けサロン、申し込み不要（運営委員は地区社協、生活支援コーディネーター、民生委員、日赤）

→ほほえみ学級とスマイルサロンの合同開催による交流（落語寄席）

- * 介護家族のひろば：スマイルサロンから派生した認知症介護者同士のピア・カウンセリングの場（企画会議：生活支援コーディネーター、君津市東部地域包括支援センター）



ほほえみ学級とスマイルサロン合同開催

（3）上総公民館事業「みんなイキイキ！食の健康教室—高血圧撲滅編—」アンケート調査結果を踏まえ「健康学習」をテーマとして設定。「健康と食」に着目して、全世代の方を対象に、健康、食、調理関係の学習を行い、健康意識の向上、健康寿命の延伸、地域住民の交流、世代間交流、親子交流などの活性化を図る取り組み。

- * 成人向け「高血圧改善で健康寿命延伸～孫や子と一緒に料理教室！～」
1回目は座学（高齢者支援課と連携）、2回目は調理実習（君津市食生活改善推進員と連携）



食の健康教室(座学編)

4 地域活性の拠点としての公民館運営・事業について

モデル事業の評価結果及び審議結果を踏まえて、今後の「地域活性の拠点としての公民館運営・事業のあり方」について、以下のように意見いたします。

（1）公民館運営のあり方

①多様な年代が「つどう」場づくりと運営に「かかわる」仕掛けづくり

一つ目は、様々な年代が公民館に足を運ぶ場づくりが必要であるということです。これは、「小櫃地区公民館再整備に関するアンケート」及び「上総公民館のあり方に関するアンケート」の結果から明らかになったことで、公民館を普段から利用している層に比べて、ほとんど利用していない層（割合、年齢層）が多いという現実面での課題です。

現在利用の多い高齢者にとっては、移動手段の問題は残されているものの、出

かける機会をつくることで、孤立を防ぎ、認知症予防も期待できます。長い高齢期をいかに健康的に暮らしていくかにおいて、社会参加^{※4}は重要です。「いきいきシニアプロジェクト」のように、体調面に応じて本人が参加の機会・参加スタイルを選ぶことができると共に、介護家族のケアも広げていくことで、高齢期を安心して地域で過ごすことができる体制をつくっていくことは、今後ますます重要になってきます。

一方、利用の少ない青年期から壮年期の利用に関しては、「食の健康教室」にもあるように、子どもや孫と一緒に参加する機会の創出によって、家族としての利用の期待が持てます。若い世代の利用を増やしていく難しさはあるものの、スマートフォンやSNSでは実感できない直接体験やイベント（公民館の文化祭）の企画など、その年代の生活実態を調べた上で、興味関心の高い事業を模索していくことが必要です。また、イベントや講座以外でも放課後や休日のホール等の開放や児童室、ロビーといったフリースペースの活用、授乳スペースなどの設置など、「行きたい」「また来たい」と思える雰囲気づくり・環境整備と宣伝活動によって、公園のような機能を持たせ、子どもや若い世代のときから公民館を利用する習慣をつくるような長期的な展望にたった仕掛けが必要です。

新たな仕掛けや環境整備を模索するにあたっては、学生・若者だけで意見交換をする場を設けたり、「ちょボラの会」のように、共に作りながら関わる楽しさ、形づくる楽しさを感じながら活動できる工夫をしたりするなど、従来の手法にとらわれずに取り組んでもらいたいです。

このような空間づくりやイベント等を利用者自身が企画し、準備や運営を通して得られた気づきは学びに繋がり、楽しさと達成感が得られます。公民館職員には、柔軟な視点を持つと共に、それらの活動を励まし支えていく役割を期待します。

なお、この住民自身の手で公民館を運営していく考え方は、決して新しいものではありません。戦後初期に寺中作雄（当時文部省社会教育課長）によって構想された公民館は、「公民館の運営を担当する者は全町村民である」とし、公民館委員会^{※5}が提案されていました。もちろん、そこにあるような地区住民全員による運営は現在の実状と乖離があります。しかし、加齢と共にライフスタイルが変化するなかでも、いつでも多様に公民館に関わる・参加する機会がいくつも用意されている、開かれていることは必要です。

こういった活動の間口を広げていくと共に、活動の成果や活用方法をあらゆる方法でPRしていくことで、「公民館（分館含む）は誰が来てもいい」という認識を広げてもらいたいです。

②関係者が「つながる」仕掛けと広がり

二つ目は、課題やテーマに関する関係者・当事者を把握し、つなげ、広げていくことが重要であるということです。

「公民館は…一定区域内の住民のために、実際生活に即する…各種の事業を行い、…住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的」（社会教育法20条）としているように、地域の状況と実際生活に即した運営をしていくためにも、地域の関係者を把握し、いかにつながりをつくっていくかが重要になります。

少子高齢化、コミュニティの希薄化、子どもの貧困化、認知症介護、空き家問題、鳥獣害問題、農業・商工業の後継者問題、高齢者のデジタル格差、若者によるスマホ・ゲーム依存、地球温暖化、防災・減災、地域医療、公共交通、特殊詐欺等々、社会全体が抱える問題や課題は山積しています。公民館単独では解決できない課題であっても、関係者同士が互いの情報を共有していくことで、「問題の本質は何か」「いま何に向けた学びの場が必要か」「どのようなアプローチが望ましいか」など、浮き彫りになっていきます。その結果、関係者が講師となる場合もあれば、参加者や運営協力者となる場合もあるでしょう。さらに新たな関係者とのつながりが生まれる可能性もあります。

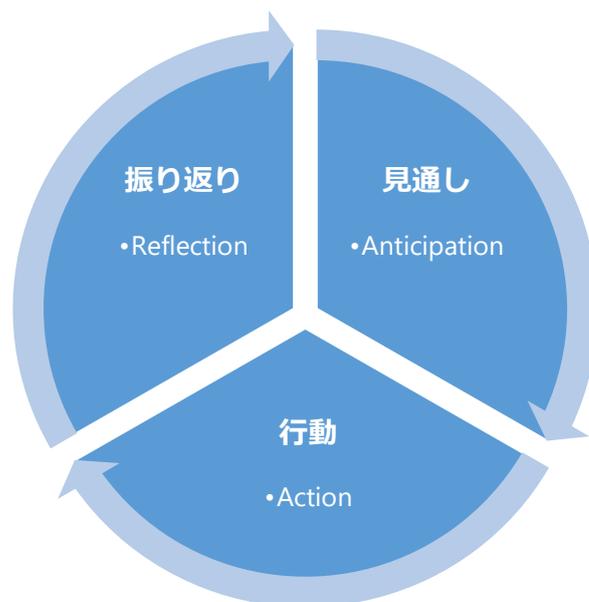
そのため、公民館はいかに関係者を広げていくかが重要であり、既存事業同士の連携のほか、特に現在関わりの薄い「子ども・若者世代」に関わってもらおう仕掛け^{※6}について取り組んでもらいたいです。

③「たのしむ」なかで気づき、深まる「まなび」を生み出し、暮らしを拓く

三つ目は、公民館運営において、参加する・関わる者の「たのしさ」^{※7}に着目するということです。

今回、モデル事業の評価指標では、AARサイクル（見通し：Anticipation→行動：Action→振り返り：Reflection）^{※8}を用いました。AARサイクルとは、OECDのEducation2030プロジェクトで提唱されている「学習者が継続的に思考を改善したり、意図的かつ責任ある形で行動することができるような反復的なプロセス」です。PDCAサイクルとも似た概念ですが、主に組織や集団のマネジメントを行うサイクルがPDCAであるのに対して、AARサイクルは一人ひとりの学習サイクルです。

今後の公民館運営においては、従来か



ら取り組んでいる団体・組織との連携も大事にしながら、関わる「個人」に注目し、学習プロセスと事業運営のサイクルを重ね合わせていくことで、楽しみながらまずは挑戦し、修正と改善を繰り返していき、さらなる醍醐味・面白味を発見していく、このサイクルを回していくことが、これからの公民館運営の視点になるのではないのでしょうか。自由な参加意思を基本とする公民館での活動において、「たのしさ」は動機づけとして重要な点になります。

一方、個々人の「たのしさ」の課題面に関していえば、宮城県白石市斎川公民館の事例「ころ柿づくり体験教室」のように、一過性のイベントによって多くの人が集い、確かに一時的な地域活力は生まれるものの、「住民が日常生活の中で抱えている不安や課題を解決することはできない」という問題点があります。そこには、「たのしさ」だけでない生活や地域課題に対する困難や悩みが横たわっています。これらの現実、社会の構造的な問題に起因していることも多く、それにより対立や分断を生じさせています。

その課題を解決するアプローチとして、対話による気づきと「まなび」が重要です。

政府が自治体を通じて進めている「小さな拠点」形成において、今後、「住民主体の地域づくり」（課題解決、地域の活性化）が重要なキーワードとなります。ただし、「住民」と一言でいっても職住分離の生活スタイルが主流となって久しい現代社会では、生活実態や生育背景は一人ひとり異なります。そのため対話を通して、共通する課題を探っていくことが、変化の激しい時代においてニーズをつかむ方法として望ましいのではないのでしょうか。このように住民それぞれの違いを受け止め、分断や対立、課題を乗り越える過程にこそ学びがあります。

（1）公民館事業のあり方

次に、「住民主体の地域づくり」に向けて、具体的な公民館事業のあり方について、AARサイクルに基づいて以下のように整理しました。

①見通し・計画（Anticipation）

事業の目的や課題を設定する際には、アンケート調査やワークショップ、利用者の声など、日頃から地域住民の生活実態を調べ、地域の特性やニーズを把握することが肝要です。

事業を企画する際には、公民館が関係する人・団体・機関についてアンテナを高くして情報をつかみ、打合せ会議や実行委員会、運営会議など名称や位置づけは様々ですが、関係者同士のつながりをつくりながら一緒に対話と検討を丁寧に重ねていきながら、それぞれの強みを活かした役割分担をしてください。ときには、「介護家族のひろば」のように当事者にも企画検討の際に同席してもらい、必要な内容や配慮すべき事項を組み入れていくことも必要になります。

このようなつながりづくりそのものが、関係団体の機能を活性化し、関係構築が図られることで地域活性の土壌となります。また、この公民館運営審議会も、公民館職員と様々な立場の審議委員が事業や運営等について意見を交わす場であると考えています。

対象者と開催日の設定は、密接に関係しています。高齢者の場合には夜間の参加は運転等の危険から難しい反面、働いている人にとっては、昼間よりも夜間の方が参加しやすいというケースもあります。また、あまりに参加条件が厳しい（例：連続参加が必須、親子連れ必須）と、せっかく良い内容であっても参加が難しくなってしまいます。対象者のライフスタイルに合った開催日時の設定や参加のハードルを下げていく方向での検討をお願いします。

周知方法については、まだまだ広報が行き届いている状況にはありません。従来の回覧だけでなく、時代や世代に応じた様々な方法を模索していくと共に、口コミや、関係者を通じた直接の情報伝達を進められるように工夫してください。また、「ほほえみ学級とおびつスマイルサロンいーねの合同開催」のように、既存の取り組み同士で開催することで、新たな人脈が生まれ周知と人の交流が生まれますので、様々なコラボ企画なども良いかと思えます。

②実施内容 (Action)

内容については、設定した課題や事業目的に対して達成される内容になっているかが重要です。目的や対象者に応じた「たのしさ」と「まなび」のバランス、インプット（座学）とアウトプット（実習・意見交流・ワークショップ）のバランス、「まなび」の深まりや活動の広がり（フィールドワーク）といった展開など、様々なアプローチを用いながら課題にせまり、事業目的を達成していくような内容を期待します。学習者・参加者の反応（アンケートや意見）によっては、予定していた内容を修正し、より効果的な内容に変えていく柔軟性も必要ではないかと思えます。

講師の選定では、取り上げるテーマや内容に基づく専門家や関係者が望ましいのはいまでもありません。参加者の人数規模や活動内容によっては、講師単独ではなく、複数体制で、メインの解説と学習補助など役割分担をしていくことで学習者の理解を深める効果があります。加えて、事前に打ち合わせを行うなかで、テーマ設定の意図や課題、学習者のニーズ等を公民館と共通理解を持つことで、学習者も講師も互いに学び合う「相互学習」の関係性を築いていくことが大切です。

事業実施の際の協力者としては、企画段階でつながりをもった関係者がそのまま協力者となるケースが多いと思えます。企画の立案段階から関係者とつながりをもつことで共通認識が図られ、周知協力、実施協力など、様々な関わりへ

と発展していくことが期待できます。おびつスマイルサロンいーねや介護家族のひろばでは、君津市東部地域包括支援センターと連携をとっていますが、このことは、参加者にとっても介護等についてその場で相談できるメリットがあります。

公民館職員は、学習テーマに対して地域の人・産業といかに関わってもらうかに注力していくことで、広がりをつくり、さらにそれを継続していくことを期待します。

③振り返り (Reflection)

事業を行うことは目的ではなく、課題解決や住民が交流を図る手段であり、その後どのようなものが生まれるかまで意識して行っていくことが大切です。

まずは、事業を実施したことで、当初設定した課題にどの程度せまれたか、参加者の事後アンケートや意見、講師・関係者からの意見をもとに、冷静かつ客観的な分析が必要になります。公民館運営審議会における事業報告等もその機会の一つと思われます。

次に、学習や活動によって、テーマの深掘りや新たな活動への展開に繋がったかの検証も重要です。例えば、介護家族のひろばでは、介護問題から男性の家事スキルの向上、老々介護問題、金銭的負担等の問題へとテーマが広がっていきました。新たな活動展開でいえば、趣味教養講座などからサークル発足への流れや、おびつスマイルサロンいーねから派生して介護家族のひろばが新規事業として開設されるなど、様々な例が挙げられます。

テーマや活動の継続性も重要です。今回、食の健康教室の実施について、事業の認知度を上げていくことや、健康づくりがいかにして地域活性につながっていくのかを地域住民の共通認識としていくには、一定期間、活動の継続が必要になります。

これらの振り返りのなかから、次への見通し・計画 (Anticipation) へとつなげていき、活動の蓄積と新たな展開というサイクルを回していくことが、これからの公民館事業のあり方として求められます。

5 おわりに

公民館が、公民館運営の一端を「たのしみ」ながら関わっていく担い手を増やしていき、関係者と広く手を結び、多様な地域住民が繋がっていく仕掛けや学習環境づくりをしていくことによって、地域活性の拠点の一つとなっていきます。

今後、「住民主体の地域づくり」を展開していくためにも、公民館は地域のハード的・ソフト的拠点として、地域ごとに異なる課題(地域的課題、生活課題)に

応じた学習や活動に積極的に取り組み、地域住民が学びの客体（受動的）から主体（能動的）へ転換していく働きかけや仕掛けが重要となります。

住民一人ひとりが「かかわり」、「たのしめる」ために公民館が果たす役割は今後さらに大きくなるものと考えています。

【注釈】

- ※ 1 「小さな拠点」とは、「小学校区など、複数の集落が散在する地域（集落生活圏）において、商店、診療所などの日常生活に不可欠な施設・機能や地域活動を行う場所を集約・確保し、周辺集落とコミュニティバス等の交通ネットワークで結ぶことで、人々が集い、交流する機会が広がっていく、集落地域の再生を目指す取組」（内閣府 HP）
- ※ 2 「地域運営組織」とは、「地域の生活や暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織」（内閣府 HP）
- ※ 3 白石市斎川公民館は第 72 回（令和元年度）優良公民館表彰（文部科学省）で最優秀館を受賞。小中学校の廃校が相次ぎ高まった住民の地域存続への危機感の高まりから、ころ柿体験教室、きらり斎川笑アップ塾（住民主体の地域づくりに向けた学習会）、中学生以上全住民アンケート調査、若者会議、LINE の利用と高齢者向け LINE 講習会、中堅世代会議、行事・会議・組織の棚卸し、地域円卓会議、移送支援実験を実施。公民館講座では、さいかわ宝ものMAPづくりと斎川楽しみ隊が発足した。
- ※ 4 「静岡県高齢者コホート研究」（平成 24 年）により、運動、栄養、社会参加の 3 要素が健康長寿の要因であることが分かっている。3 要素なしに比べて 3 要素ありの人は死亡率 51% 減という結果。
- ※ 5 「公民館事業の運営者としては公民館管理者としての町村長、運営主体としての公民館委員会、事業執行者としての公民館長及び公民館職員が之に当たるものであり、要するに町村民の全部が此の運営に参加するものと謂ってもよい。」（「六 公民館は誰が運営するか」『公民館の建設』昭和 21 年）
- ※ 6 宮城県白石市斎川公民館では、若者会議【中学生から 29 歳以下】の対話型ワークショップの開催を開催しているが、ここには年長者の立ち入りは禁止となっている。ここで出された意見として、広報や回覧よりも LINE を利用している若者が圧倒的に多いことから、行事の案内を紙面だけでなく LINE も増やした。また、「手伝いは具体的に言ってほしい」との意見を踏まえグループ LINE で若者をつながり行事ごとの参加協力要請を行っている。さらに、高齢者を対象とした LINE 講習会では若者が先生役となって関わりをもつ活動が展開されている。
- ※ 7 地方創生 2.0 の「基本的な考え方」（新しい地方経済・生活環境創生本部決定、令和 6 年 12 月）において、「国民の持つ価値観が多様化する中で、多様な地域・コミュニティの存在こそが、国民の多様な幸せを実現する。そのためには、一人ひとりが自分の夢を目指

し、「楽しい」と思える地方を、民の力を活かして、官民が連携して作り出していく必要がある」としている。また、その参考図書として、堺屋太一著『三度目の日本 幕末、敗戦、平成を越えて』（祥伝社新書, 2019年）が紹介されている。

- ※ 8 「見通し・行動・振り返り(AAR)サイクルは学習者が継続的に自らの思考を改善し、集団のウェルビーイングに向かって意図的に、また責任を持って行動するための反復的な学習プロセスです (concept note on the Anticipation-Action-Reflection cycle を参照)。計画を立てること、経験、そして振り返りを繰り返すことで学習者は理解を深め、視野を広げます。AAR サイクルはより良い未来の創造に向けた変革を起こすコンピテンシーを育成する触媒です：より良い未来の創造に向けた変革を起こすコンピテンシーは、学習者が状況に適応し、振り返り、必要な行動を起こし、継続して自分の考えを改善していく力に依拠しています。」(「OECD ラーニング・コンパス (学びの羅針盤) 2030」)

令和5・6年度小櫃・上総地区公民館運営審議会委員名簿

	氏名	地区	分野	備考
1	栗原 朗	小櫃	1	・上総小櫃中学校長
2	荒井 文雄	小櫃	2	・小櫃公民館 館報編集委員 ・小櫃地区社会福祉協議会会員理事
3	小島 顯彰	上総	2	・上総地区青少年相談員連絡協議会 副会長
4	丸山由起子	小櫃	3	・元連合婦人会役員 ・元生活支援コーディネーター
5	石井 喜夫	上総	4	・元自治会長 ・元亀山地域コミュニティ活動推進委員会役員
6	小泉香生里	上総	4	・人権教育事業協力者 ・木更津市スクールサポートティーチャー
7	鳥井みゆき	上総	4	・人権擁護委員 ・元久留里地区自治会連絡協議会長
8	三橋 一文	小櫃	4	・君津市体育協会小櫃支部会長

- (委嘱の根拠) 社会教育法第30条
君津市公民館の設置及び管理に関する条例第6条
- (選出分野)
- 1 学校教育の関係者
 - 2 社会教育の関係者
 - 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者
 - 4 学識経験のある者